■作者のことば

山本 サトシ YAMAMOTO Satoshi

●やまもと さとし

「ポケモンリーグで優勝するぞ！」なんとポケモン漫画の主人公らしいセリフでしょう(笑)。変化球キャラしか描いたことのないぼくにとって、ブラックのような正統派は実に新鮮です。ただしそこはポケSPですからただの熱血野郎じゃない。あれ？　やっぱり変化球キャラなのかも(笑)。

日下 秀憲 KUSAKA Hidenori

●くさか ひでのり

前巻のラストではまさかの面々の集合～という引き。次巻を楽しみにしてほしくて、そうしたのですが、予想していたよりも、はるかに大きな反響があり、びっくりでした。驚くと同時に、「主人公たち以外のキャラクター」への注目も高いのだと再認識したHGSS編です。そんな激闘もいよいよクライマックス！心を燃やし、魂を研ぎ澄ませて挑んだ最終バトル、楽しんでくれたら、嬉しいで～す！

>>> Cover Illustrated by YAMAMOTO Satoshi
>>> Cover Designed by KAWASOME Hirayuki (grafio)

てんとう虫コミックス スペシャル

ポケットモンスター SPECIAL 43

まんが 山本サトシ　シナリオ 日下秀憲

てんとう虫コミックス スペシャル
ポケットモンスター SPECIAL 43
日下秀憲 山本サトシ

小学館
TCS-1583

9784091415837
1929979005054
ISBN978-4-09-141583-7
C9979 ¥505E
定価：本体505円＋税
雑誌 45225-83　小学館

アルセウスによって産み出されたのは伝説のドラゴンポケモンたち！「時間」「空間」「反物質」をそれぞれ司どる3匹に対抗するため駆けつけた、意外な助っ人たちの真意とは!? ゴールドの叫びとは!? 息をのむ第九章クライマックス！ そして始まる、新たな地方、新たな挑戦!!

ポケットモンスター SPECIAL 43

てんとう虫コミックス スペシャル

ポケットモンスター SPECIAL 43

まんが 山本サトシ
シナリオ 日下秀憲

てんとう虫コミックス スペシャル
ポケットモンスター SPECIAL 43
日下秀憲 山本サトシ

小学館
TCS-1583

アルセウスによって産み出されたのは伝説のドラゴンポケモンたち！「時間」「空間」「反物質」をそれぞれ司どる3匹に対抗するため駆けつけた、意外な助っ人たちの真意とは!? ゴールドの叫びとは!? 息をのむ第九章クライマックス！そして始まる、新たな地方、新たな挑戦!!

POCKET MONSTERS SPECIAL

43

Art Satoshi Yamamoto

Story Hidenori Kusaka

INTRODUCTION

このお話は――

権威ある研究者より「ポケモン図鑑」を託された少年・少女～図鑑所有者たち～が
ポケモンと共にすごし、戦い、成長する
物語である――!!!!

SPECIAL ●ポケットモンスタースペシャル●

SOUL SILVER

「仮面の男」事件から数年後のジョウト地方。復活したロケット団の目的は、謎のポケモン・アルセウスにあった。突如強襲してきたアルセウスを追ったゴールドは、アルフの遺跡でバトルを開始。そこにすべてのプレートを集めたシルバーとクリスが合流し、シント遺跡に突入する。しかし、そこで待っていたのは、ディ

ジョウト地方

シント遺跡 ?

ゴールド

口は悪いが心は熱いポケモントレーナー。図鑑所有者としての代名詞は"孵す者"。自由気ままな性格の「お調子者」だが、困っている人やポケモンは放っておけない。

The Nineth Chapter 9 POCKET MONSTERS

HEARTGOLD &

アルガ・パルキア・ギラティナ創造の儀式だった。絶望的な状況と思われたその時、意外な助っ人たちが!!

クリスタル

ポケモン捕獲の専門家で、"捕らえる者"の代名詞を持つ。ポケモン塾でボランティアをしており、ロケット団の脅威から子どもたちの未来を守るため、シルバーに同行する。

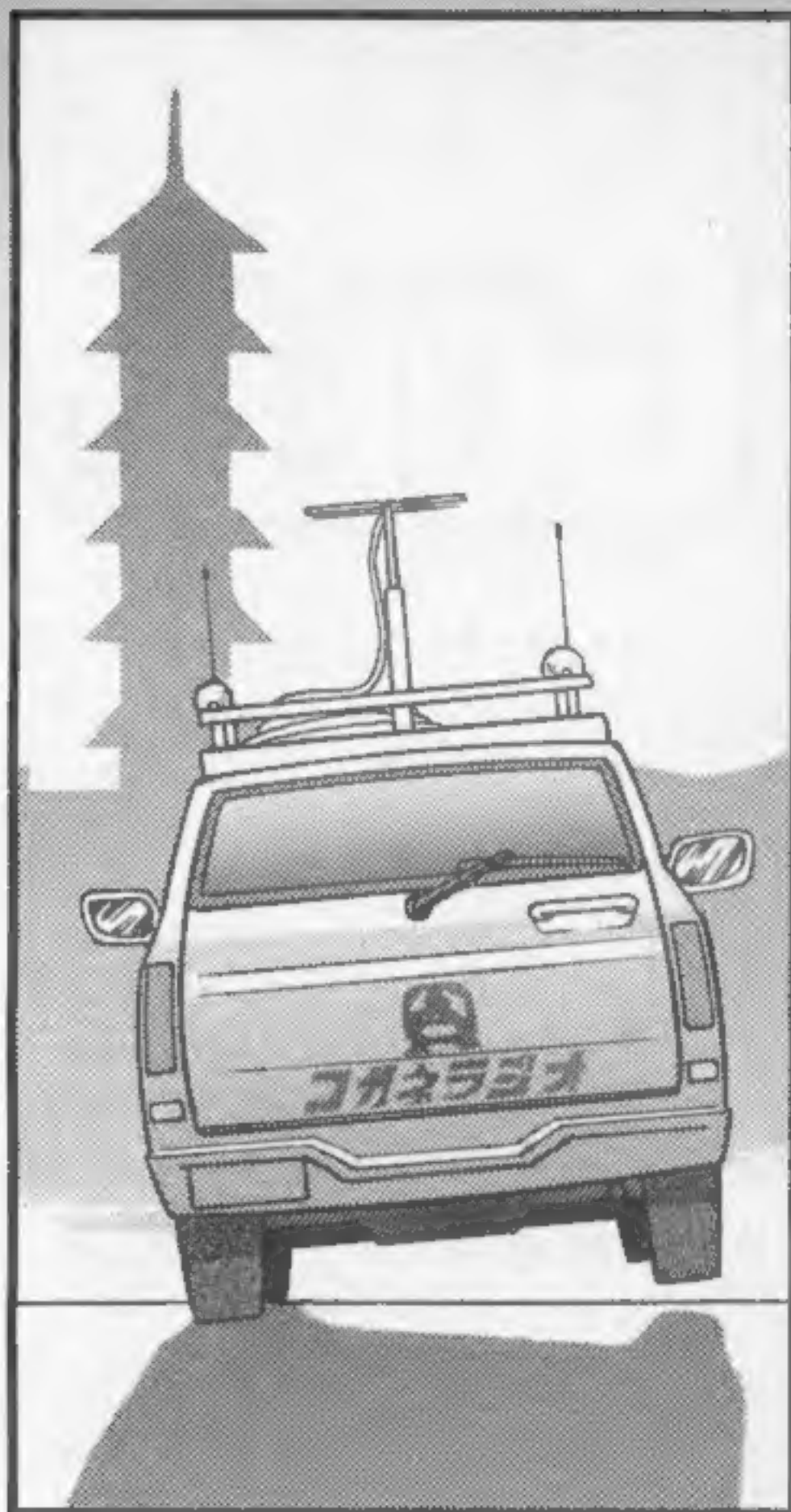
◆今巻の舞台

エンジュシティ

アルフの遺跡

シルバー

"換える者"の代名詞を持つ図鑑所有者のひとり。自らの出生にまつわる重い過去を背負いながらも、逆境の中で培った強い魂で運命に立ち向かう。

ロケット団4将軍

アポロ
復活したロケット団を仕切る最高幹部「4将軍」のトップ。アルセウスを操って創造の儀式を行い、伝説の3匹を支配しようと企む。

ランス
4将軍のひとり。合理的な調査と分析が得意で、シント遺跡について調べている。自分に与えられた役割を忠実にこなす冷静な性格。

ラムダ
4将軍のひとりで、変装の達人。変幻自在の変装術を駆使してあらゆる場所に潜入し、16枚のプレートを集めている。

アテナ
4将軍の紅一点。ロケット団にとって邪魔なものを排除する役割を担当しており、鍛え抜かれたポケモンで、シルバーたちを襲撃する。

ジョウト地方の面々

ワタル
ドラゴンタイプのポケモンの使い手。アルフの遺跡でゴールドと合流したのち、事態を収拾するべく、いずこかへ向かっていた。

ヤナギ
チョウジタウンのジムリーダー。かつて「仮面の男（マスク・オブ・アイス）」として暗躍し、ゴールドたちとの激闘の末、時間のはざまに消えたのだが…。

ミナキ
スイクンを追い続ける、自称"スイクンハンター"。騒がしい性格だが涙もろく、クリスからの評価は「いい人で信頼できる」とのこと。

ディレクターのヒロオ
ポケスロンドームへ取材に来たことから今回の事件に巻き込まれた。大スクープを求めてゴールドを追い、アルフの遺跡へ向かう。

サカキ
ロケット団の首領（ボス）。「大地のサカキ」の異名を持つ実力者にして、シルバーの父。デオキシスを巡る事件で、レッドと戦った後は消息不明となっていた。

POCKET MONSTERS 43 SPECIAL

もくじ

HG・SS

B・W

#457

POCKET MONSTERS SPECIAL
The Nineth Chapter 9
HEART GOLD&SOUL SILVER

VSアルセウスVI ARCEUS

ウバメの森

何度来ても迷路のようなところだな。

ああ。

リョウ、ハリー、

そう言うな。あの方からの直々の任務なんだぞ。

ケン、わかってるとも!

しかし、びっくりしたな。

「ウバメの森で不審な動きをする者は排除せよ!」。

あの方が現れて、そう命じられた時には。

いずれにせよ、あの方が戻られた以上4将軍なぞクソくらえだ!!

あの方の期待に応えるために、

今度こそ任務をまっとうするぞーっ!!

わっ!!

て、出たな不審者!!

排除!!

ちり

ちり

シント遺跡

ズズズ

あ…あれは…！
ワタル！
…ヤナギ!?
そんで…、
サ、
サカキ様!!

なんだと!?

じゃあ、あの人がシルバーの…!

…父だ。

あれが…、シルバーの捜し求めた…!

そして、ロケット団の…首領!!

それもおどろきだが…、

だが…!

だが…!

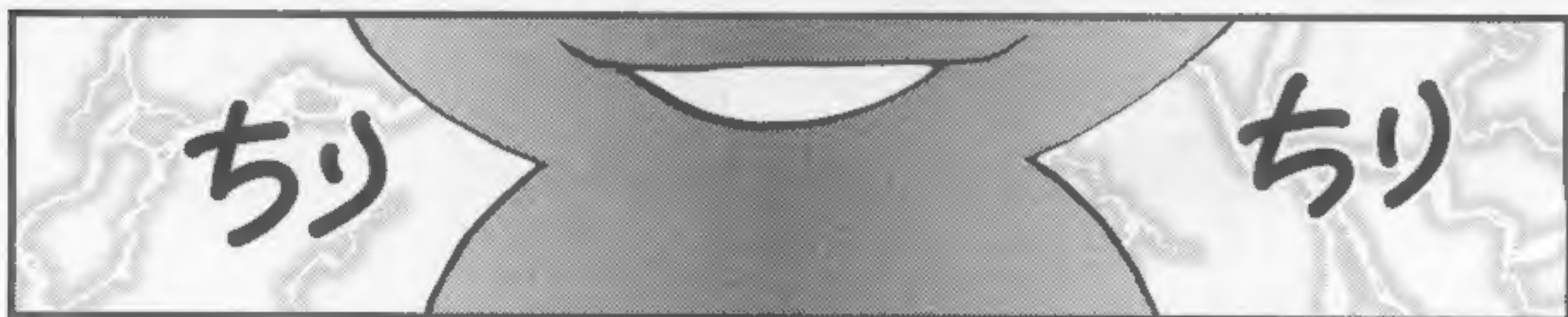
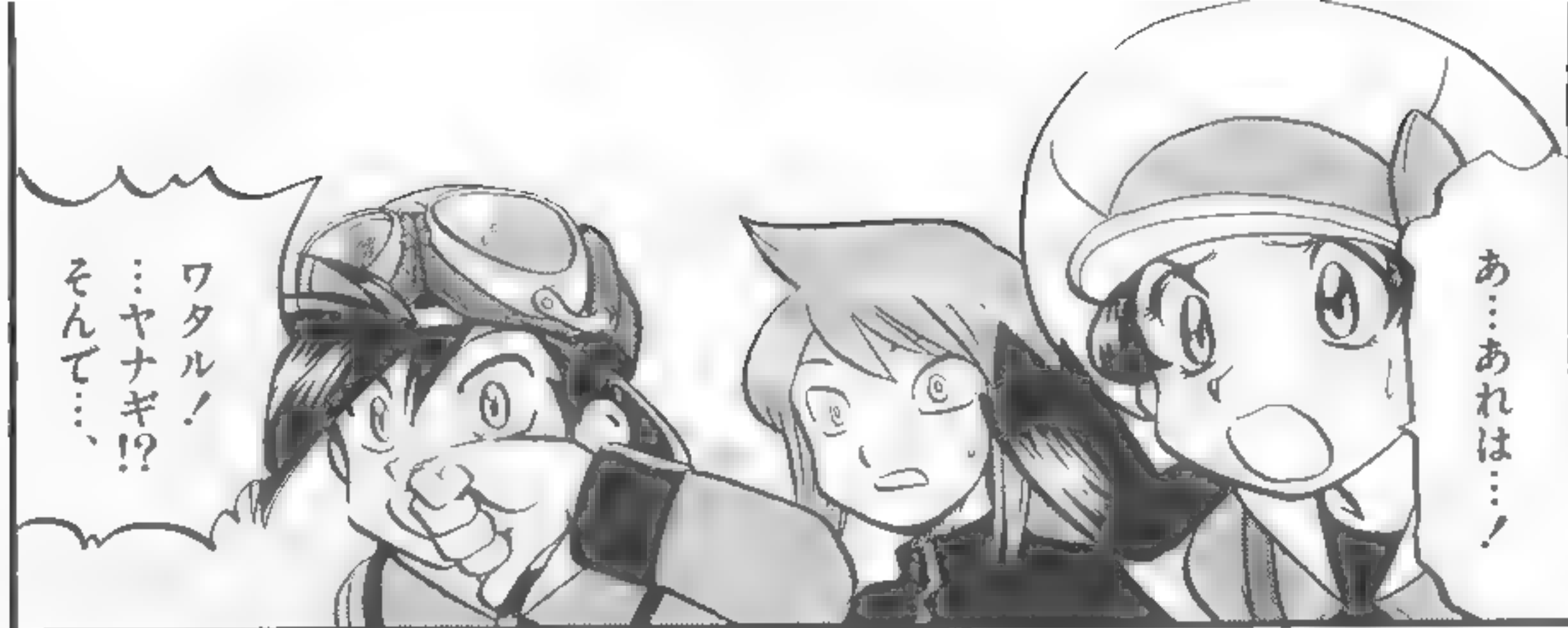
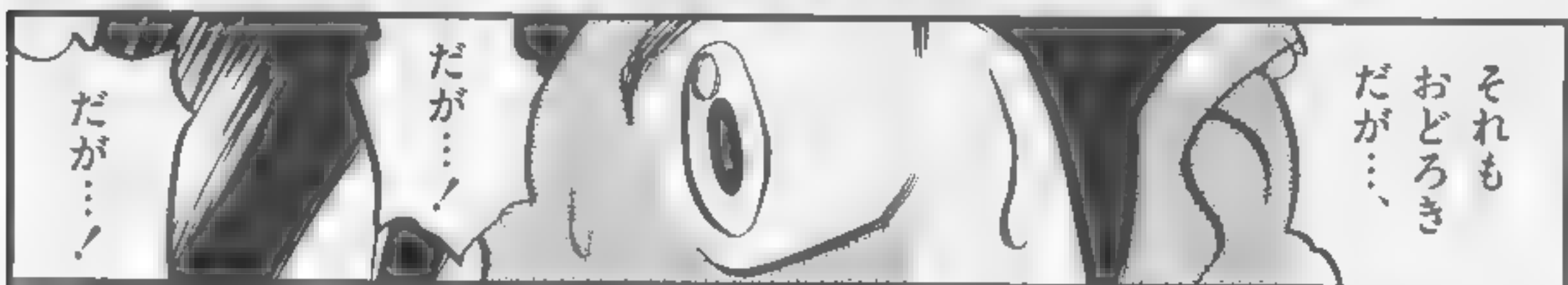
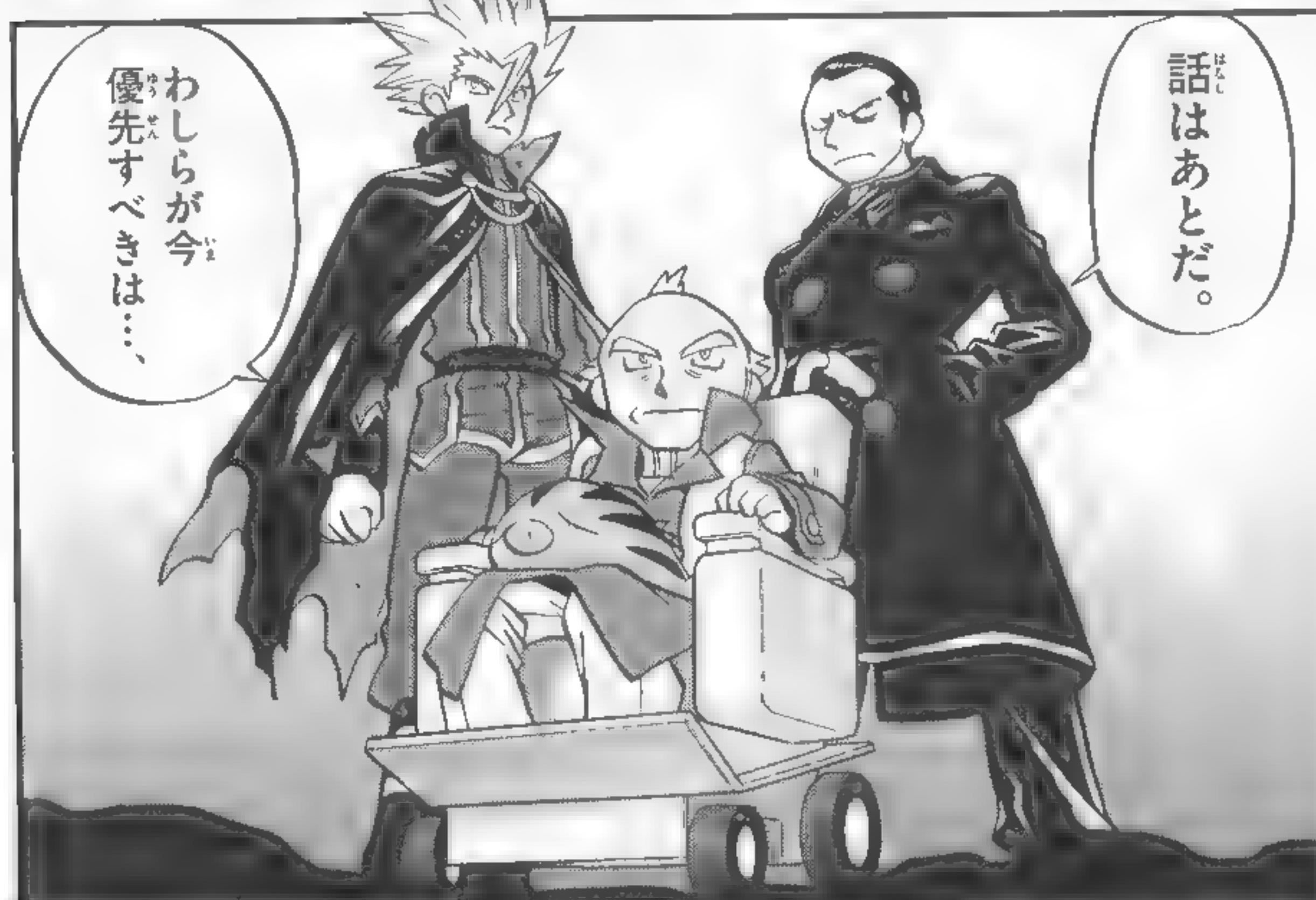
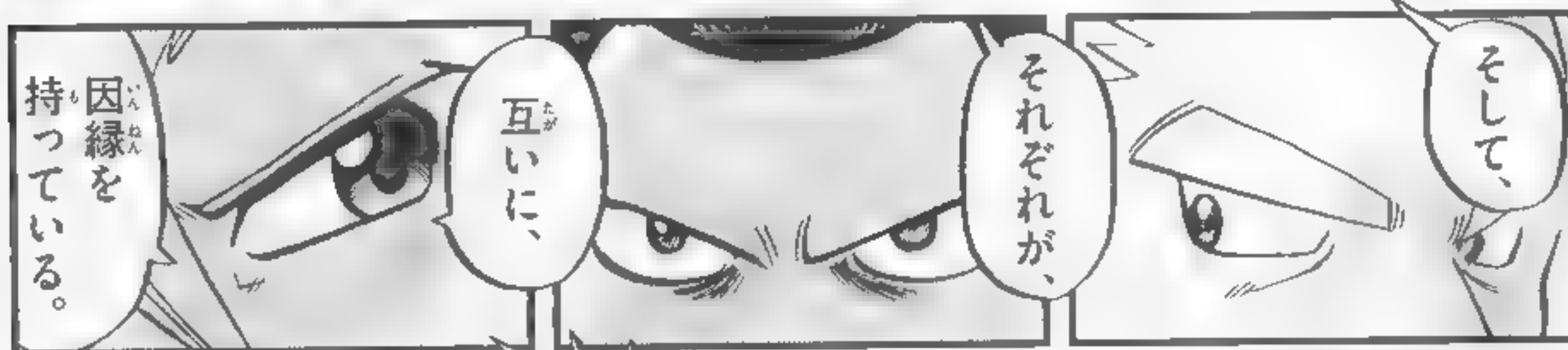
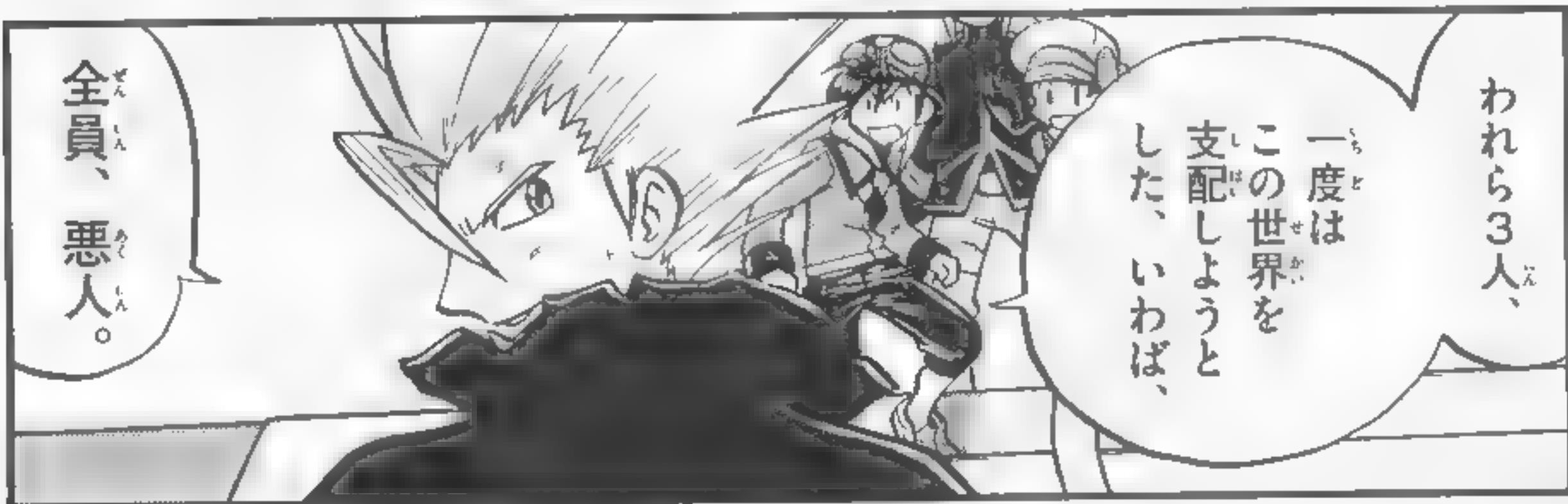
なんで…!

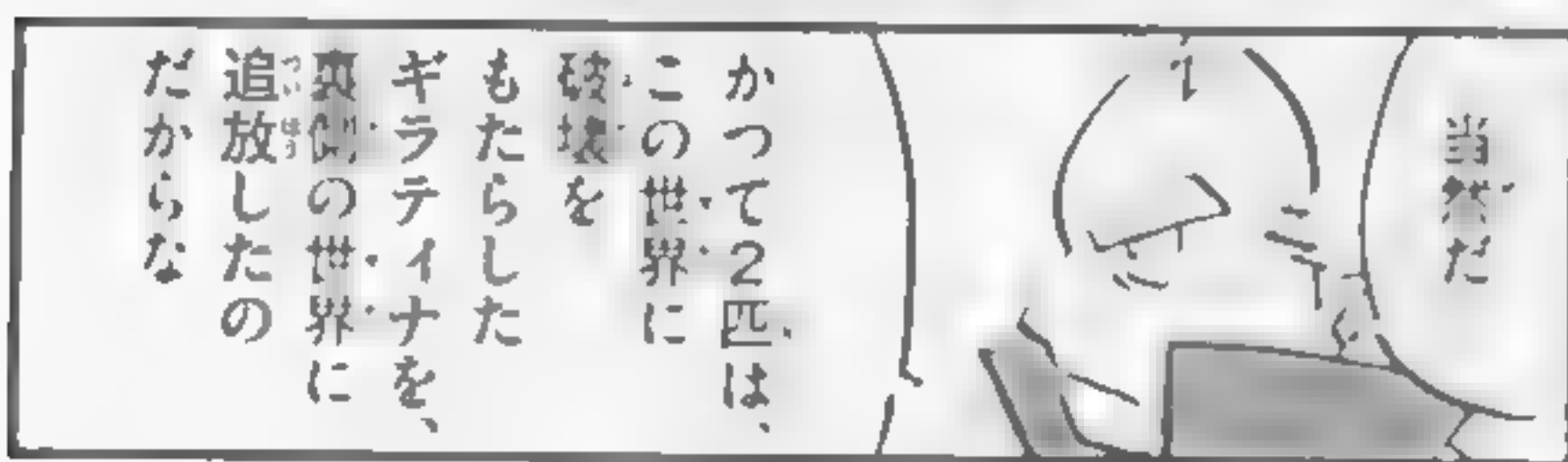
なんで…!!

ヤナギがここにいる!!?

フフフ、
おどろくのもムリはないな。
われら3人、一度はこの世界を支配しようとした、いわば、
全員、悪人。
そして、
それぞれが、
互いに、
因縁を持っている。
話はあとだ。
わしらが今優先すべきは…、

創生した
3匹が、

たしかに…！
生み出された
ばかりなのに、
太古の記憶を
宿しているようだ

ディアルガ・
パルキアと、
ギラティナは、
敵対心むき出しで
にらみあっている

当然だ

かつて2匹は、
この世界に
破壊を
もたらした
ギラティナを、
裏側の世界に
追放したの
だからな

まもなくくり広げる激闘を防ぐこと。

ディアルガ・パルキアには警戒心と使命感が、

ギラティナには積年の怨みが、心と体のすみずみまで刻みつけられているのだ。

それを知らずにコントロール下におこうとは、

あさはかなことだ。

見てきたようなことを…!

きさまに何がわかる!!

見たのだよ。

時間のはざまで…
この両の眼でな。

!!

ゆくぞ、ウリムー。

けん制しあってるうちに注意を引きつけ、衝突を回避させるのだ。

〝ときのほうこう〟か！

時間を支配しようとしたわしらには、

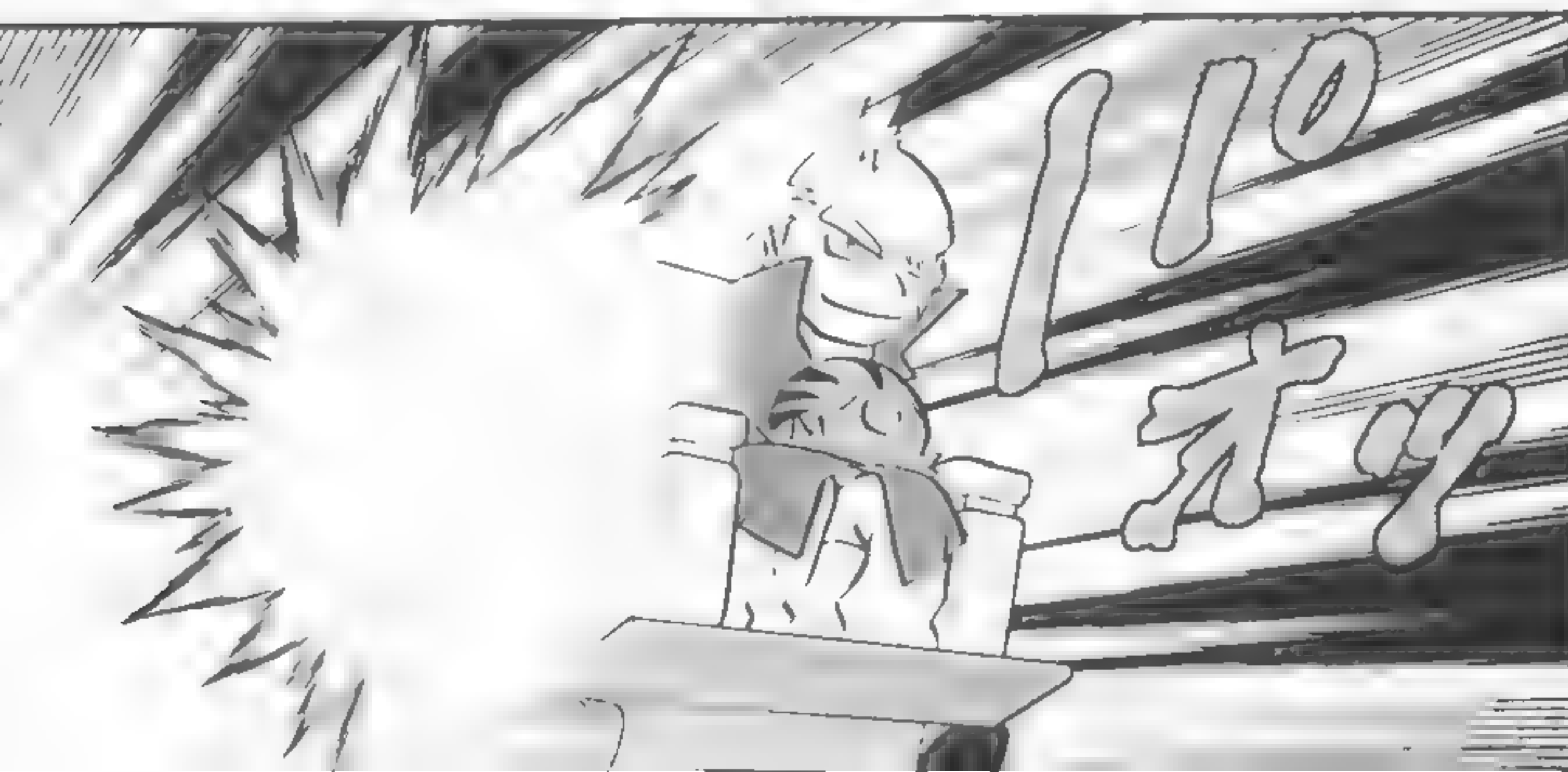
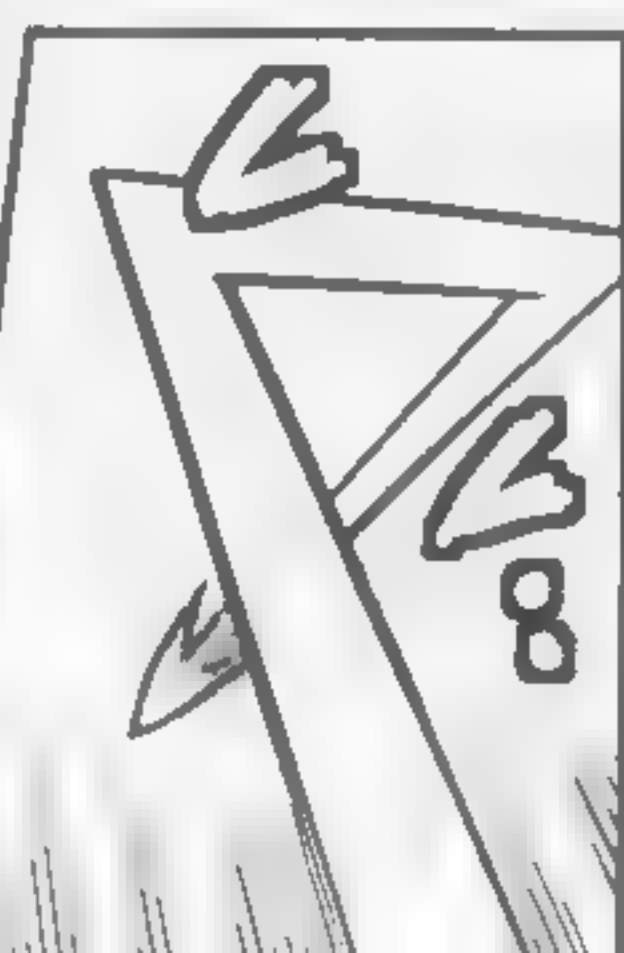
きかん

パオッ

ならば、

私の相手には空間を司るドラゴンがふさわしいな。

カイリュー、

"はかいこうせん"!!

そしてオレは、
反物質世界を司るドラゴンを…。
あ…あ…サカキ様…どうして…、
せっかく生み出した伝説のポケモンを…。
おやめください、サカキ様アッ!!

む゛〜〜〜〜〜!!

アポロ、アテナ、ランス、ラムダ。

おまえたちの処分はあとだ。おとなしくしてろ。

す、すごい!!

伝説の3匹があっという間にやっつけられそうだぜ!!

さすがにそれはムリだ。

だからあの3匹が干渉しあわないよう、

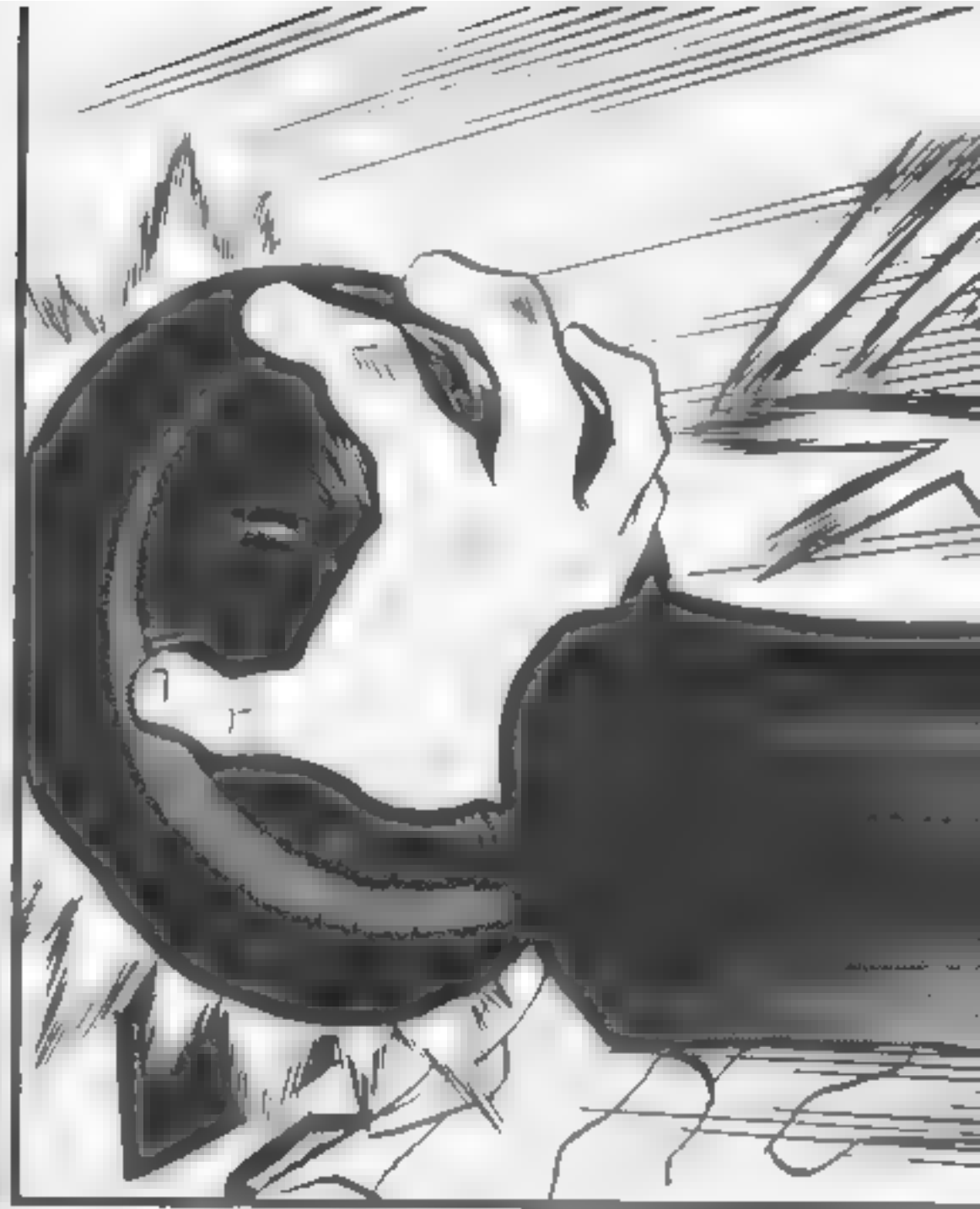
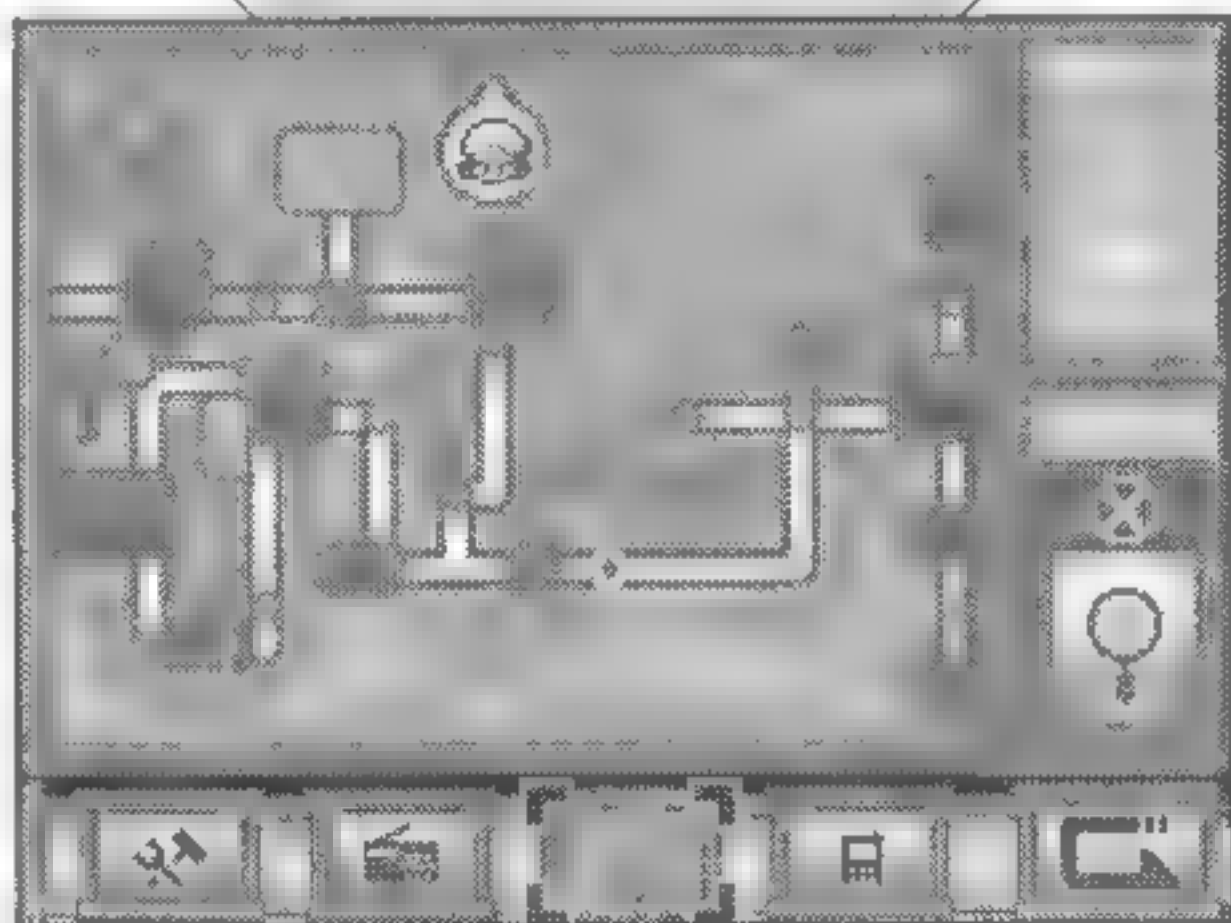
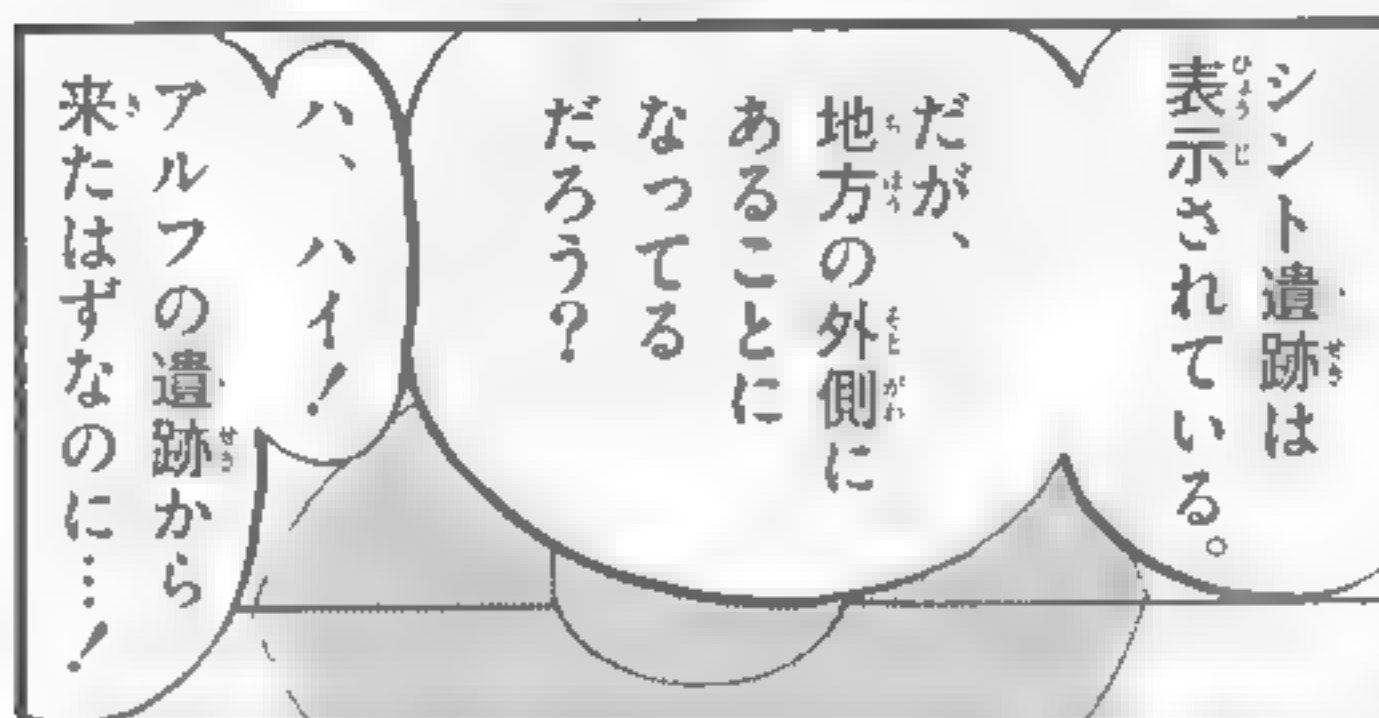
外界の本来いるべき場所へ行かせるしかない。

ポケギアのマップを見てみるがいい。

これは…!?

シント遺跡は表示されている。

だが、地方の外側にあることになってるだろう?

ハ、ハイ!アルフの遺跡から来たはずなのに…!

地図上には表示しようもない場所。異次元のような場所。

言い方を変えると、この遺跡は遠くはなれたシンオウ地方とジョウト地方をつなぐ、特殊な領域に存在しているのだ。

そして、ここは非常に不安定な場所でもある。

ここで伝説の3匹のドラゴンが全力で激突すればどうなるか？

この特殊領域は崩壊し、それに引きずられるように、

ジョウトとシンオウも崩壊していく。

いや、すでに一度崩壊したのだ。

わしは時間のはざまで、ジョウトとシンオウの終わりを見てしまった。

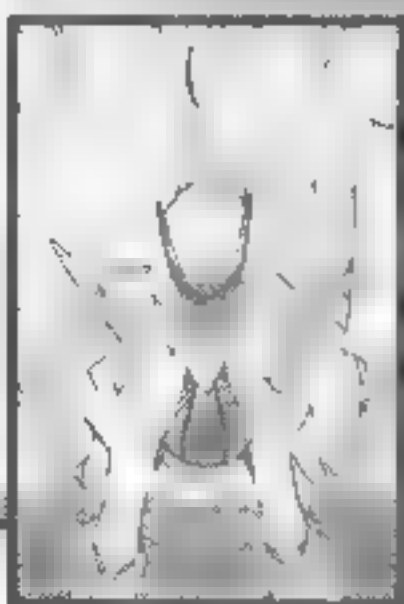
わしはそれをくい止めるために、
帰してもらったのだ。
か、帰してもらったって…、
誰に？
忘れたのか？ゴールド。
おまえも一度経験しただろう。
セ…セレビィ…!?

全国図鑑ナンバー

493

幻のポケモン アルセウス

●高さ…3.2m ●重さ…320.0kg
●分類…そうぞうポケモン
●性別…不明 ●タイプ…ノーマル
●特性…マルチタイプ

アルセウスだけの特性〝マルチタイプ〟は、所持プレートの種類でタイプが変化するというもの。その現象は〝タイプシフト〟と呼ばれ、目もとや腹、背の骨の色なども変わる。

今回の出現

シンオウの「天にまで届くような長い道の上」で目覚めたようだが、具体的な場所は不明である。

プレート

もともとはアルセウスの体の一部だったが、大昔にあった人間との確執で体外へ切り離され、道具化された。前述のタイプシフトをアルセウスに発生させるために必要な道具である。

▶アルセウス以外のポケモンが持つと、プレートのタイプの技の威力が上がる。

▲全16種類のプレートにはアルセウスに関する記述が書かれている

さばきのつぶて

アルセウスのみが使える技。基本的にはノーマルタイプの技だが、持っているプレートの種類でタイプが変わる。無数の光弾を発射してダメージを与える。

▲プレート次第であらゆるタイプの技に変化。すべてを創造した者らしい技だ。

▲技習得レベルは、最高の100。最強クラスの威力と命中を誇る。

シント遺跡

アルセウスによる〝創造〟が行われる「みつぶたい」がある遺跡。アルフの遺跡とつながっているものの、シンオウでもジョウトでもない異空間に存在している。

▲アルセウスをかたわらにともなった者が入れる。

▲古代の力を有した遺跡。ジョウト側からの入口はアルフだった!

創造

プレートから力を取り戻したアルセウスは、ディアルガ、パルキア、ギラティナの3匹を創り出した。これこそが〝そうぞうポケモン〟たるゆえん!

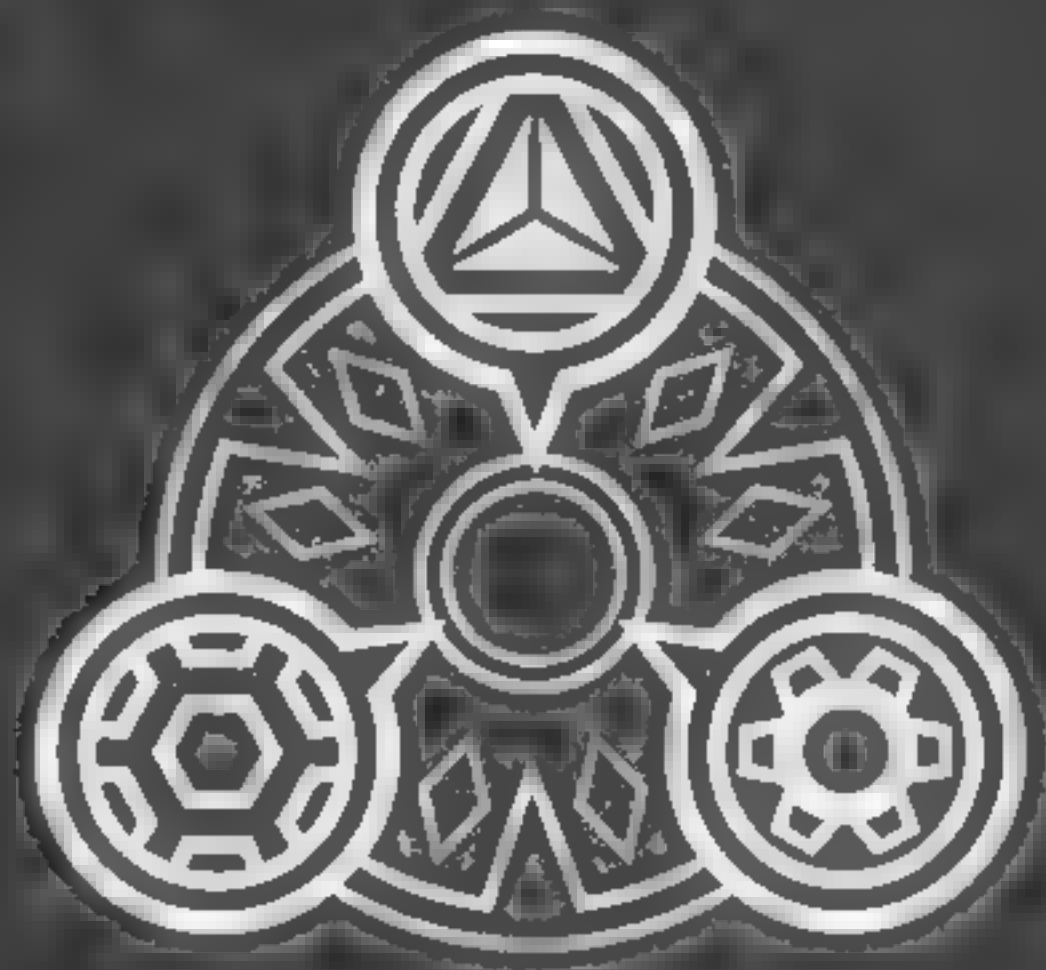
▶この3匹は、世界の始まりにアルセウスの分身として世に放たれたという。

▲乱れ飛ぶアンノーンの群れ。伝説のドラゴンたちの誕生だ

※過去にキャンペーンでプレゼントされたアルセウスを「ポケットモンスターHGSS」に連れてきた時に見ることが出来る画面です。

#458

POCKET MONSTERS SPECIAL
The Nineth Chapter 9
HEART GOLD&SOUL SILVER

VSアルセウスⅦ ARCEUS

おまえたちとの戦いののち、時間のはざまに残されたわしは、

ただ過去や未来の渦の中をただよっていた。

波にまかせた浮き草のように。

いろいろな時代を見た。

モンスターボールのまだない時代。

伝説や幻のポケモンが世に現れ出た時代。

そして…これから訪れる未来も…。

2枚の羽根もGSボールもない中で、どうして生きられたのか？

どうして帰されたのか？

その理由は、「セレビィの意志によって」としか言いようがない。その真意を理解することもできない。

ただ…、

人間に絶望したポケモンがいるのなら、

一方で…、

人間に希望を持ち、手をさしのべてくれるポケモンもいるのではないか？

いつの時代かは知らぬが、

セレビィがそっと人間に寄りそい、救済するのを見た。

わしが時間のはざまで生かされたのも、

こういう時のためだったのかもしれん。

わしはなんとかこれから起こる事態を知らせようとした。時間のはざまからのわしの呼びかけに応えられたのは、ただ1人。

それがワタルだった。

セレビィがほこらに舞い降りる特別な夜、

つまり今夜が、わしがこちらに帰ることができる時だった。そこを目指し、ワタルは準備を始めた。

ユキナリに連絡し アルセウスの信を得て、3匹の創生をくい止めるための助力を求めた。

それからあとは知ってのとおりだ。

ま、待て！

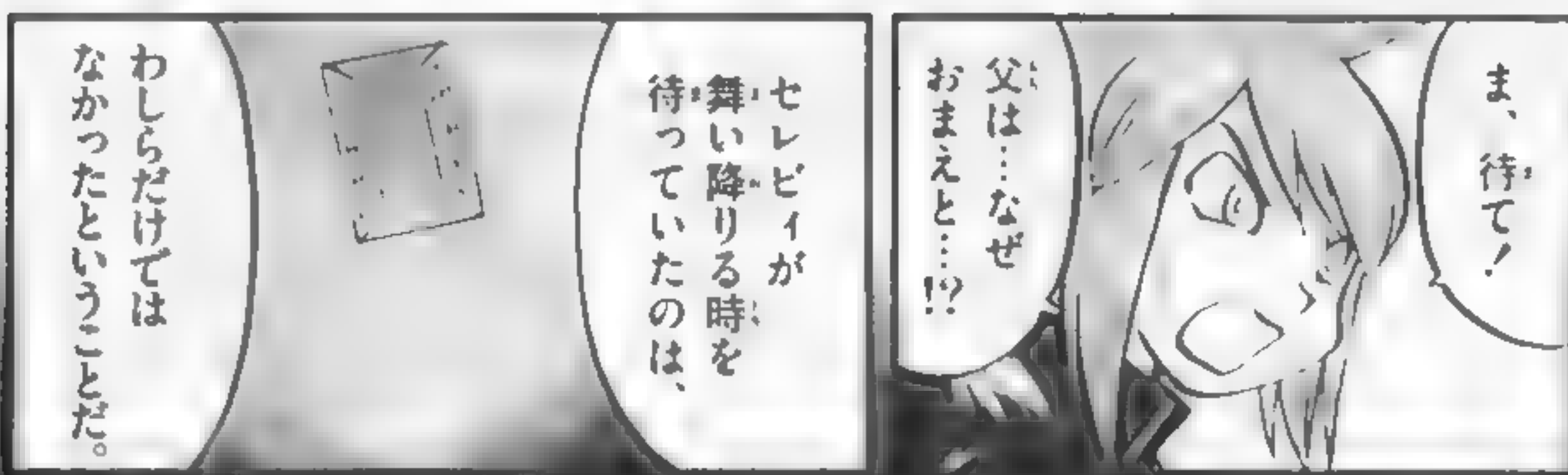
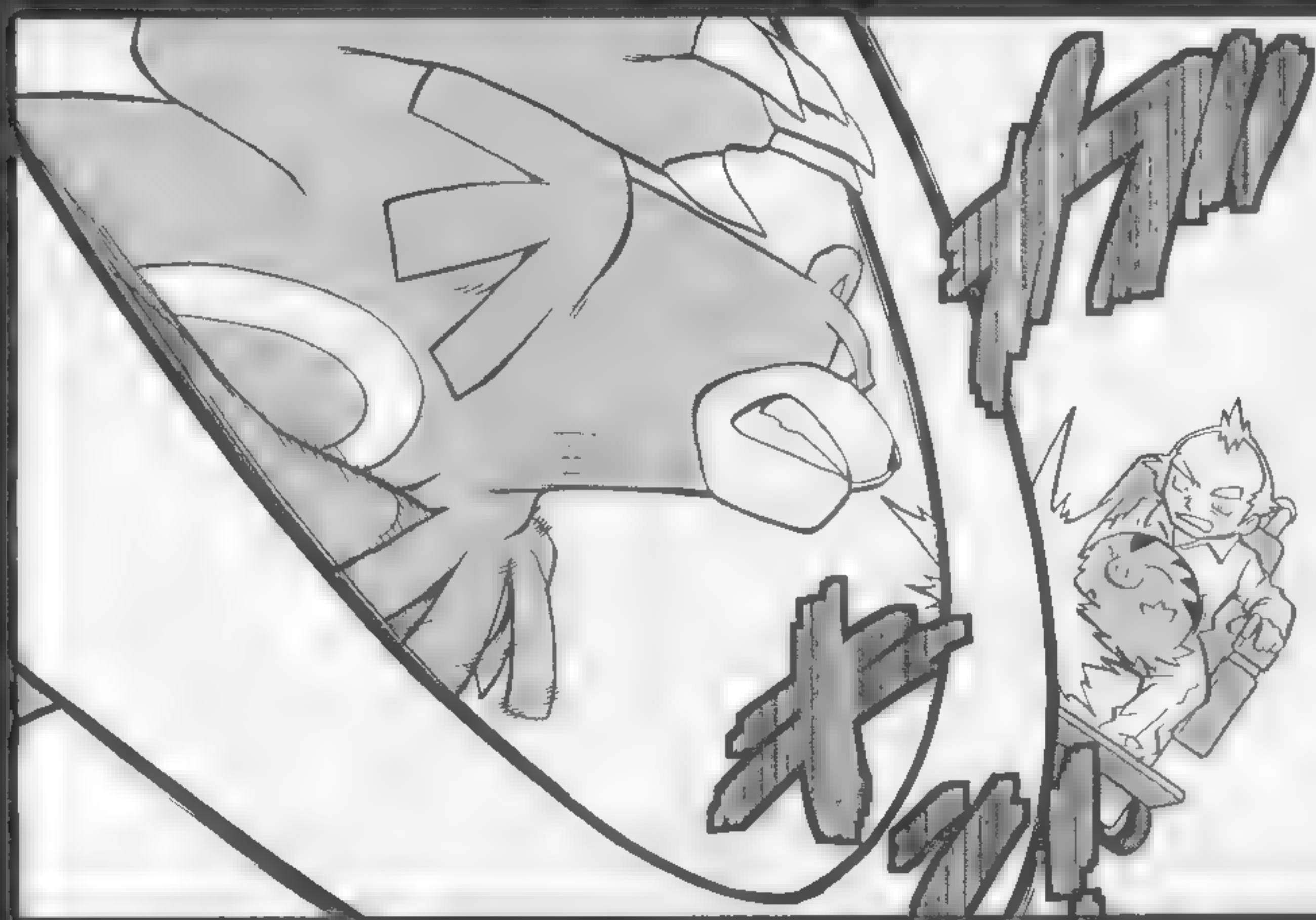
父は…なぜおまえと…!?

セレビィが舞い降りる時を待っていたのは、

わしらだけではなかったということだ。

サカキ…!!

…ヤナギ…。

どうやらサカキは、セレビィを欲しておったらしい。

セレビィが「重い病の治療法を授けた」という伝説に導かれてな。

そこへワタルが来た

サカキ殿！
私もヤナギ老人も、
あなたとは因縁のある身。

だが、ここはどうか
我々を信じてほしい。

この世の
ポケモンと
人の命を、
生命の営みを、

…いや、
あなたの息子・
シルバーを
守るためにも、
力を合わせて
いただけないか!?

たのむ！
事態が収拾した
あかつきには、

煮るなり
焼くなり、
好きにしろ。

…………。

リュウ、
ケン、
ハリー。

ハッ！

ハッ！

ハッ！

オレはこれから
シントに行く。

この森に…、
セレビィに
何人たりとも
近づけるな！
一命を賭してでも
排除せよ!!

イ…、

イエッサー！

ドドドド

どうするんですの!? この展開!! 完全にあたくしたちは旗色が悪いですわよ!!

サカキ様のためにとった行動が、すべてサカキ様に刃向かうことになるとは、ね。

あたくし、イチ抜けますわ。

私もです。

許さん。

今、作戦から降りることは、

私が許さん。

な、何を言ってますの!? アポロ!!

もはやサカキ様は、我々の待ち望んだサカキ様ではない!

ロケット団の首領ではない!

今後ロケット団は、

全プレートを吸収しパーフェクトとなったアルセウスをたずさえる、

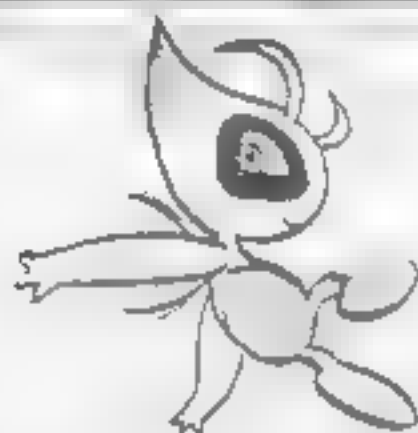
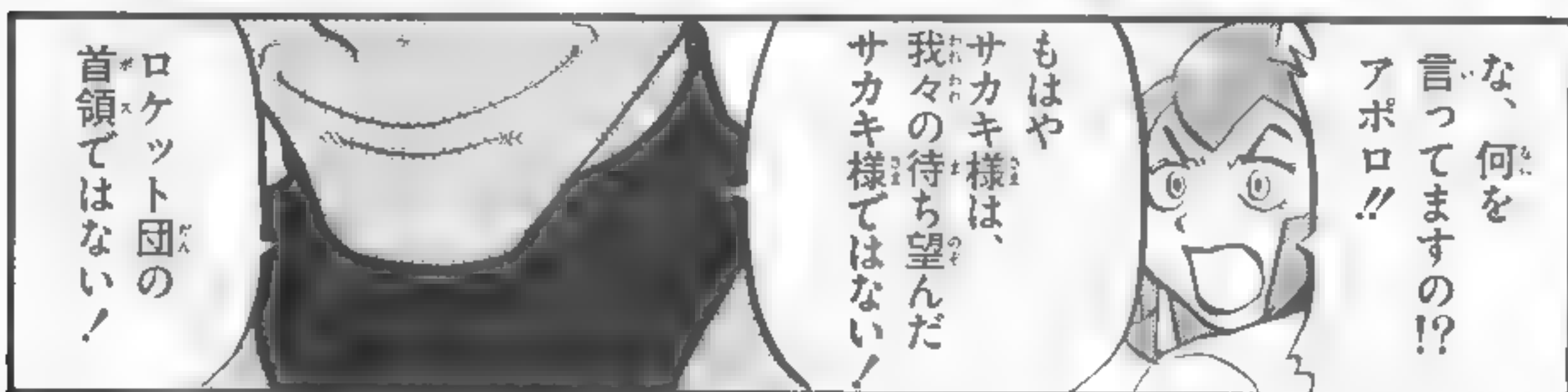
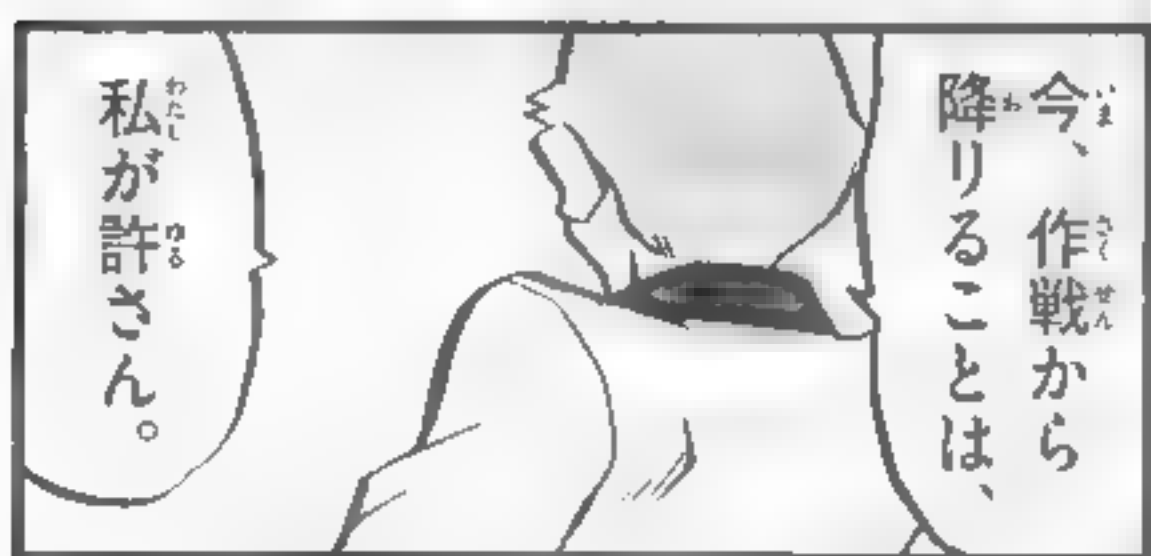
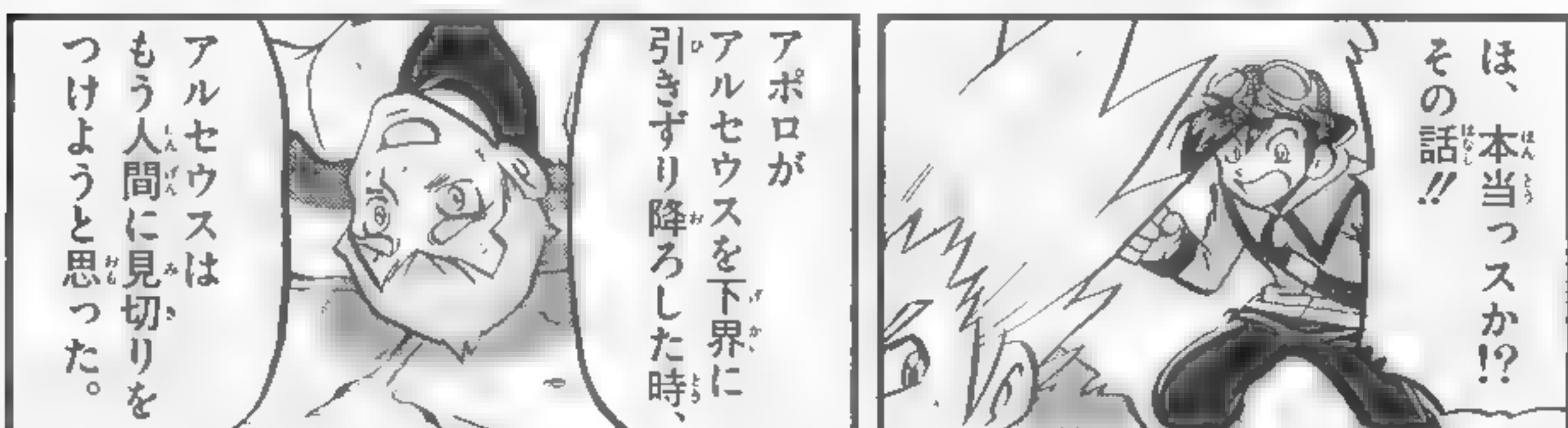
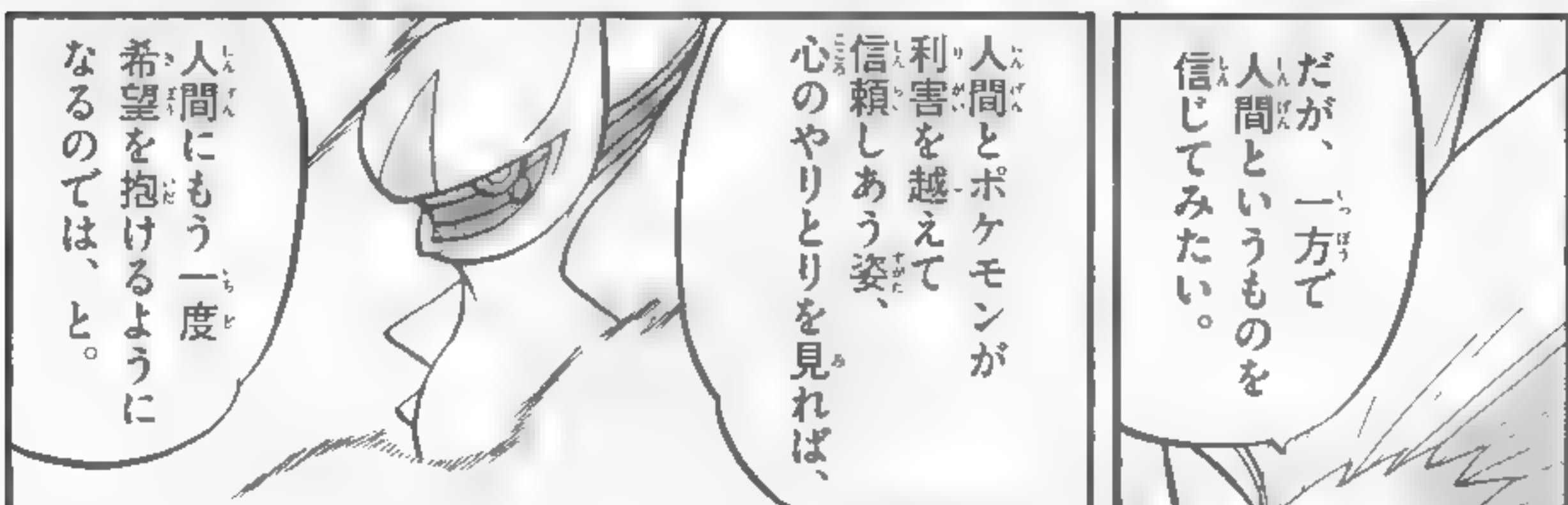
このアポロが統制する!

さあ、来い！アテナ、ランス、ラムダ!!

アルセウスを捕獲す…。

ひいええええ!!

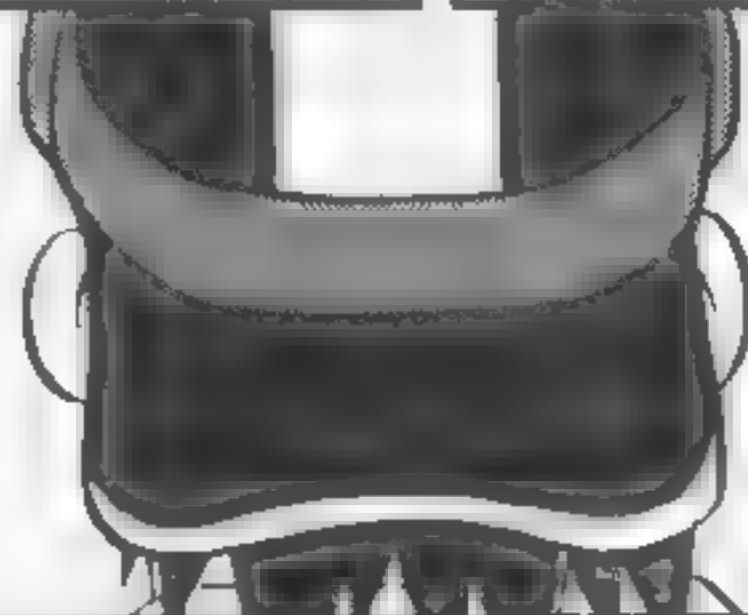
おろかな。

自分たちの力でアルセウスを屈伏させ、3匹のドラゴンを創生させたとでも思っているのだろう。

すべてはアルセウス自身が望んでしたこと。
人間がこの世界の崩壊をくい止められるか賭けるため、3匹を創生したというのに。
!?
ほ、本当っスか!?その話!!
アポロがアルセウスを下界に引きずり降ろした時、
アルセウスはもう人間に見切りをつけようと思った。
だが、一方で人間というものを信じてみたい。
人間とポケモンが利害を越えて信頼しあう姿、心のやりとりを見れば、
人間にもう一度希望を抱けるようになるのでは、と。
アルセウスの怒りを解きほぐせば、3匹は戻るべき場所に行くだろう。
だが、あの目を見る限り…まだ…。
……。

ズガガガ

せまいな、このままでは3匹の干渉は避けられんぞ。

外へ誘導しましょう。

わたしたちも手伝います!

ゴールド、あなたも…!

オレは行かねえ。

ゴールド…!

アルセウスの心を解きほぐす、そいつはオレに来た役目だぜ。

心配すんな。
先、行ってろ。
おーっと！言い忘れてたことがあったぜ！
クリス、
おめえのそのかっこうよォ、
似合…。
ネイぴょん、おいかぜ!!
ぶわっ!!
何しやがる!!
何を言いたいかは知らないけど…、

役目をちゃんと終えたら、
聞いてあげる。
お～し!!
山ほど聞かせてやっから、生きて待ってろォ!!

なあ、アルセウスよォ。

アイツらやオレだって、

おまえから見たら、幻滅しちまうよな人間なんだろうがよ。

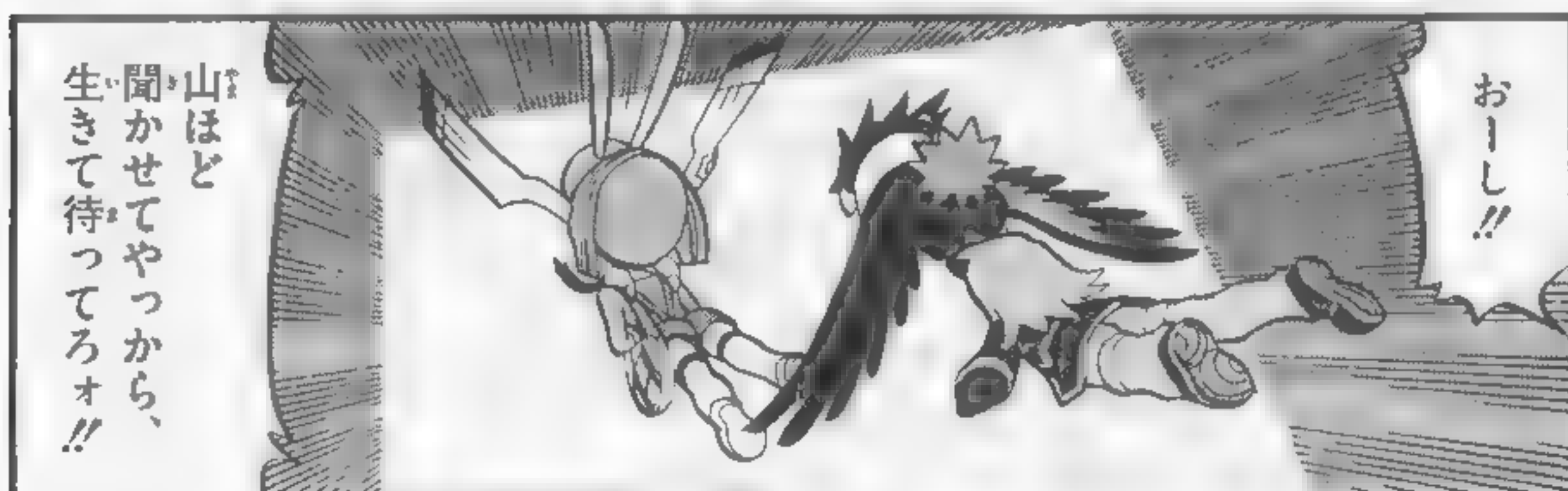
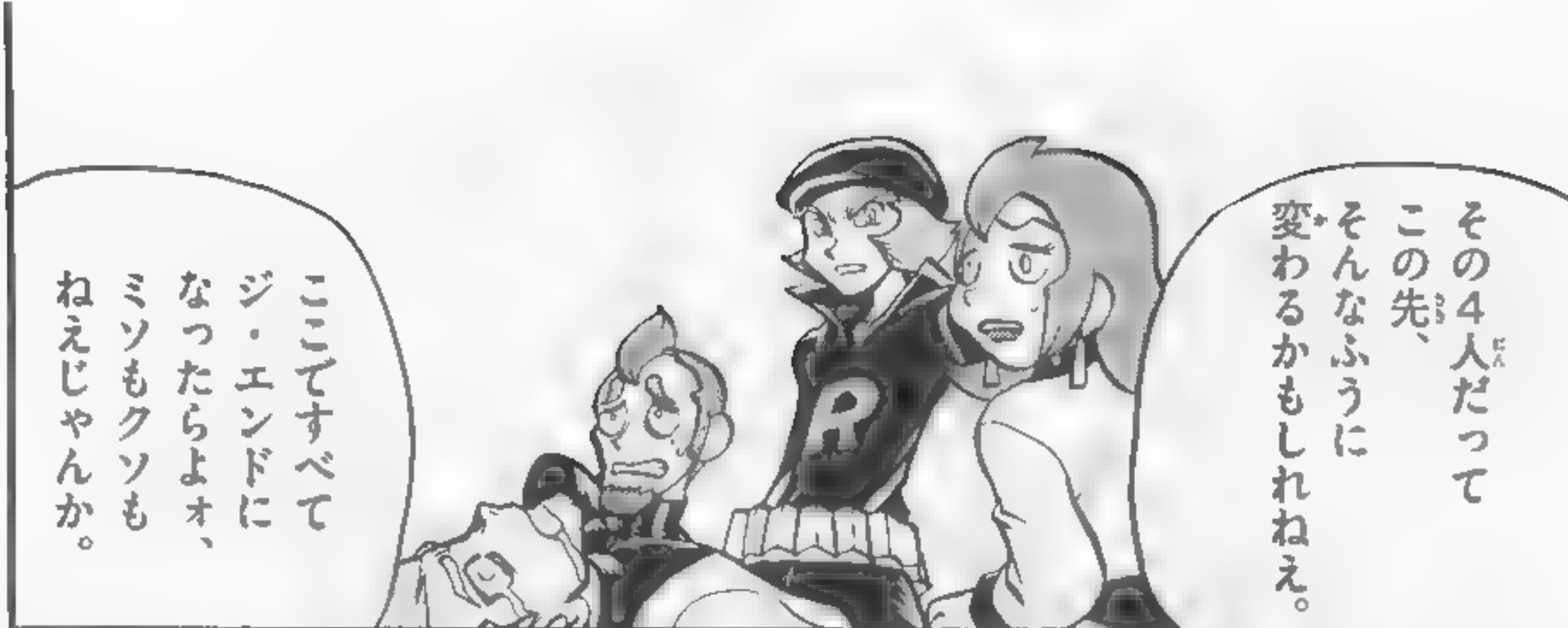
クリスには一瞬だけど、捕獲されたっていうじゃねえか。

クリスなら信頼できるって思ったんじゃねえのか?

だったらよ、せめてクリス基準で人間に対する希望を持っちゃくれねえか?

滅ぼすなんて言わねえでよ。

ヤナギのじじいだって、「自分の手持ち以外はすべて道具だ」なんていってやがったくせによ、

「世界を救うのがわしの使命」とか言ってんだぜ。

その4人だってこの先、そんなふうに変わるかもしれねえ。

ここですべてジ・エンドになったらよォ、ミソもクソもねえじゃんか。

な、

もう少しオレたちにチャンスをくれよ。

#459

POCKET MONSTERS SPECIAL
The Nineth Chapter 9
HEART GOLD&SOUL SILVER

VSアルセウスⅧ ARCEUS

ディアルガもパルキアもおとなしくなってきたわ！

少なくとも敵対しているギラティナをいさめている我々を見て、状況を理解してくれている。

あとは…！

〝ゆきなだれ〟！

とどめだ…。

お父さん!!

くっ!!

マニューラ、ダメおし!!

ドサイドン…、

〃がんせきほう〃!!

…ほう、どうやって その技を…？

ゼェ

ゼェ

……、そうか…。

ゼェ

ゼェ

ならば この命…、ここで終えても…。

ゼェ

ゼェ

ゼェ

お父さん!!

ワタルさん! シルバーのお父様はやっぱり…。

セレビィを求めた理由だ。

ポケスロン起源の伝承にあるとおり、

セレビィから病を治す薬を授けてもらうため。

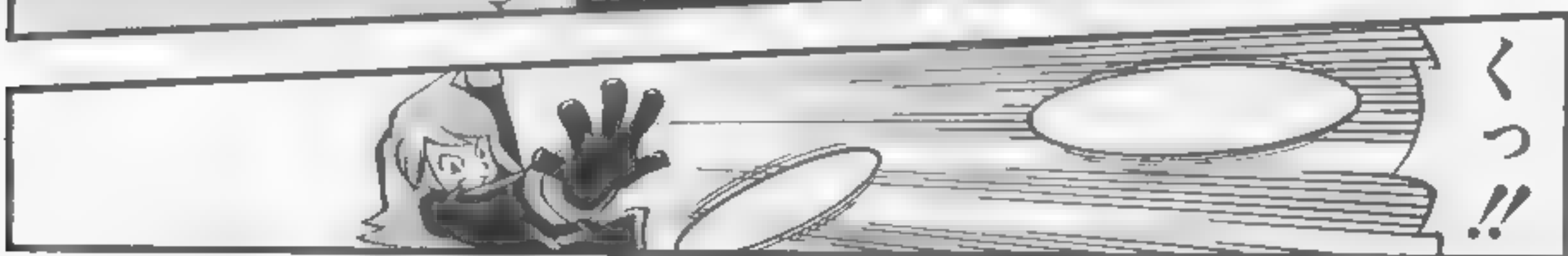
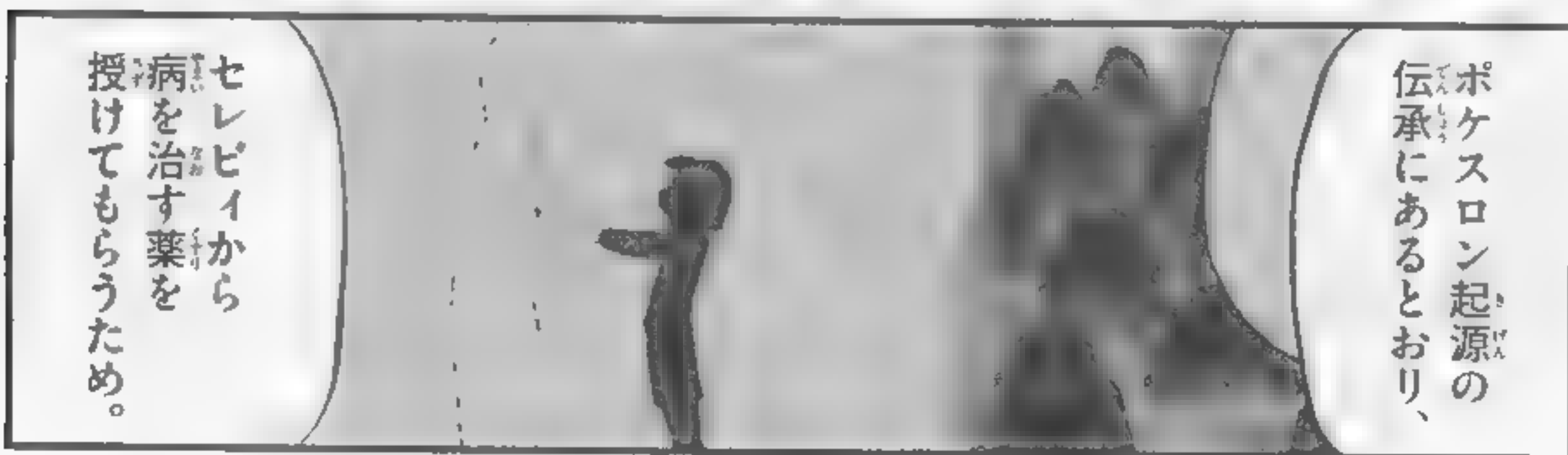
今、セレビィはウバメの森で薬の材料を集めてくれている。

ゴールドの手持ちも協力してくれている。

!!

もしかして……

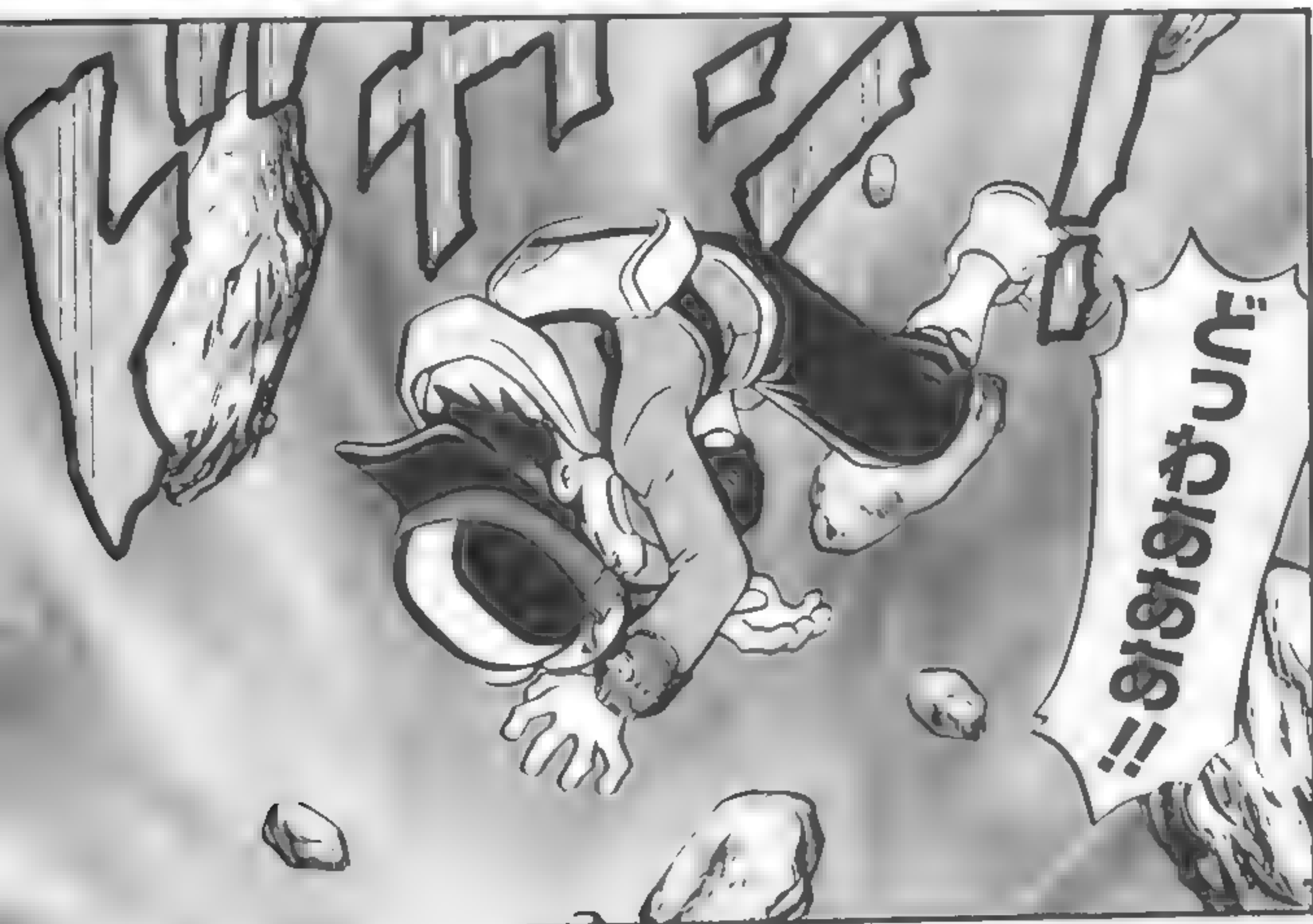
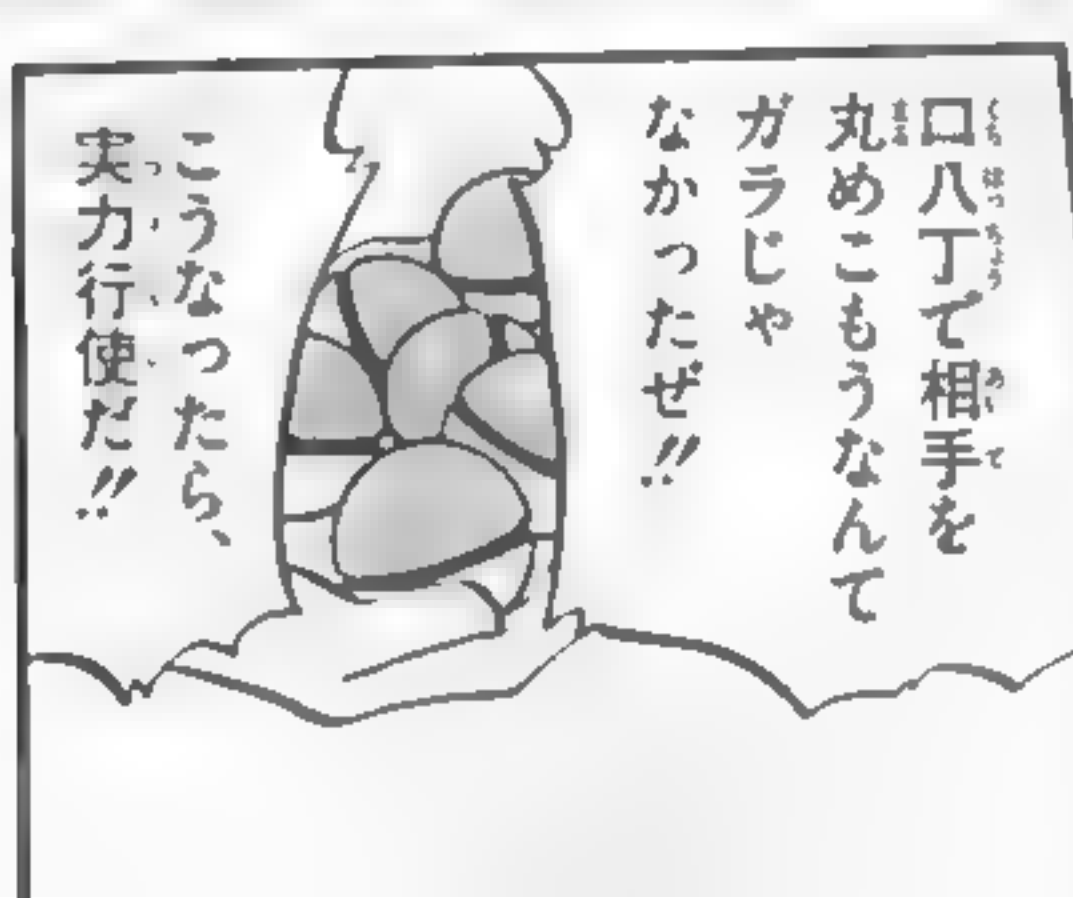
ピチュ!?

一刻を争う状態だ
だが、彼はこっちに来ることを優先した。

世界…いや、シルバーの命を守るために

すぐにでもジョウトに戻ることができれば、間に合うかもしれないが…

ゴールド…。

どっわあああ!!

ちっきしょ～!!
オレの話がわかんねーのかよ、スットコドッコイが!!

ちっとはアタマ冷やせってんだ!!

口八丁で相手を丸めこもうなんてガラじゃなかったぜ!!

こうなったら、実力行使だ!!

出てこい!!

オレたちがどのくれえツーカーの仲か、見せてやるんだ!!

?

またあの
悲しそうな目。
トゲたろうに
対して…?

…その
なついていない
トゲピーが
何よりの証…。

!!

……………。

わかったぜ…、
ワタルさんよォ。

あんたの言った
意味が……。

トゲたろう…。

オレとおまえの関係性だと、
アルセウスは人間に対する希望を持てねえんだよ。
おめえにゃ悪いけどよ、
引っこめるしかねえ…。
おめえは補欠だ。
トゲたろう。
もどれ!!
ニュルルル

主力の5匹で行くぞ!!

エーたろう、〝ダブルアタック〟!!

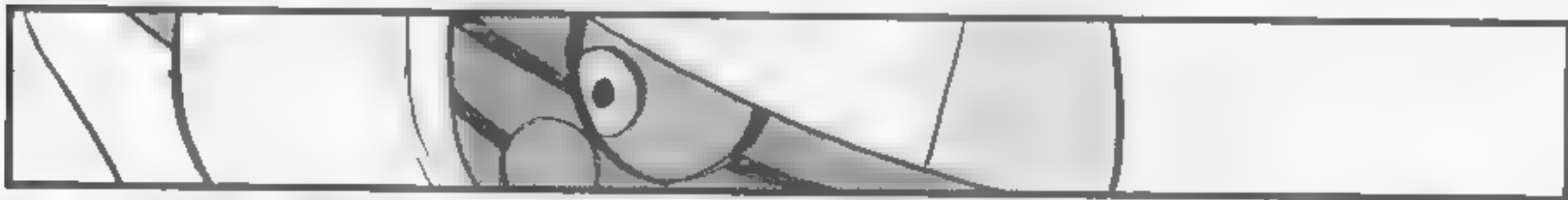
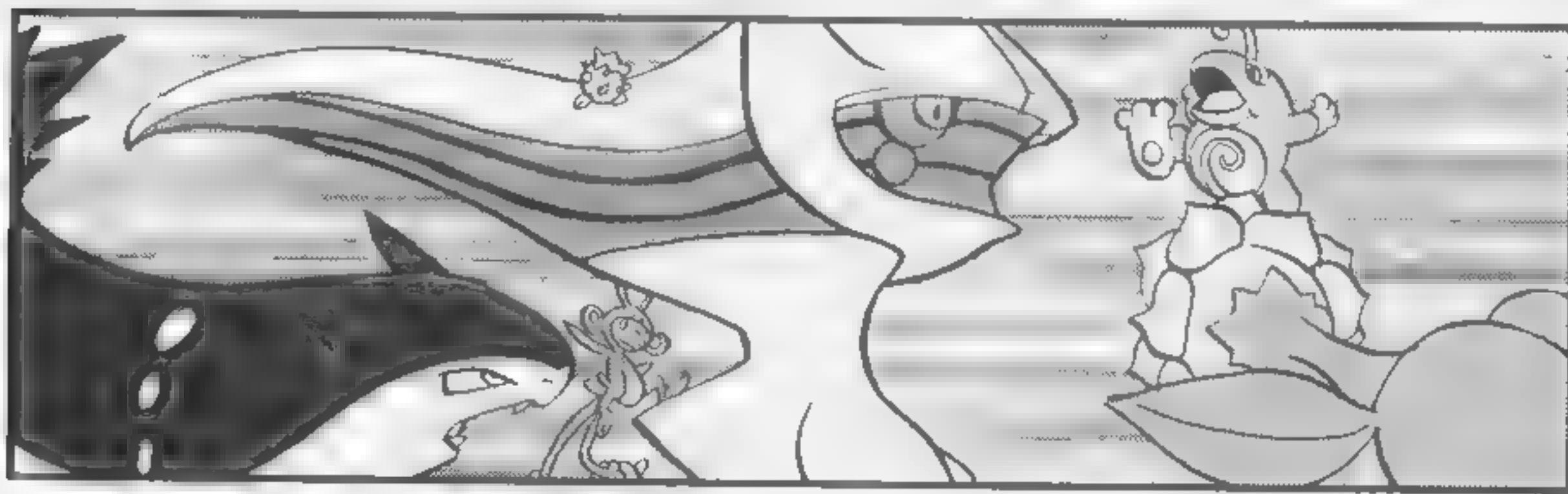
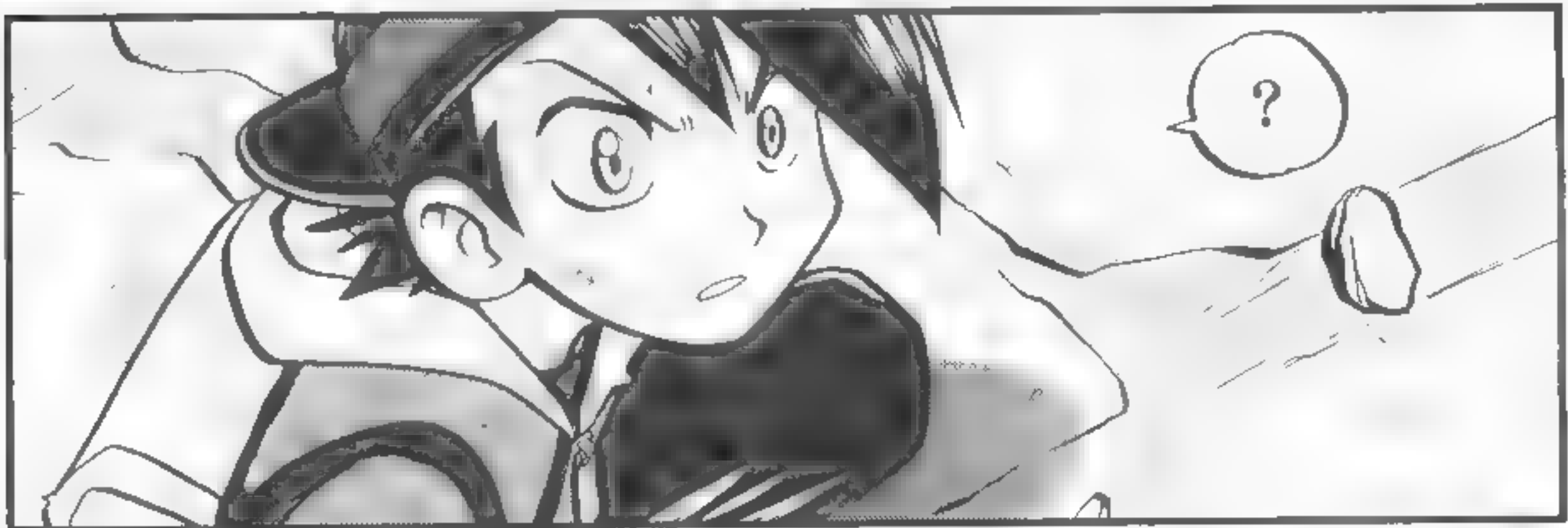
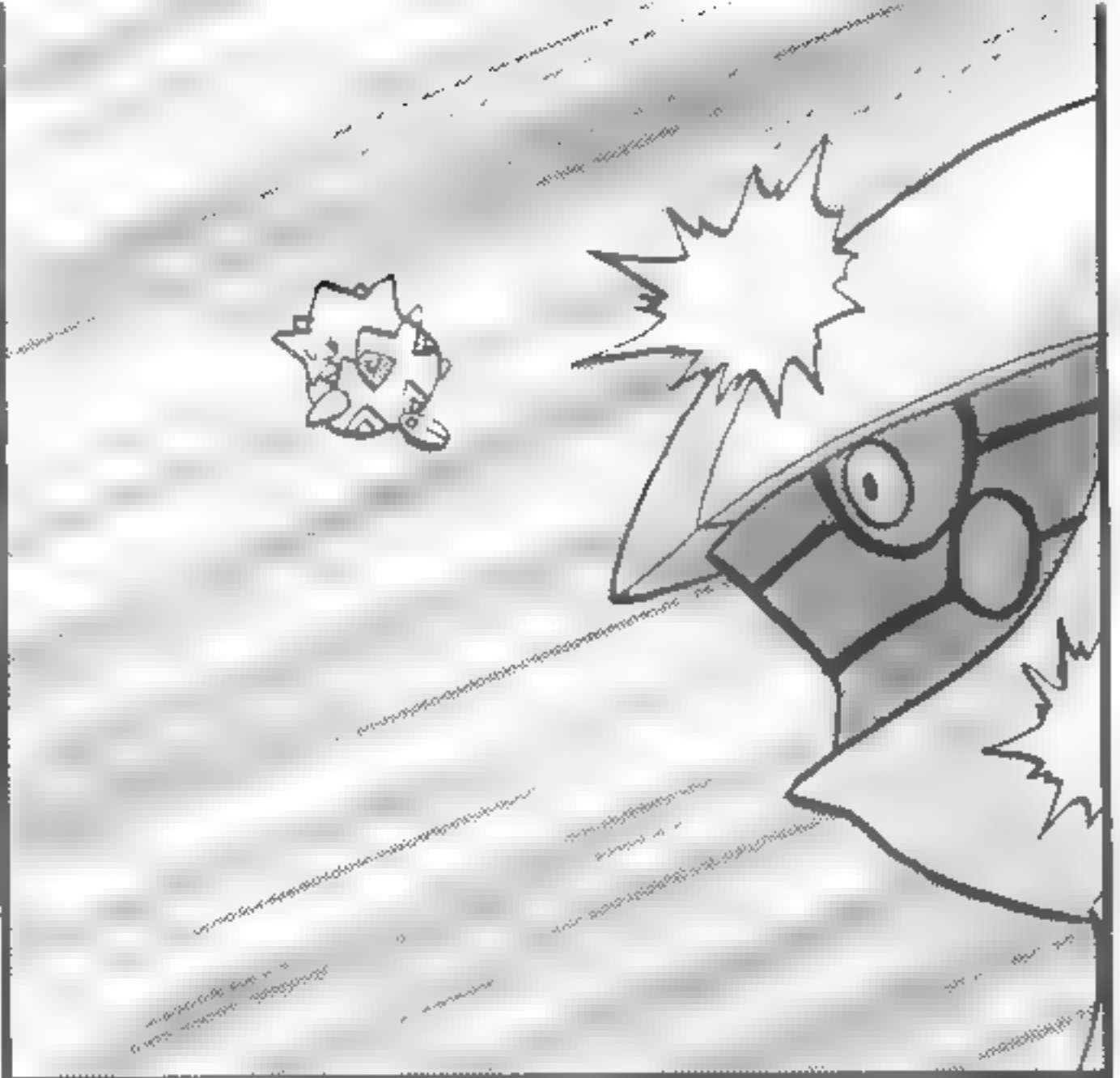
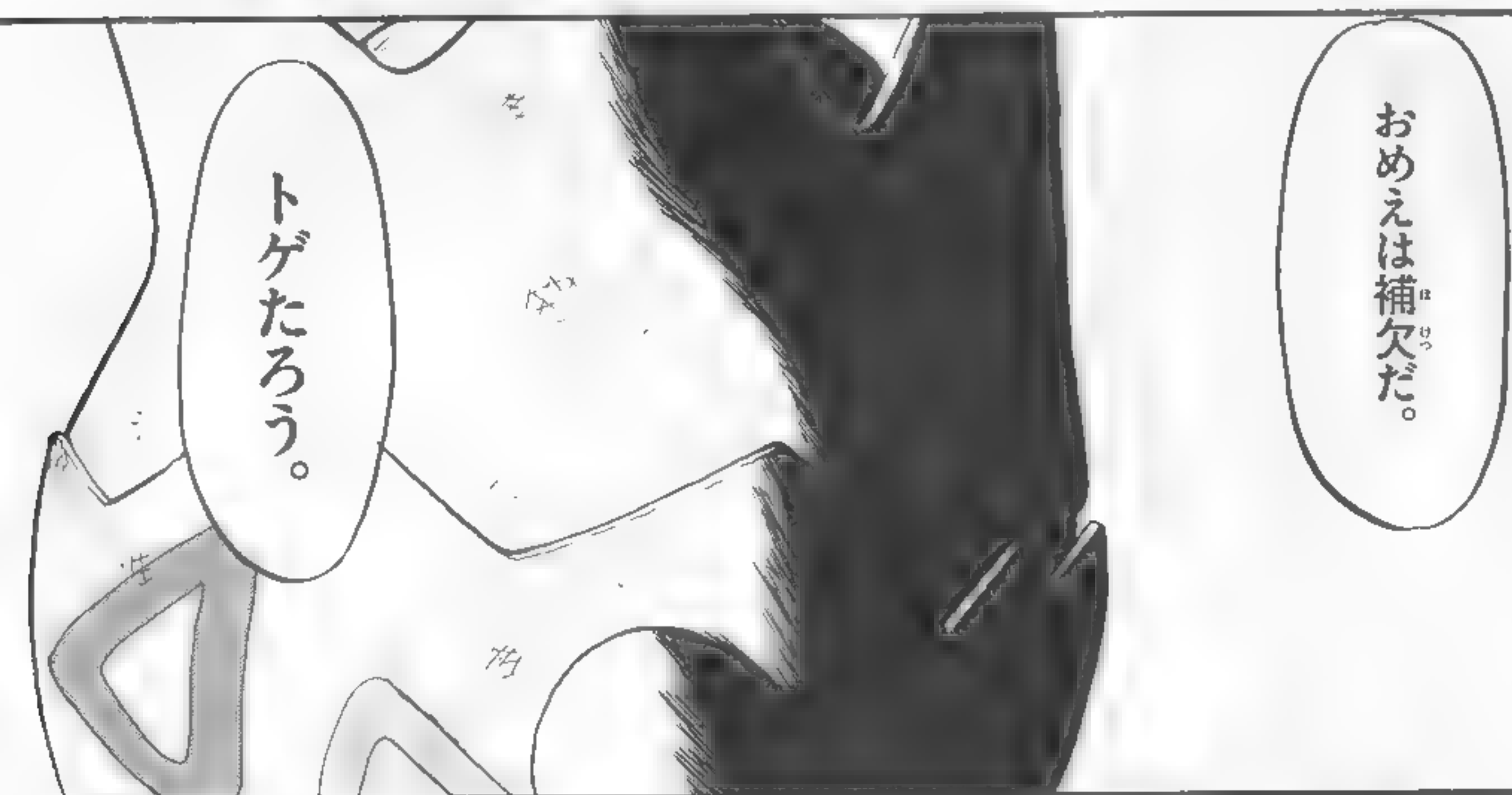
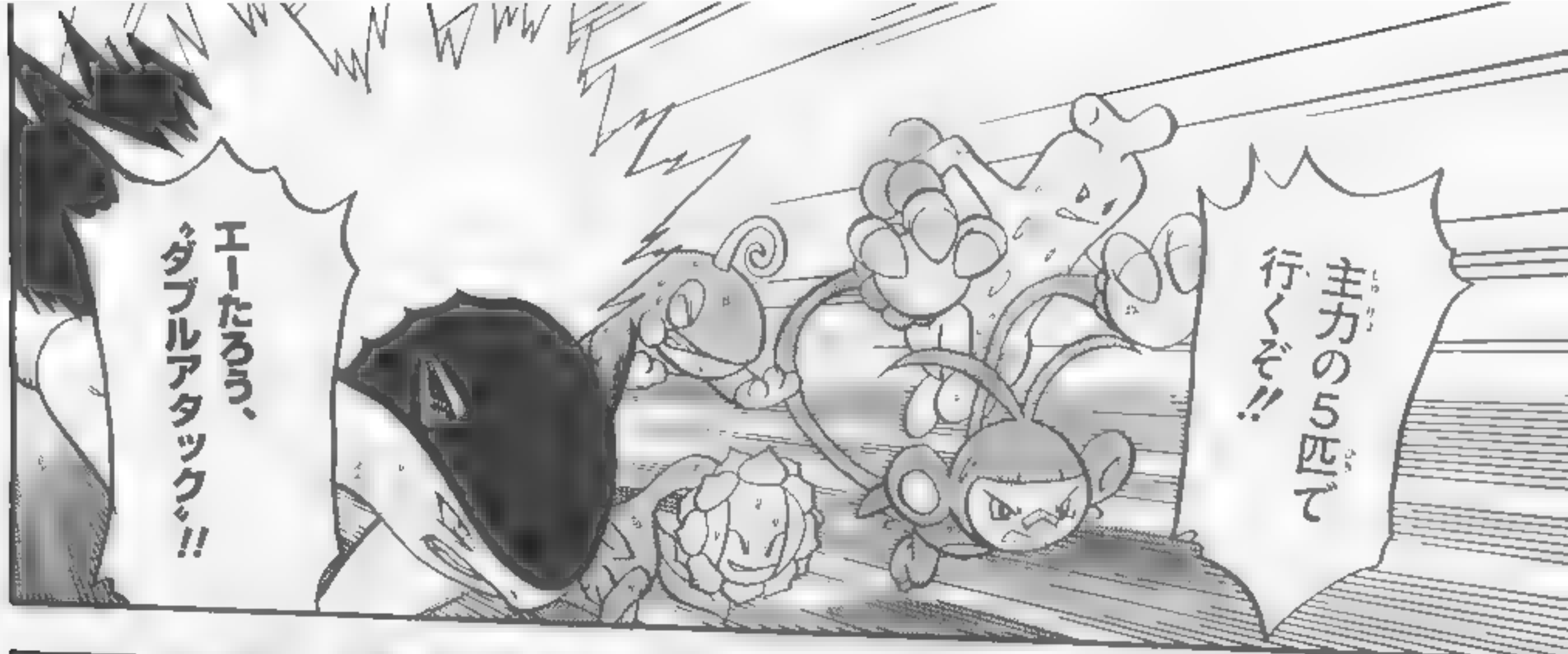
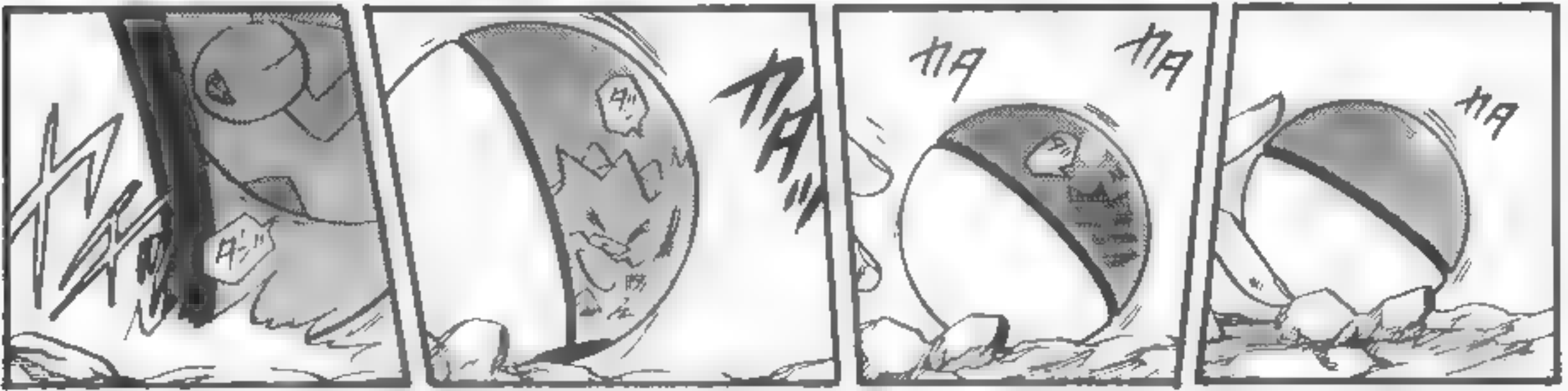
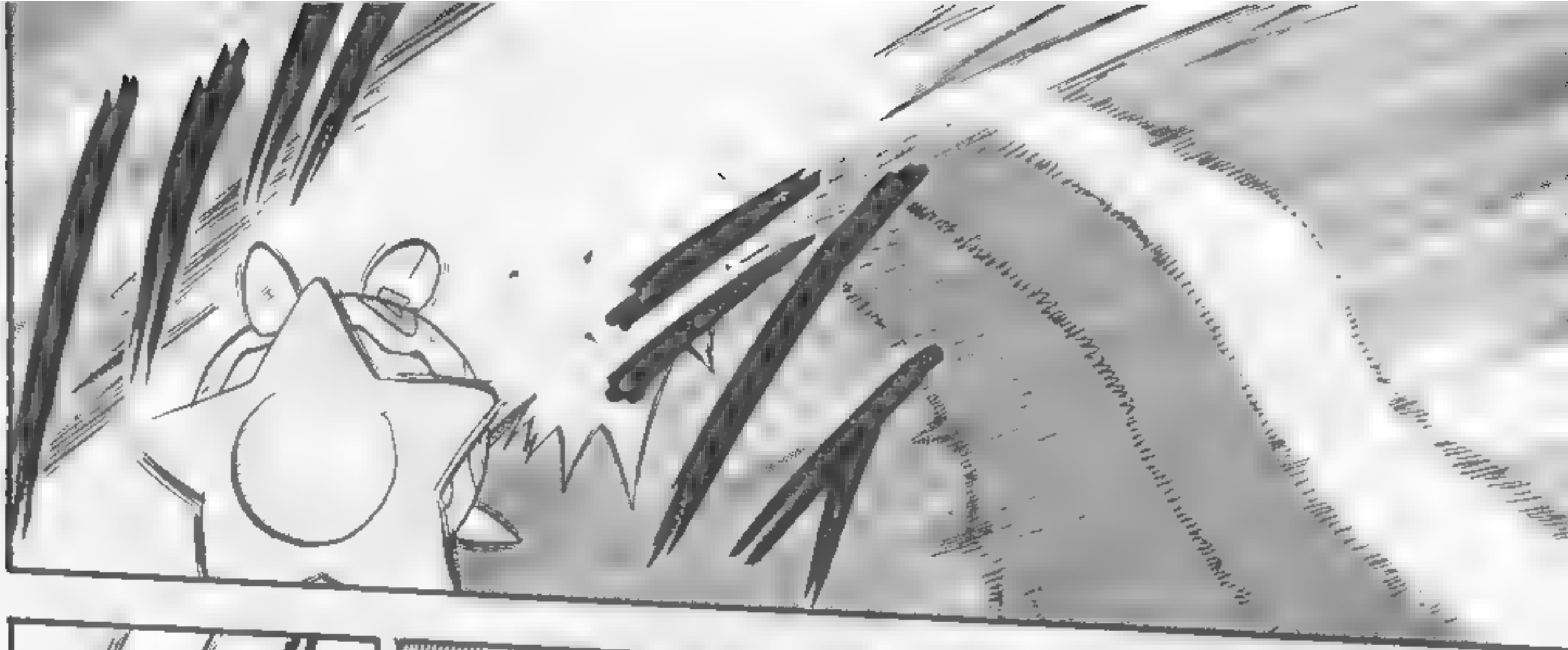
〝ソーラービーム〟!!

〝ブラストバーン〟!!

〝がんせきふうじ〟!!

〝とびはねる〟!!

ゼェ
ゼェ
ゼェ

カタ
カタ
カタ

トゲたろう…!!

だん
だん
だんっ!
ダッ
バッキャロー!!
勝手なこと
してんじゃねえ!!
もどってこい!!
言わんこっちゃねえ。
…ワタルの言ったとおり
ムリなんだよ。

オレたちじゃあ、
アルセウスに何もしてやれねえんだよ。

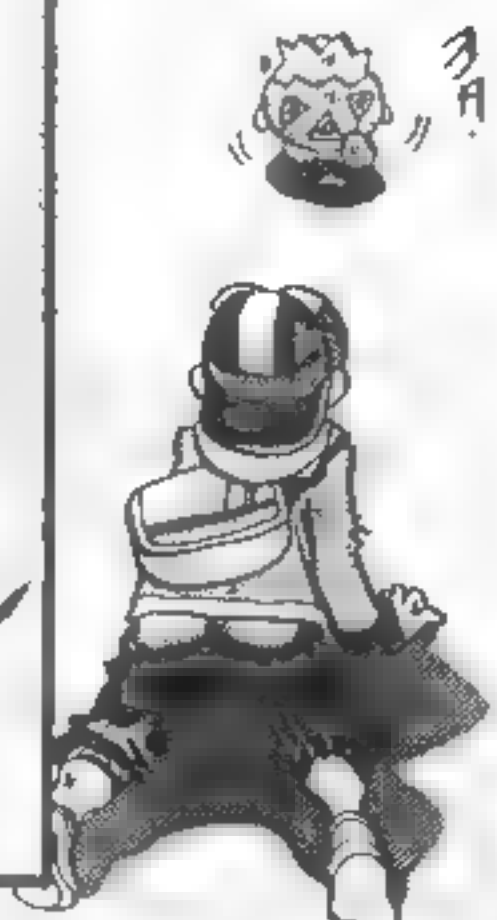
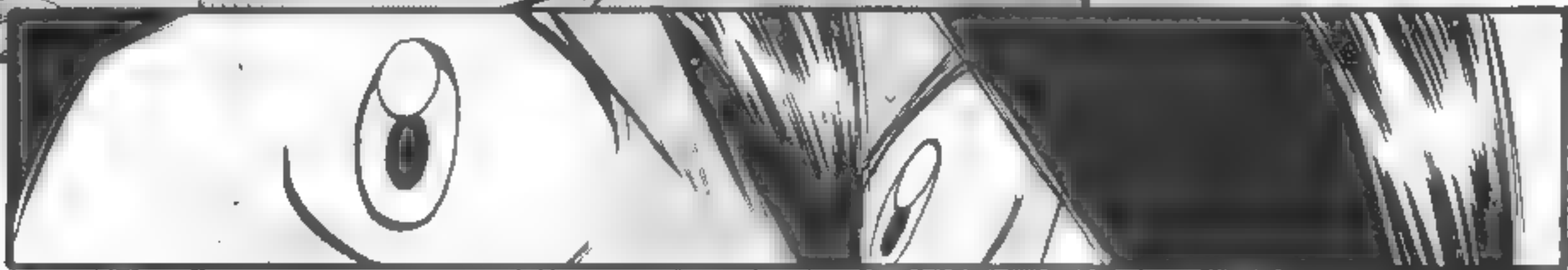
パシッ

うふふ、そっくリ…。

あなたとトゲピー心が通じ合ってたみたいだったわ。

へへへ、とーぜん！トゲたろうとはタマゴの時からのつきあいだもんな！オレが孵したんだ！

実力は折リ紙つきなんだ！

そうだ！それなのに!!

これがオレたちの全員攻撃だぜ！

1匹1匹がオレの大事な相棒だ!!

ここ一番の戦いの時にはいつも補欠にしていた。

そして、今また…。

とっ。

すまなかったな。

トゲたろう。

今イチ、心を開ききってない……なんて、

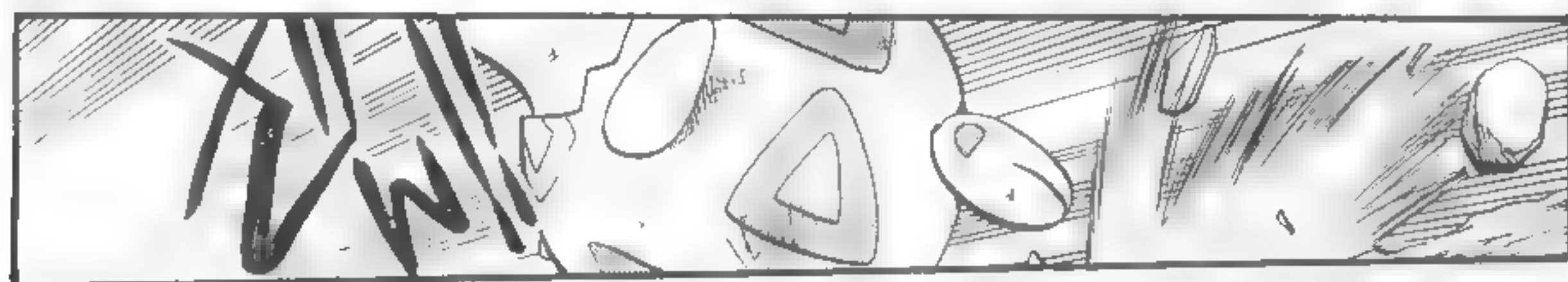
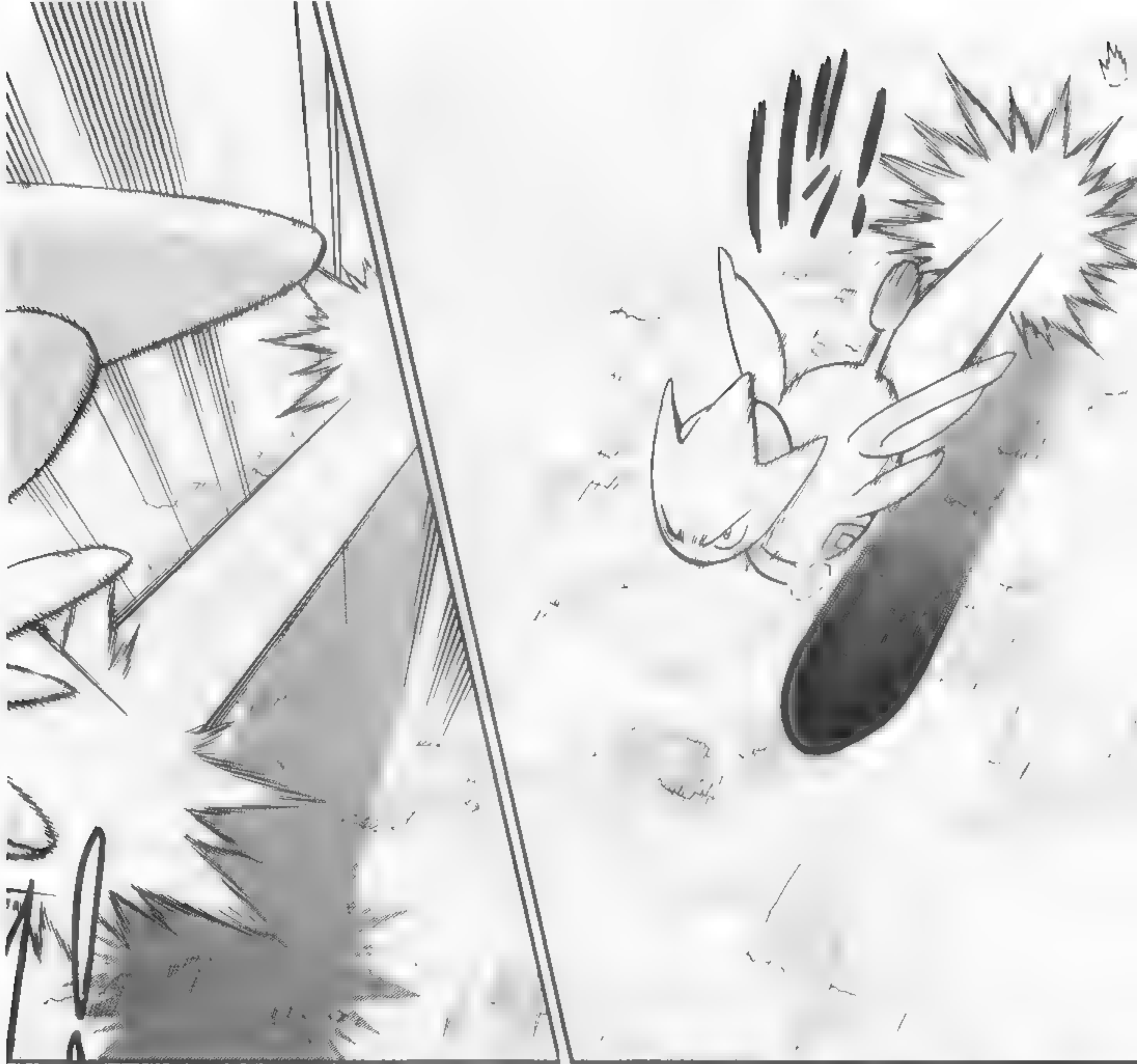
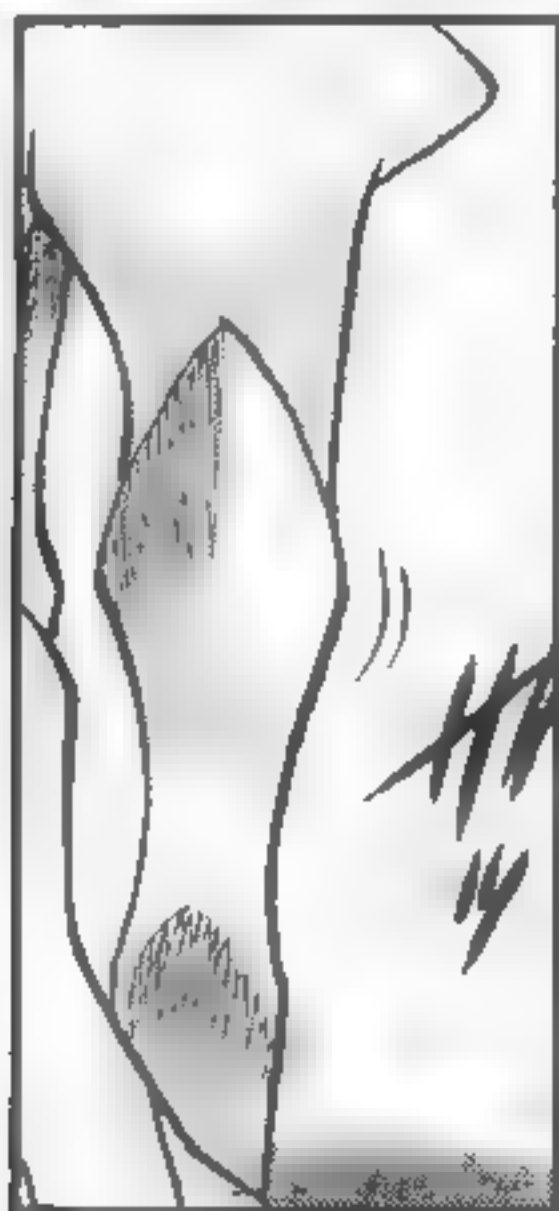
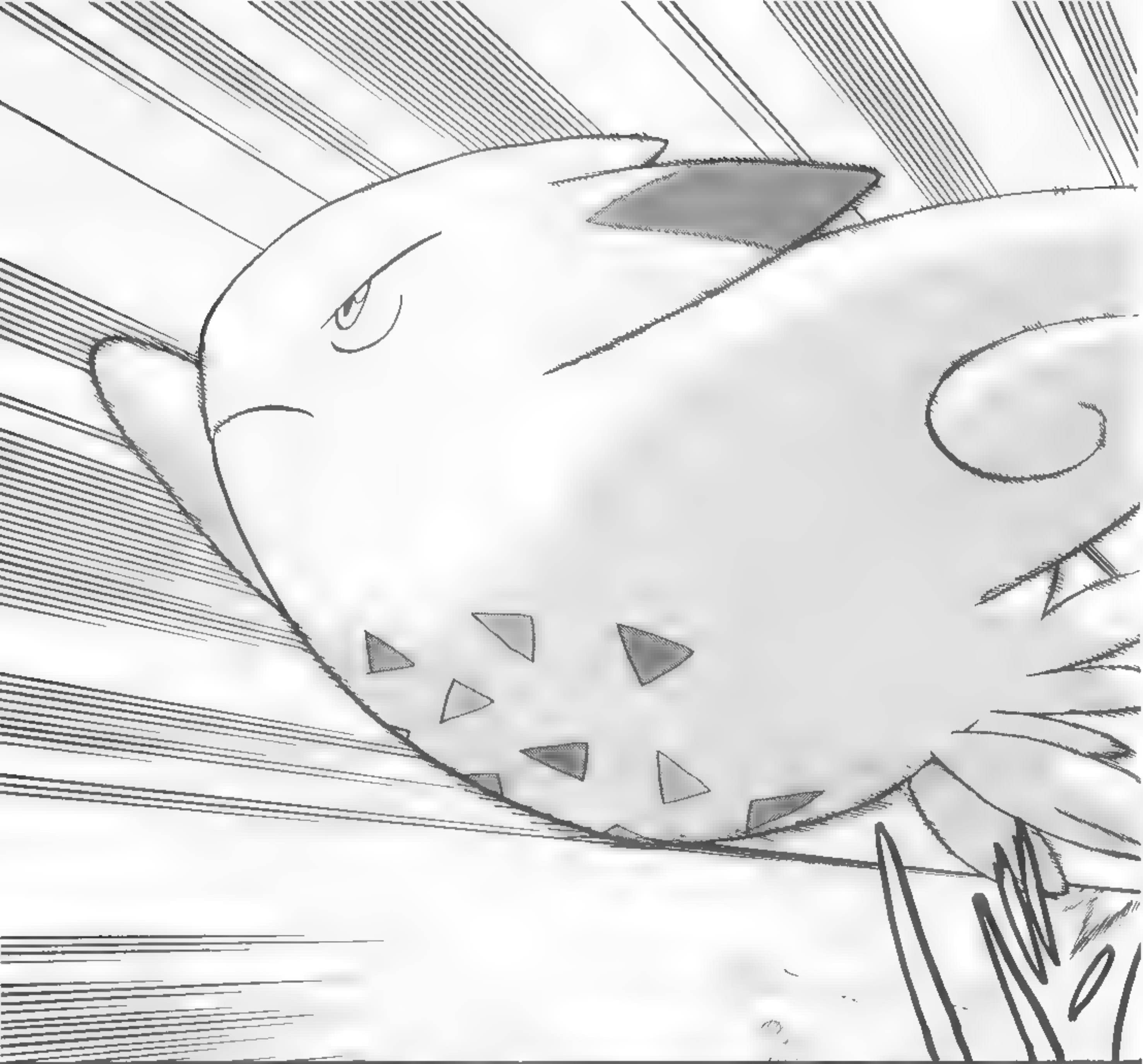
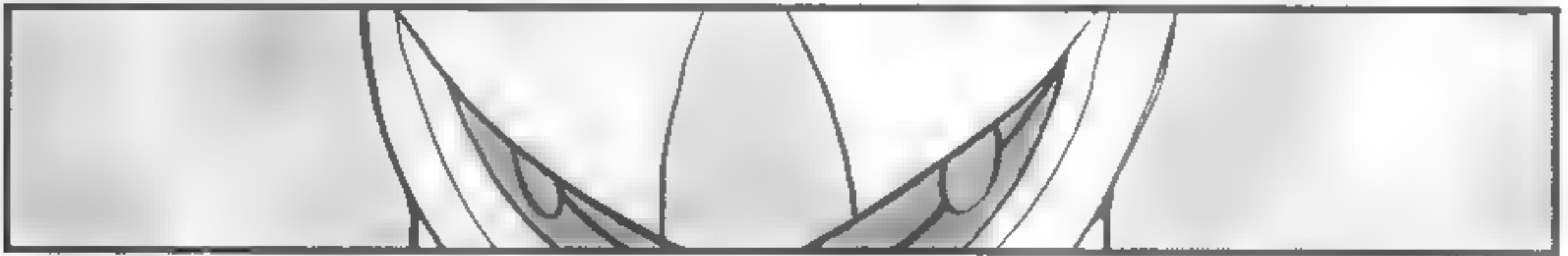
冗談じゃねえよな。

どっちが心を開いてねえって話だよな。

アテにされねえってのがどんだけつれえか…、

百も承知のオレがよォ…。

今さらだがよォ、
行って
アルセウスを
ぶったおしてやれ。

ぜってーだぞ。

ぶちかませェ!!

〝すてみタックル〟だア!!

だっ

だんっ!

アルセウス…。

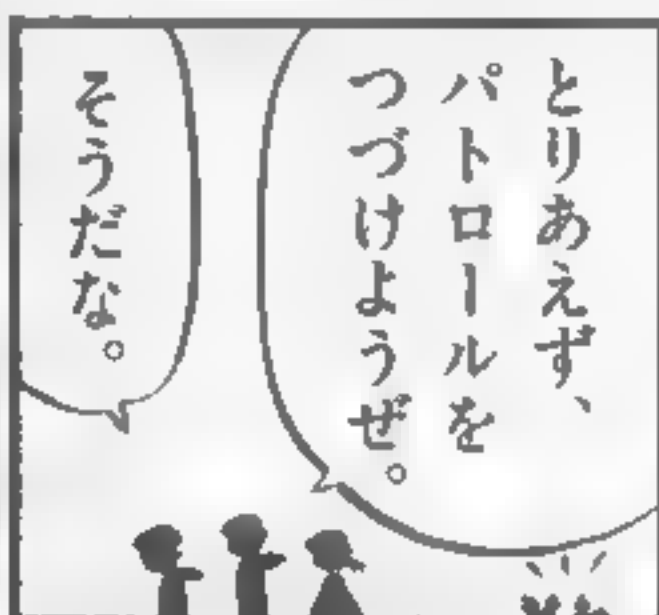
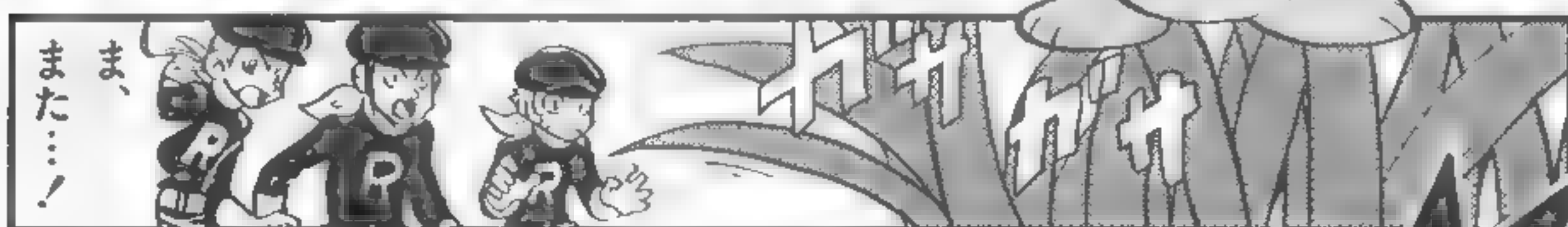
ズッ!!
お、おい！

アルセウスが…！
ゴールドは…!?

#460

POCKET MONSTERS SPECIAL
The Nineth Chapter 9
HEART GOLD&SOUL SILVER

VSアルセウスIX ARCEUS

むむむ。
か、かわいいな。
ガサ
ガサ
ま、また…!
も、もう1匹出てきた。
排除…しなくていいかな?
いいよいいよ、かわいいから。
とりあえず、パトロールをつづけようぜ。
そうだな。
待て!!

ずらり‥

おまえたち3人ね！

4将軍の指示から離脱して、勝手な動きをしてるのは！

裏切り者!!

バ、バカ言え!!
オレたちはサカキ様じきじきの命令で動いてるんだぞ!!

サカキ様の!?

もう少しマシな言い訳をしたらどう!?

あ……、マズい。

セレビィ!!

来ちゃダメだ!!

じ

じ

じ

じ

あ、あれは幻のときわたりポケモン!?

きさまら、やはり!あれを手に入れて謀反を起こそうと…!

だから、ちがうって!!

捕獲するのよ!!

スコルピ、〝つぼをつく〟!!

マネネ、〝まねっこ〟!!

スリーパー、〝すりかえ〟!!

セレビイ、これを持ってアルフの遺跡へ!!

パシッ

薬を…たのんだぞ!!

おのれ!!

逃がすな!!

ぐばばばば!!!

ズズズズ

ズ
ズ
ズ

ぐいっ
ギュムムムム…

うちゅう
うまれるまえ、

そのものひとり、
こきゅうする。

うちゅう
うまれしとき、
そのかけら
プレートとする。

うまれてくるポケモン
プレートのちから、
わけあたえられる。

プレートにぎりしもの
さまざまにへんげし、
ちからふるう。

そのもの、
じかん
くうかんの
2ひき
ぶんしん
として、
よにはなつ。

2ひきに
もの、

3ひきに
こころ。

いのり
うませ、

せかい
かたちつくる。

よくやったな、ゴールド。

楽勝楽勝。

よう! ツクシ! まだいたのか!? あいさつなしで…。

あ!! てめえ、ラムダ!!

仲間を見捨てて自分だけ逃げようとは…、どこまでも狡猾なヤツ。

そうゆうヤツですわ。

そういやぁ
ワタルさんよォ、
あんた、あいつに
敗れたっつー話だが、
なんてあんな
ケチな野郎に…？
フフ。
ケチなヤツではあるが、
敵対する者のことは
よく調べている。
私が、
もっとも動揺する
人物に変装してきた。
同じ故郷、
同じ能力を持つ、
人物にな。
サカキ…。
元より
覚悟の上で、
非道の限りを
尽くしてきた。
すべて因果応報。
すまなか、
よせ。

じゃあ…、

悪事に走った原因は、シルバーがさらわれたからじゃねえのかよ。

ナメられたものだな。

善き心のような邪魔なものは、絶対の強さを希求した時に捨て去った。

ゼェ

ゼェ

サカキ様~~~~!!

く、薬!!

セレビィの薬です!!

やっと任務に成功できた~。

よお、ピチュ!こんなとこにいたのか。

しかも、♀のピチューまで連れてよォ!

おお!!

サカキ様アア!!

……。

行くぞ。

ロケット団を再興する。

お父さん…。

おまえも来るか?

オレのロケット団に。

…い、

…いや。

ロケット団は…、

オレの手でつぶす…!

そして、…サカキ!

おまえを改心させる!!

いつでも来い。
楽しみにしている。
おまえをそこまで育てた2人の師の下で、
もっともっと強くなって、父の所へ来い!!

いいの!? シルバー!! またお父様と はなればなれに…。

いーんだよ! キャンキャン うるせーんだよ、学級委員かっつーの!!

あ。

そーだ! 忘れるとこだったぜ! おい、クリス そのかっこ…、

何しやがる!! オレはただ 似合、

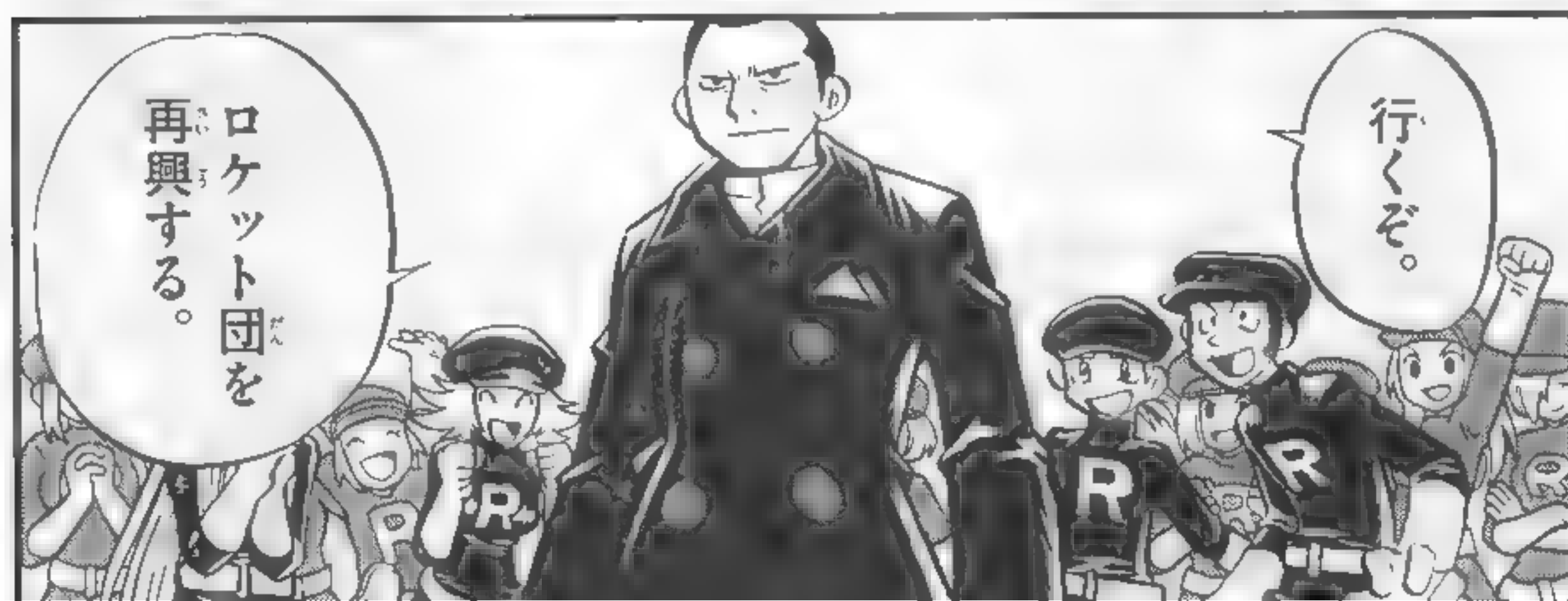
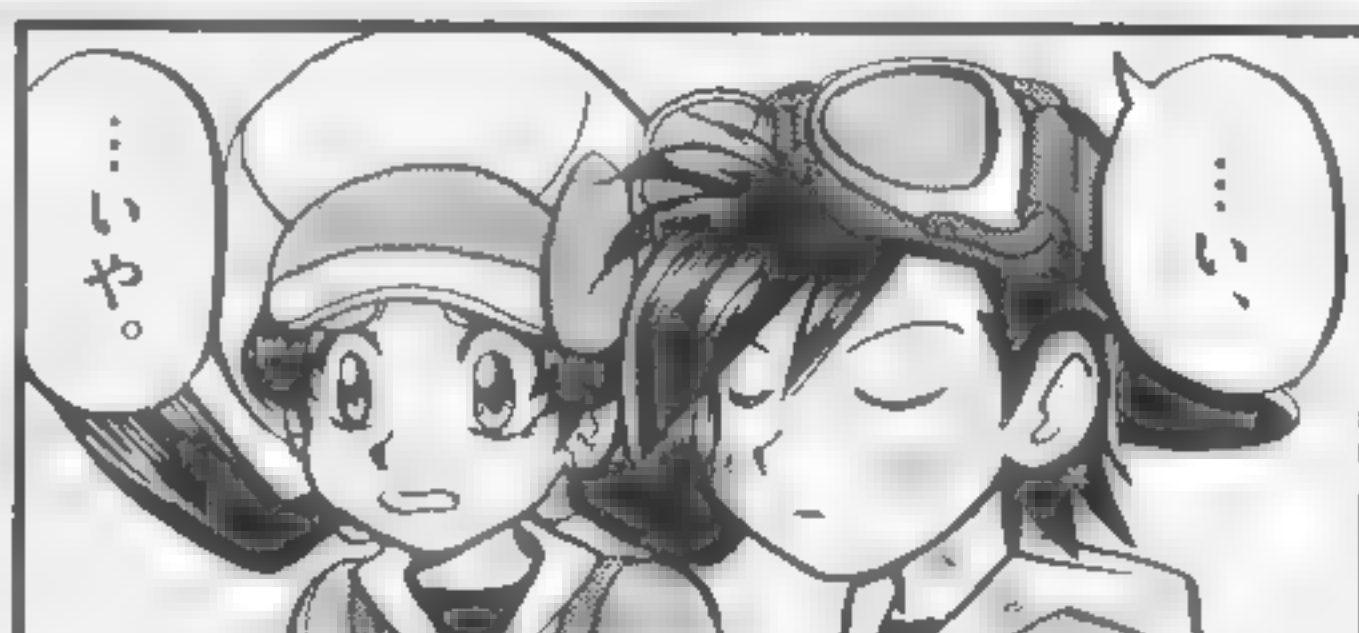
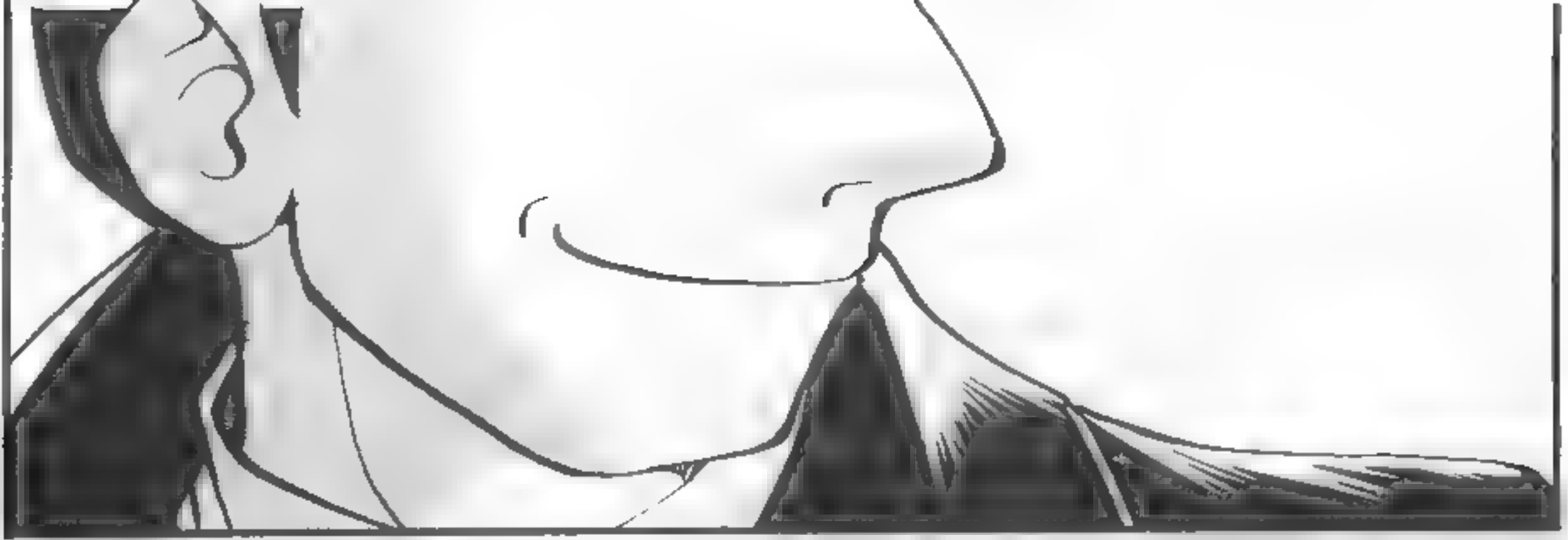
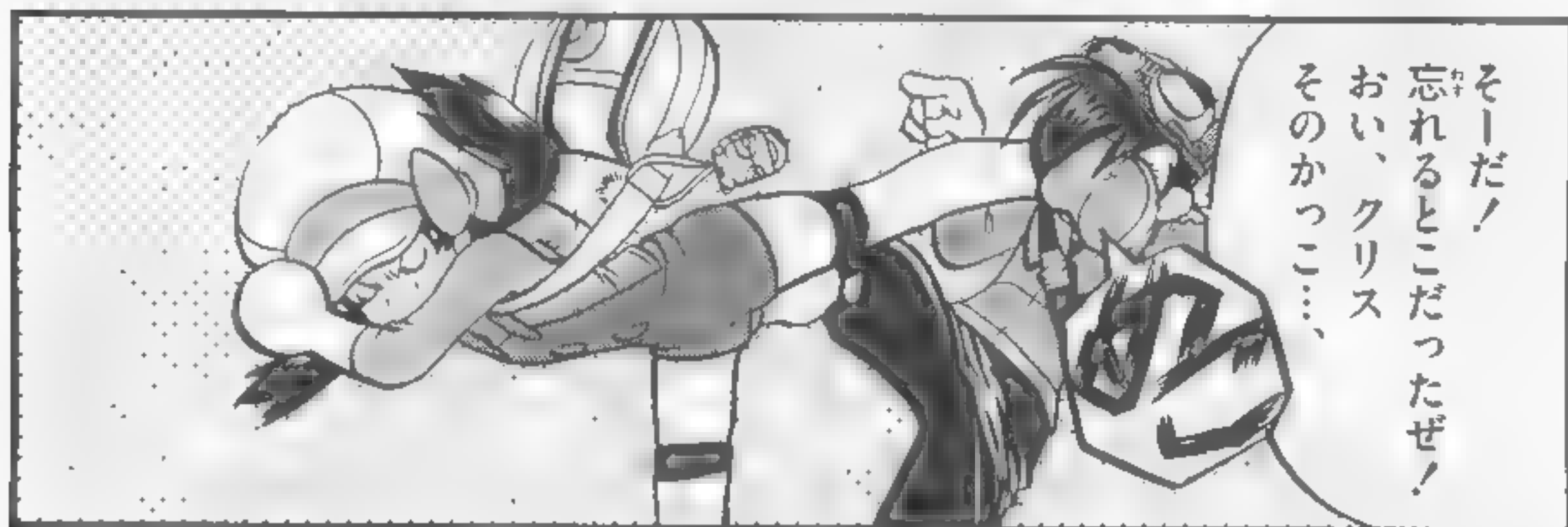
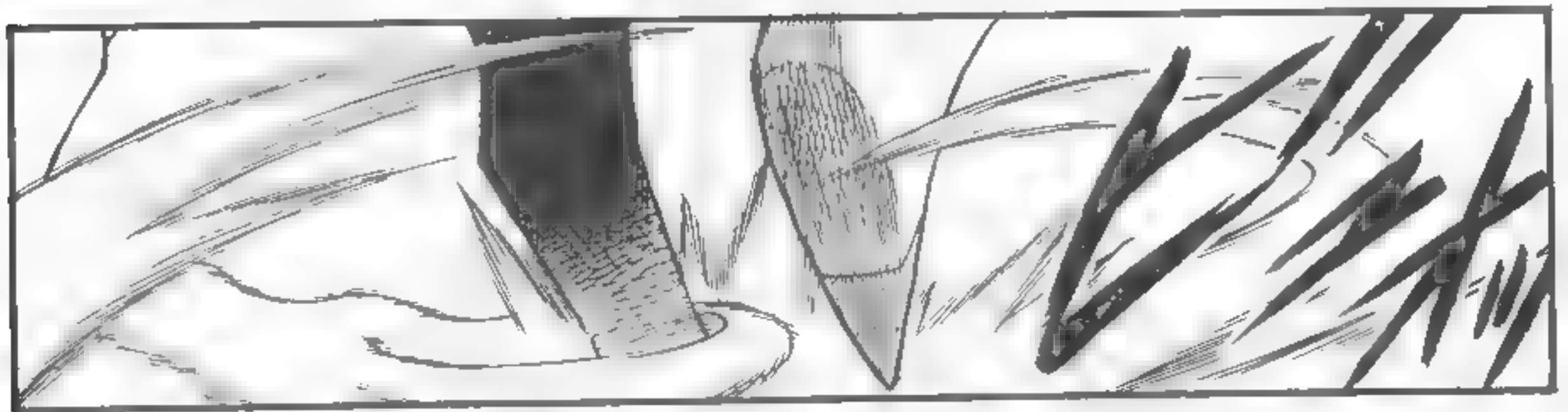
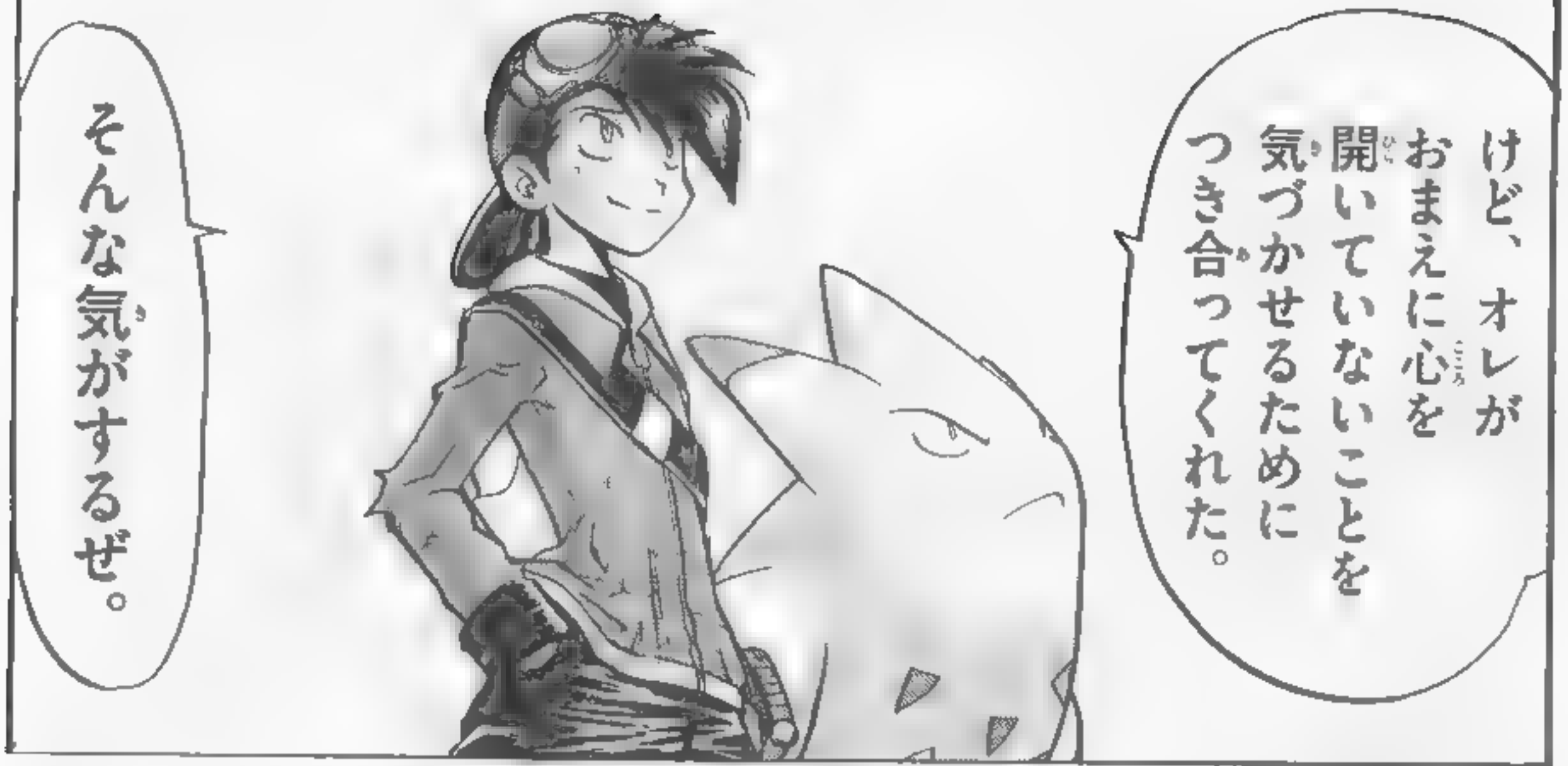
ずぱーん

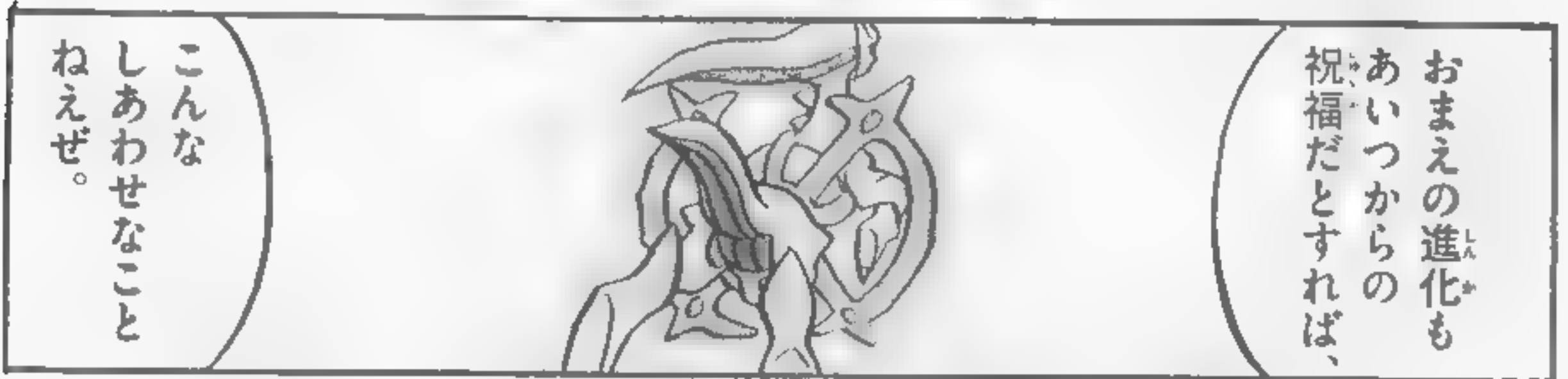
そろそろ お別れだな。

どこへ?

むろん…、チョウジジムだよ。

なあ、トゲたろう。
アイツ、とっくにオレたちのこと、認めてくれてたんじゃねえのかな。

オレにゃあそう思えてならねえんだ。

けど、オレがおまえに心を開いていないことを気づかせるためにつき合ってくれた。

そんな気がするぜ。

おまえの進化もあいつからの祝福だとすれば、

こんなしあわせなことねえぜ。

ありがとなァァ!!

アルセウスゥウウ!!

今度ジョウトに遊びにくることがあったら、

いっしょに散歩でもしようぜー!! あったかビーチとかでよォ!!

………。

お! 乗れってか?

よーし!

じゃあ、ひとつ飛び行くか!

ゴールド！どこ行くの!?

へへ！ちょっとアルセウスを見送ってくらあ!!

すぐ戻ってくるぜ!! ダチ公ども!!

行くぜ！トゲたろう!!

ギュオオオオ
今の、私の故郷に伝わる神話の2匹に似ていた

飛んで行ったのも、シンオウ地方の方向…。

まさかとは思うけど…。

おばあちゃんに知らせとこう！

ピポパ

あ、ばあちゃん？あたし！

…うん、ぼったらべったら。

…うんうん、んだばってカンナギてね！

ピッ

失礼。

今の言葉…、シンオウの人？

え？ハイ。

いや、突然すまない。私もシンオウのフタバ出身でね。なつかしくってつい。

奇遇ですね！ジョウトの…こんなへんぴな所で！お仕事ですか？

ええ、まあ。ポケモンバトルに夢中になるあまり、家族をほったらかしてここまで来てしまった。

あらあら！

あたしも同じようなものです。

神話を研究してあちこちフラフラ。

神話といえば、

今、神話のポケモンがどうとか…。

あ、いや、盗み聞きするつもりはなかったんだが…。

ついさっき、上空を飛んで行った巨大な影…。

あのとてつもないエネルギーと関係が？

あなた、何者です？それを感じるなんて…。

ジョウトのバトルフロンティアでブレーンを務めてる。

道理で…。ただ者ではないと思いました。

いやいや。

それに、あなたのポケットからも力を感じるんですが。

むむっ、するどい！

まあ！レジギガス!!

やはり、ご存知か。

古いダチでジンダイって男がいて、

そいつの持っているレジロック・レジアイスレジスチルを借りて、めざめさせてはみたものの、

いやはや、オレには手に負えなくて。

だから元の場所…、キッサキ神殿に解き放とうと思っている。

…そう…。

正直言って、今の平和なシンオウでこいつの力は必要ないし。

これからもあってほしくはないんだが…。

一度、シンオウに戻って調べてみた方がいいかもしれない。

ええ、あたしもそうしようと思います。

じゃあな！

うん、またね。

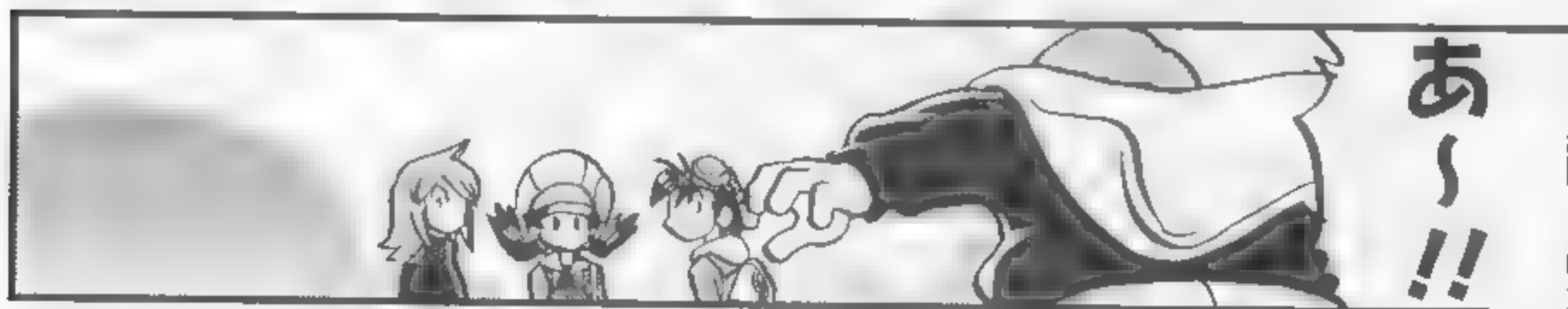
…ああ。

あ～!!

うわ～～～、重要文化財のアルフの遺跡がこんなに…。

半分消えたエンジュジムよりはまだマシだけど。

ホント、ゴールドくんの行く先々無事ですまないな！

なんだとォ!!

だいたいあんたらマスコミは、事件になった方がおいしいって思ってんだろーが!?

どーせ、録音だ中継だやってんだろ!?

マイクはどこだ!? レコーダーはどこだ!? 出せっつーの!!

あ～～～れ～～～!!

あ、ありゃ？

ビデオカメラ？

あんた ラジオの人なのに、なんで映像まで？

フフフフフフ。

ついに念願かなってテレビの世界、それもプロデューサーに抜擢されたんだ！

にゃ〜〜にィ〜〜っ!!

今度はテレビでオレを追っかけ回す気ッスか？

ちがう！ ちがうんだ、ゴールドくん!!

ぼくはね！ ホントは子ども番組を作りたかったんだ！

見てくれた子どもたちの心に、大切な宝物のように残るような番組をね!!

ステキ！

おい！

それ、企画書っスか？

ちょっと拝見。

むむ？

なんじゃ、こりゃ?

㊙
児童向け合身活劇
タウリナーΩ
企画書

けっ!
合体ロボット物かよ~~~~。
ん?

ッシー司令

おい、

ピカ隊員(タウリプレーン

ョロ隊員
ウリライナー

おいおい。

ギャラ隊員(タウリシップ

プテ隊員
ウリバルーン)

こいつぁ、

ゴン隊員
(タウリレスキュ

まるっきりレッド先輩の手持ちがモデルじゃねえか!!

あ、わかる?

シロガネ山で修業を見せてもらった時、彼らのカッコよさにシビれてね。

そこにオレもいたろーが!! 今から変更しろ!!

オレの手持ちが活躍する番組にしろ!!

あ!! 大切な企画書を!!

あ、育て屋の所に呼ばれてたんだった!!

ちょっくら行ってくらあ。

せわしないわねぇ、なにごとなの?

ほら、ホウエンでヨロイ野郎と戦ったあと、レッドさんとエメラルドのカビゴンがいい仲になったじゃねーか。

うんうん。

いろいろ用事言いつけてきやがんだよ。

なんか見つかったらしいんだよ。まあ、パパッと孵してくらあ。

これでやーっとあのジジババとも切れるしなァ。

どういうこと?

引っ越すんだとよ。遠い地方で育て屋をやるんだってさ。

へえ!

あ〜〜〜、引っ越しの手伝いもしなきゃなんねんだ。

おい、シル公! いつまでそんなもん読んでんだよ! おまえも引っ越し手伝え!!

おい！
このタウリナーΩ、
今すぐ見たい！
ゴォォォン
ええ音どすなあ。
ゴォォォン
心をこめ奏でる古都の音。
魂に響きわたる…どすなあ。

そして…、

またファンからプレゼント？

なんかちょっと太ったんじゃない？

スイク〜〜ン！

同じマントを10着ですか？

…む。

月日は流れ…。

おい…。放送はじまるまでオレん家にいすわる気か？

舞台も移る。

きのみグリルができたわよー!

あら?

いない。

そっか、今日が本番だっけ。

きっと朝からけい古ね。

めざせ100万円
新世代お笑いグランプリ
Daibaku Show

ううん、

たとえ優勝できなくたっていいの。

ダウッ

優勝できるといいわね。

POCKET MONSTERS SPECIAL THE NINETH CHAPTER
HEART GOLD & SOUL SILVER
Fin

POCKET MONSTERS

SPECIAL

第9章 サブタイトルリスト

The Nineth Chapter

41巻

442話：挑戦 ポケスロン！

443話：四天王登場！

444話：極秘指令！

445話：復活の狼煙！

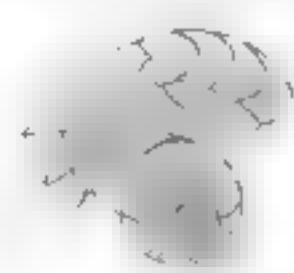
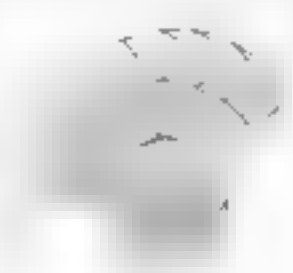
446話：サファリゾーンの戦い！

447話：プレート争奪戦！

448話：噂の千里眼！

三つ舞台の攻防

42巻へ続く

41

42巻

449話：大地の継承！

450話：集合4将軍！

451話：遺跡へのルート！

452話：伝達のサイン！

453話：語られる起源！

454話：突入 謎の領域！

455話：幻のタイプシフト！

456話：絶望の三つ舞台！

幸せ 祝福

43巻へ続く

42

HEART GOLD & SOUL SILVER
Sub Titles List

43巻

43

GO TO THE NEXT
Chapter!!

POCKET MONSTERS SPECIAL

The Tenth Chapter 10

イッシュの『真実』
——白きドラゴン

イッシュの『理想』
——黒きドラゴン

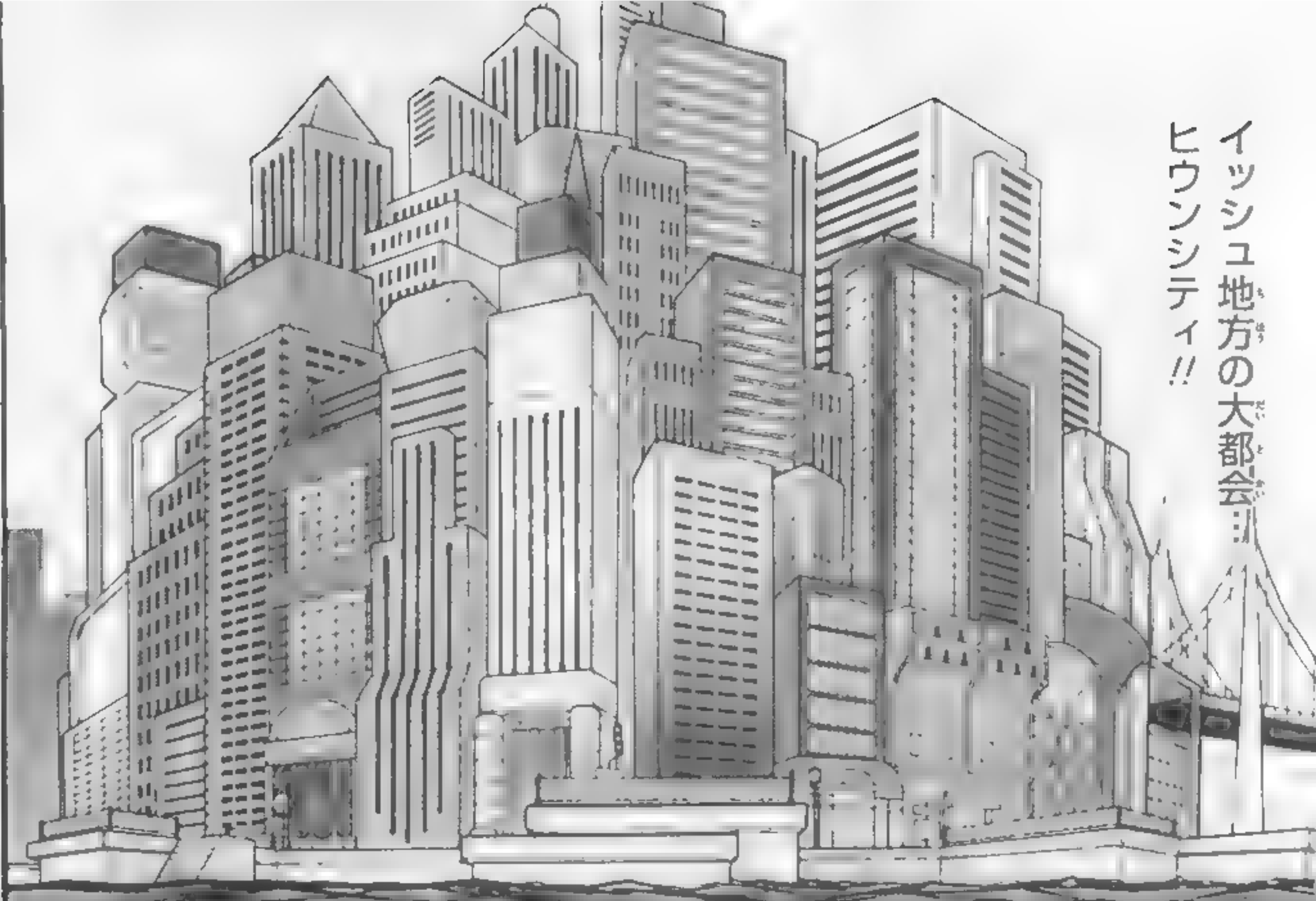
BLACK & WHITE

イッシュ地方の大都会
ヒウンシティ!!

461 VSポカブ POKABU 前夜

うん!
そうなの、
決めたのよ!!

同じこの
カノコタウンに住む
3人に決めたわ!

アララギ
ポケモン研究所

そう！
3匹のポケモンを
たくす
少年少女たち!!

ええ！
明朝
とどけることに
なってるわ。

……。

ええ！
じゃあね、
おやすみ!!

報告
終了!!

さ、
夕はんに
しましょ！

と、
その
前に…。

あなたたちを
ボールに
戻さないとね。

ツタージャ。

ミジュマル。

ポカブ!!

どんなトレーナーが「おや」になるのか楽しみでしょ?

ちょん

3匹とも明日にそなえて早めに休みなさ

トゥロロロロ

あら?

また電話。

トゥロロロロ

トゥロロロロ

ゴシゴシ

もしもーーし!

あ、マコモ?

ひこ ひこ

どじゃ〜ん
じぐ・・
ビュルルルル
ダッ!

こんがり～

しゃく!!
ゴッ
ゴッ
しゃく
しゃく
しゃく
は
プ
プ
プ

べち べち
べち
べち
べち
べち べち
べち
オロオロ
バタバタ

ハァ

ハァ

ハァ

ズ

ズ

ドカ

ズズ

しゃばばば

ズババババッ

しゅっ

バババ

「ゆめのけむり」？何それ、マコモ。

つまりね、ゆめ…。

コラ———ッ!!
何やってんの———!?

ちょ…!!

な…!!

ふわ

ふわ

あらあら
火の玉じゃなく
けむりが出たわ。

カゼひいたん
じゃない？
ポカブ。

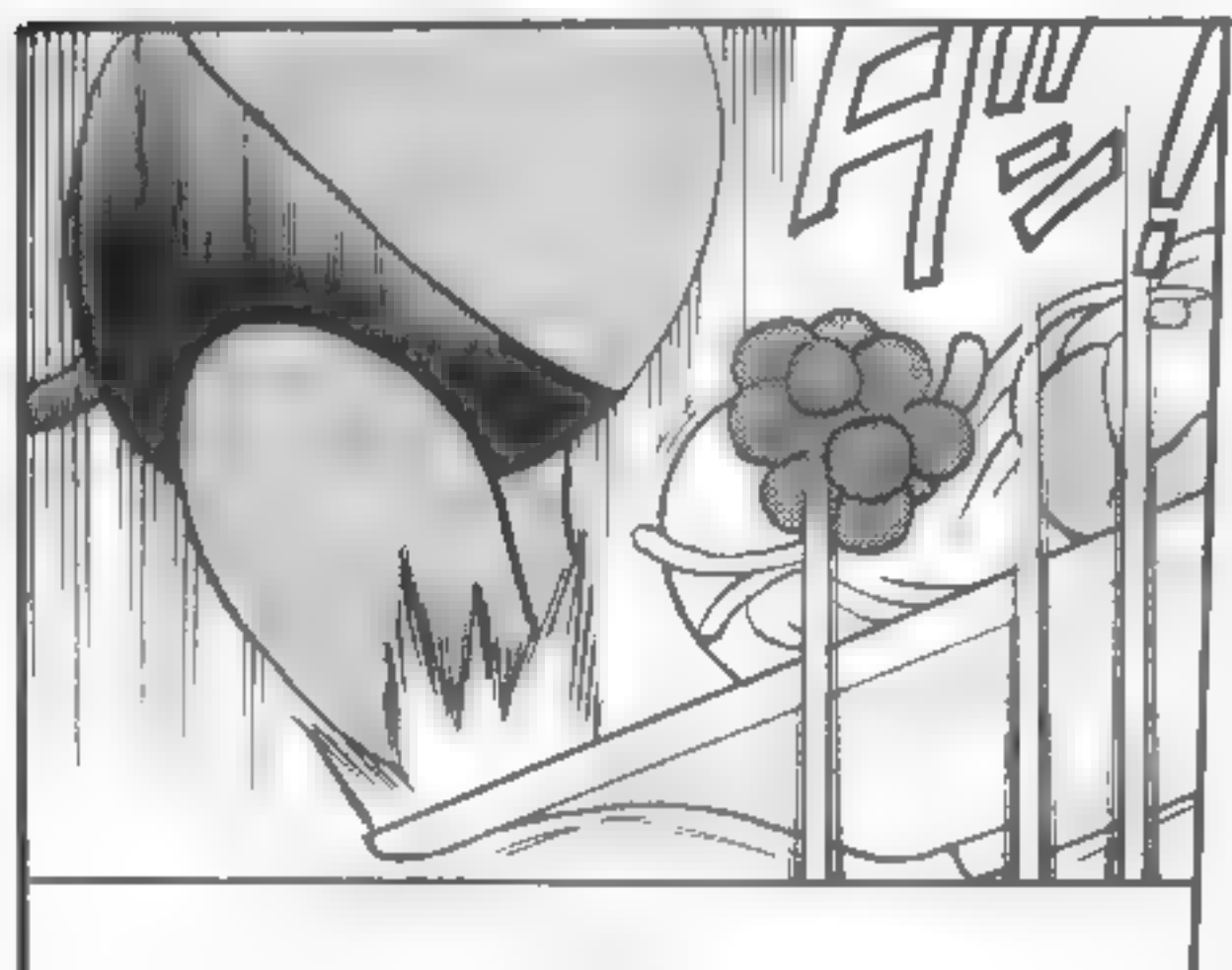
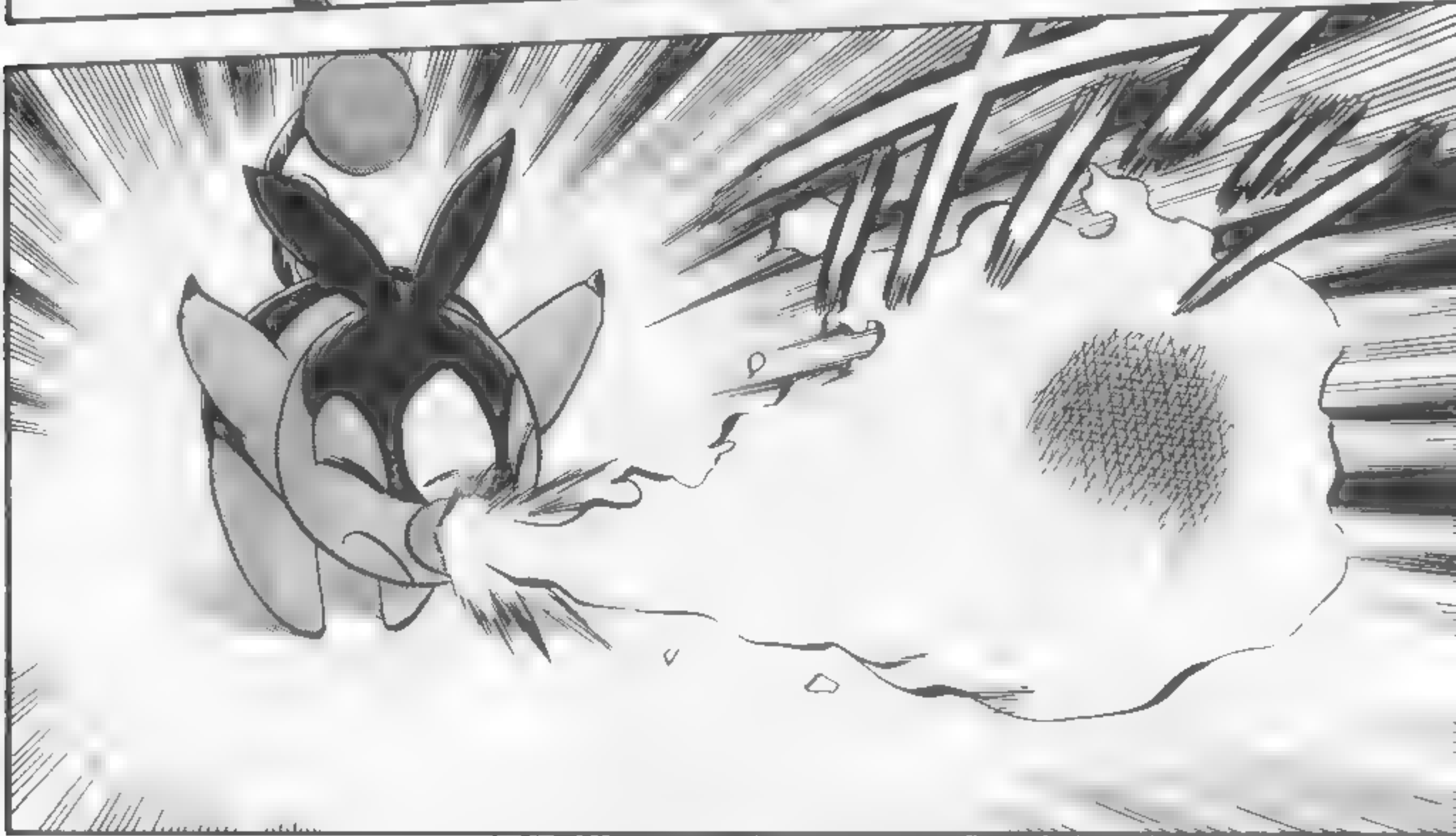
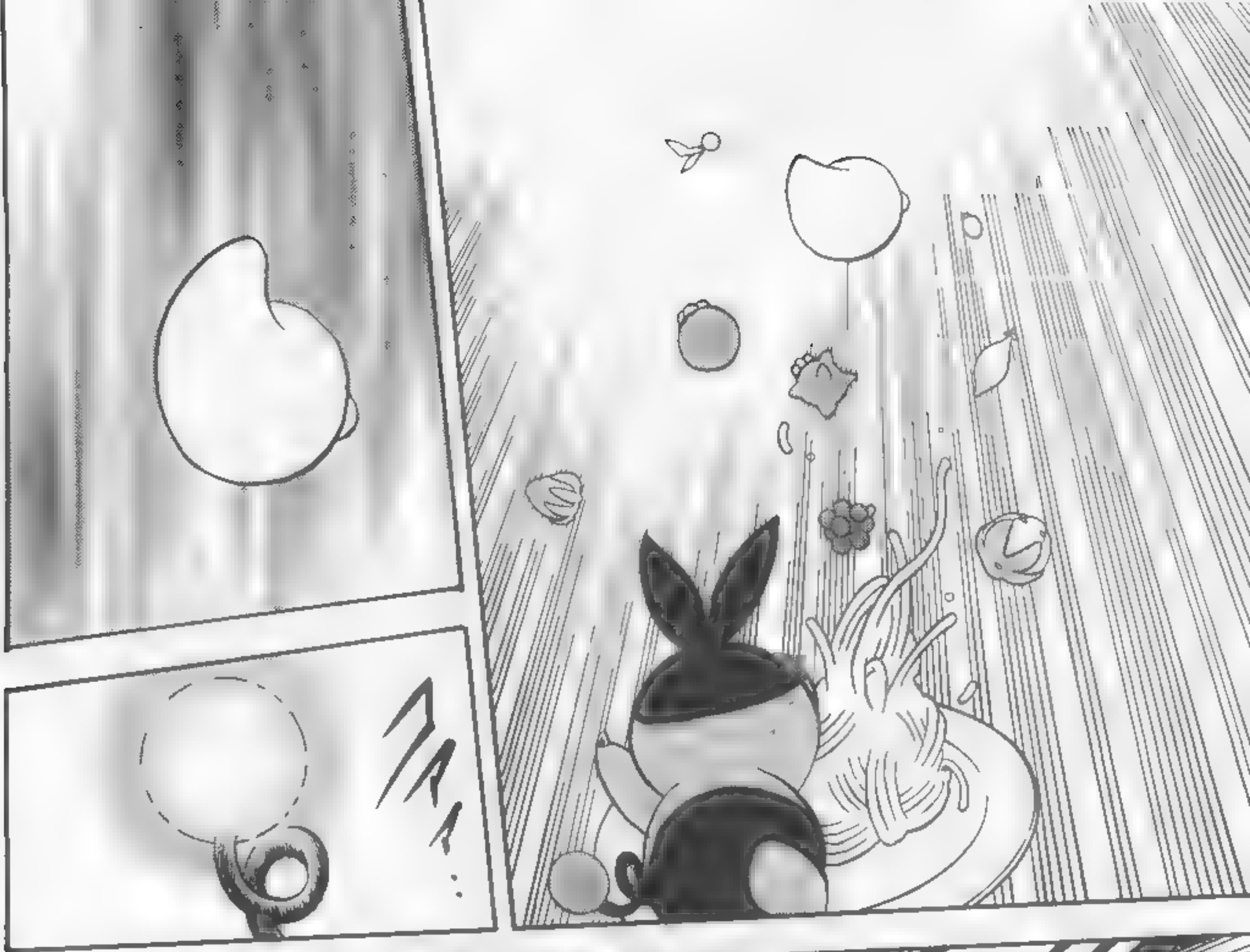
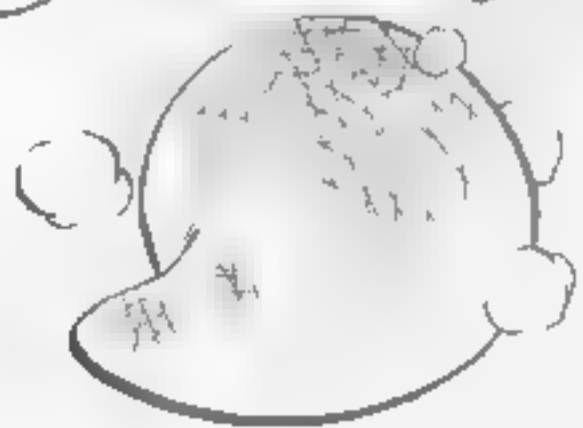
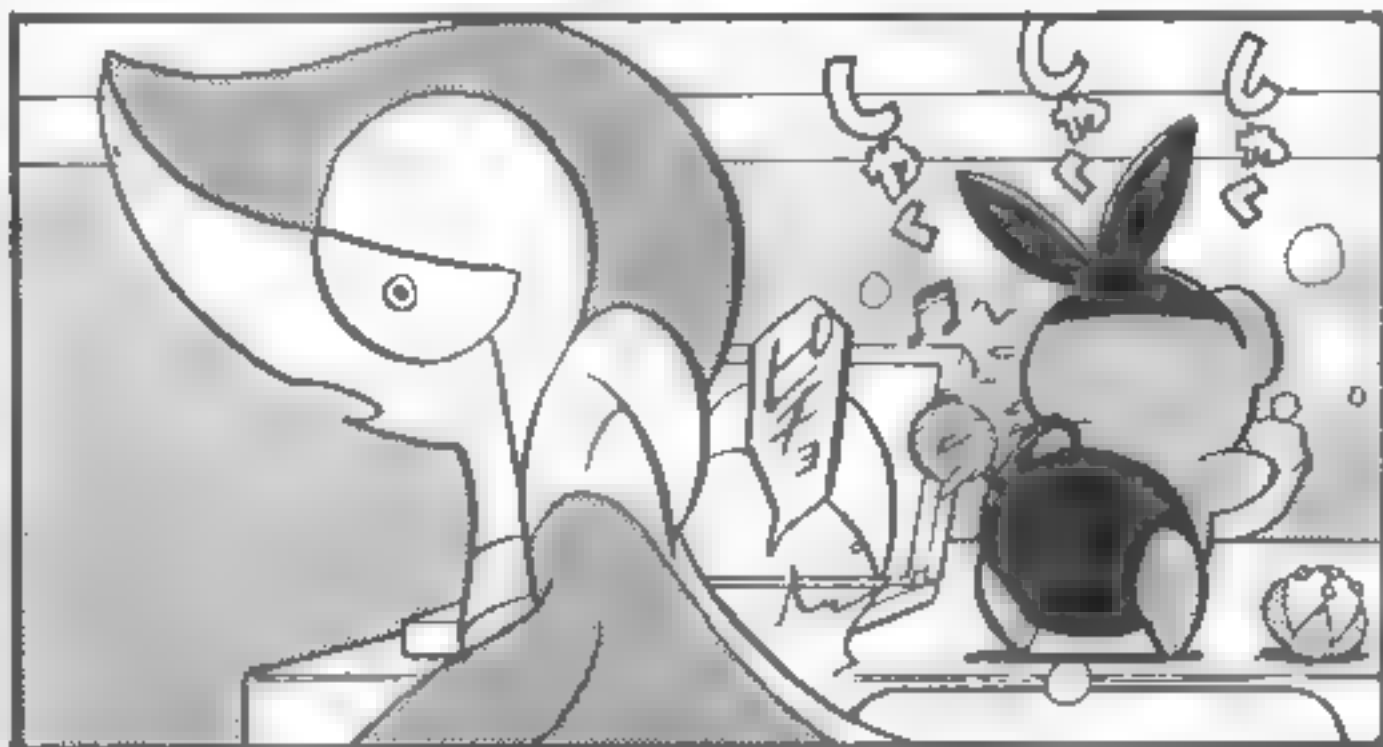
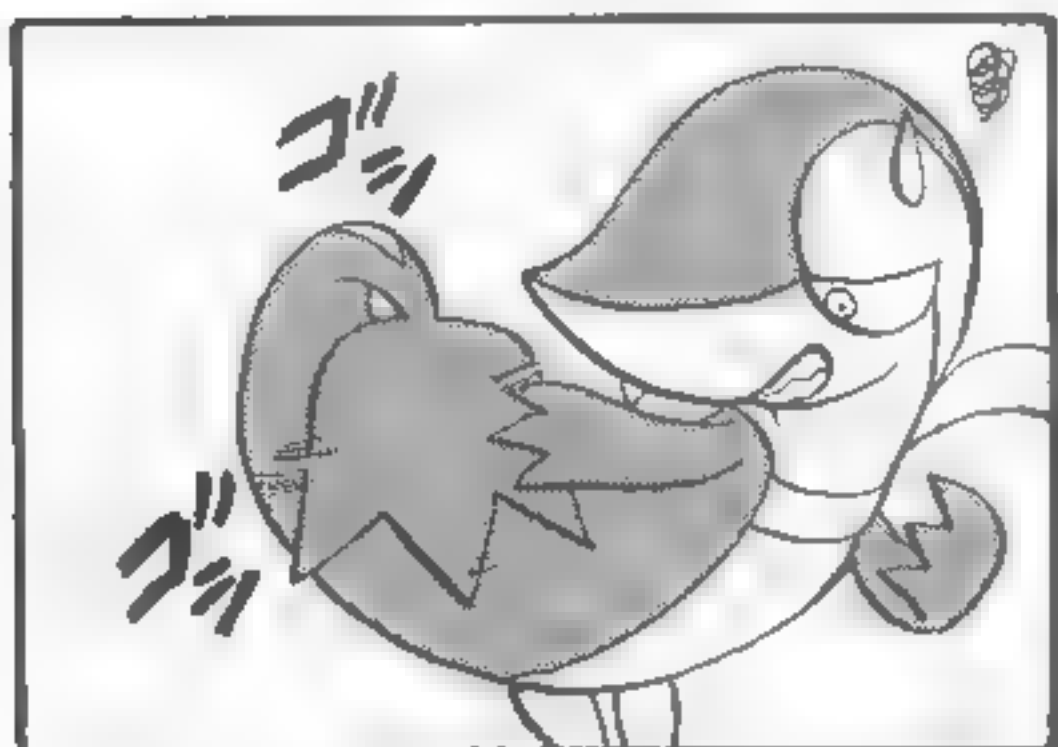
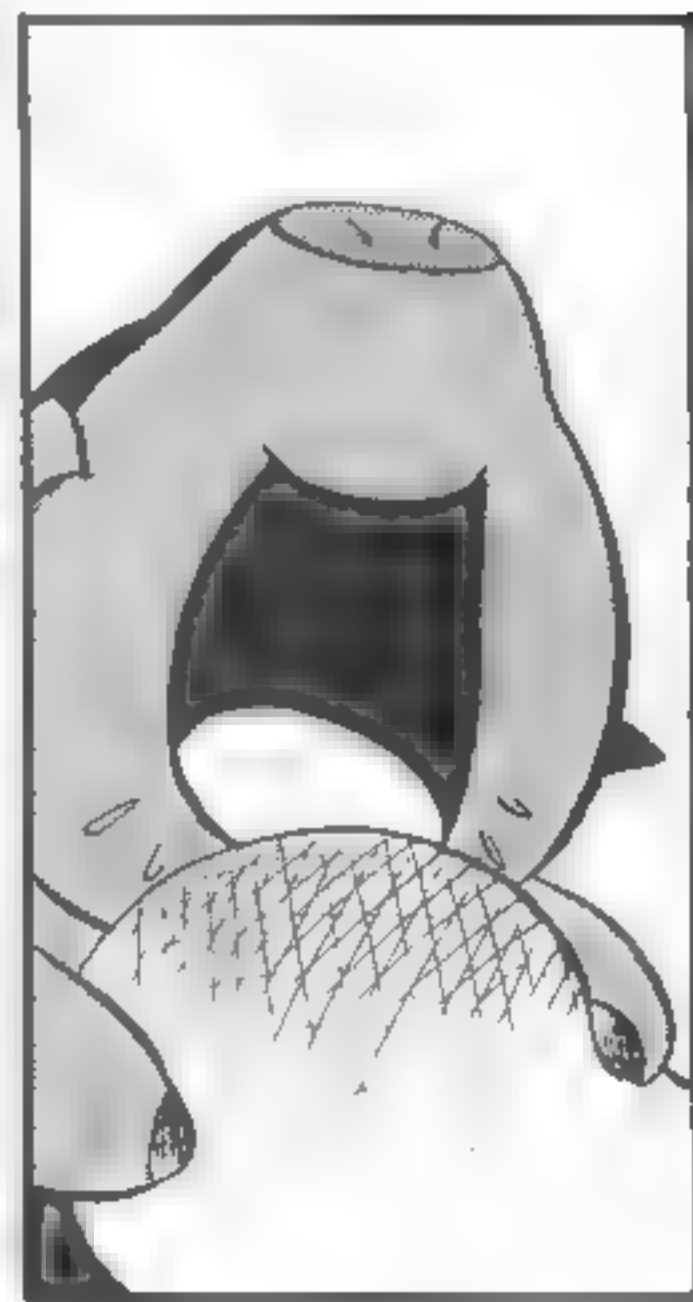
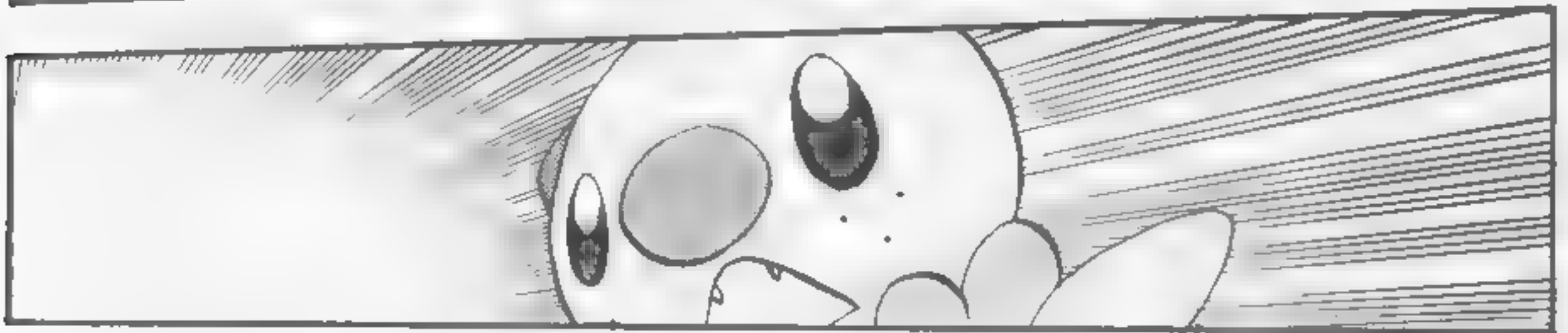
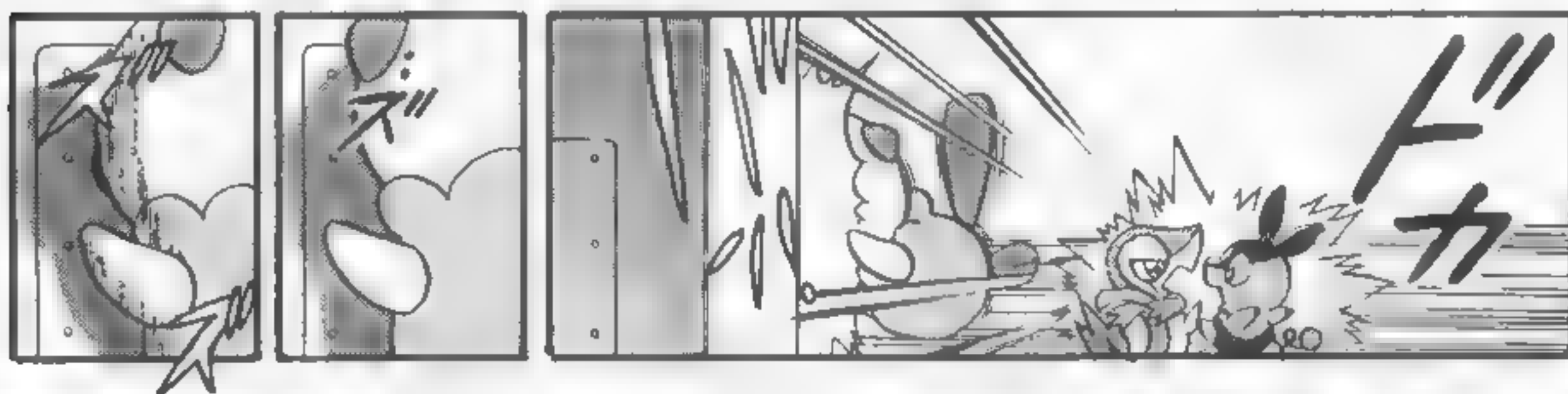
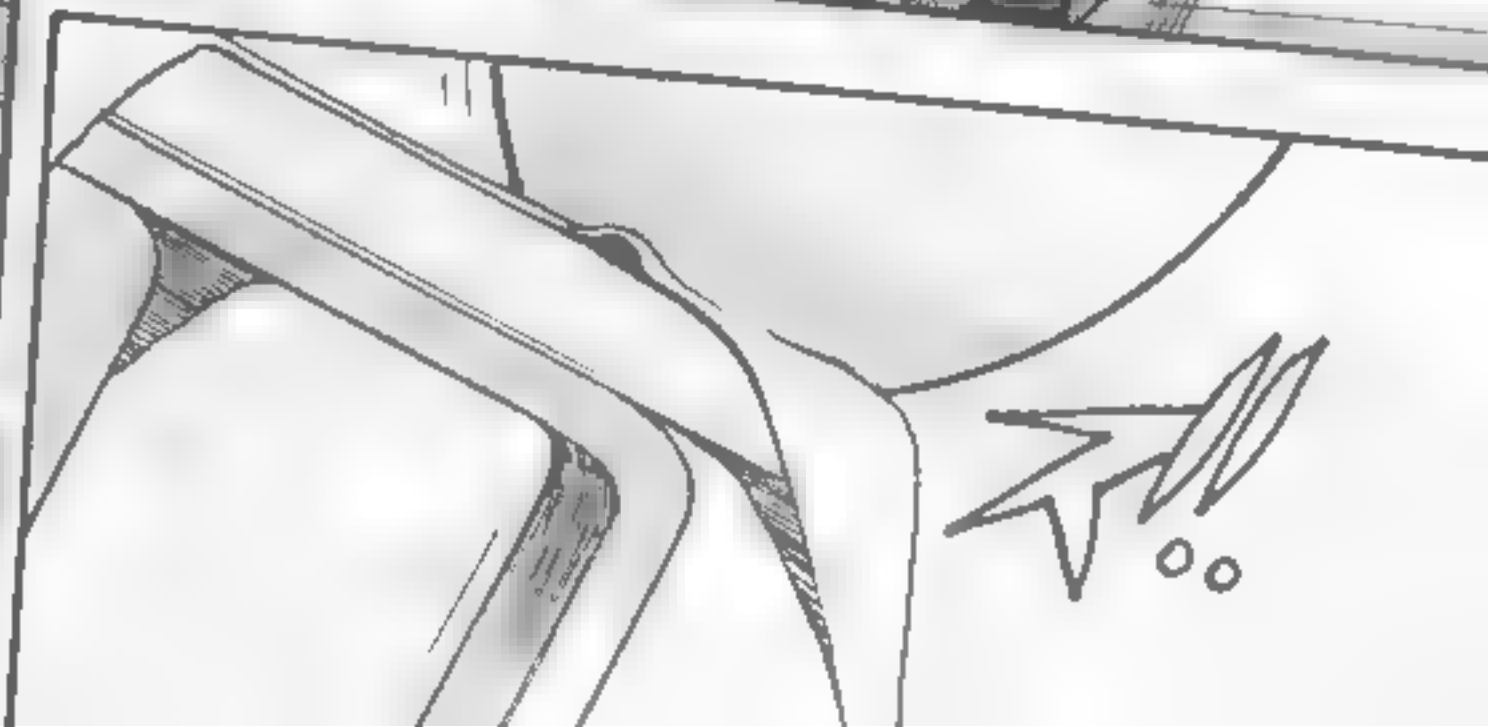
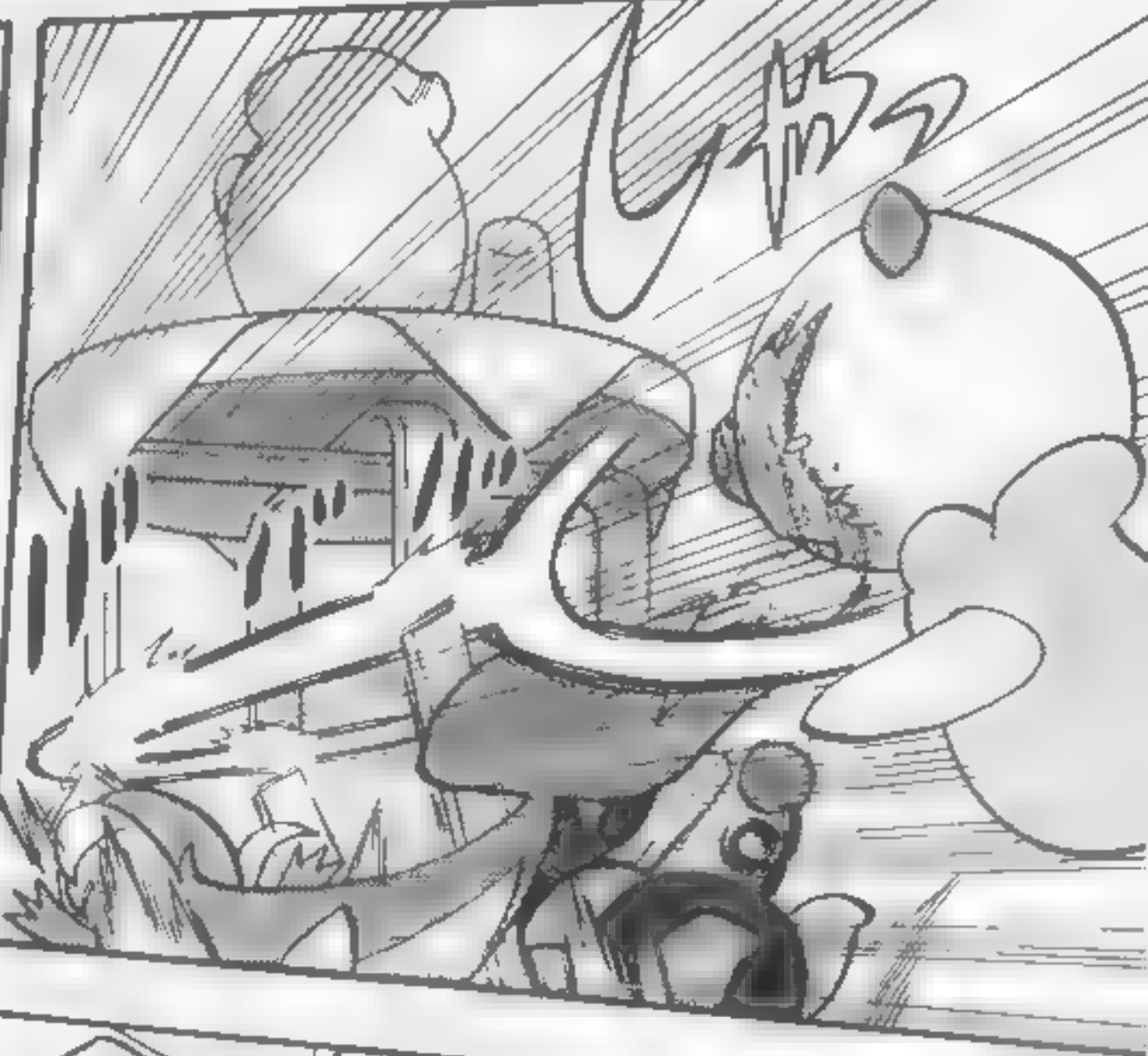
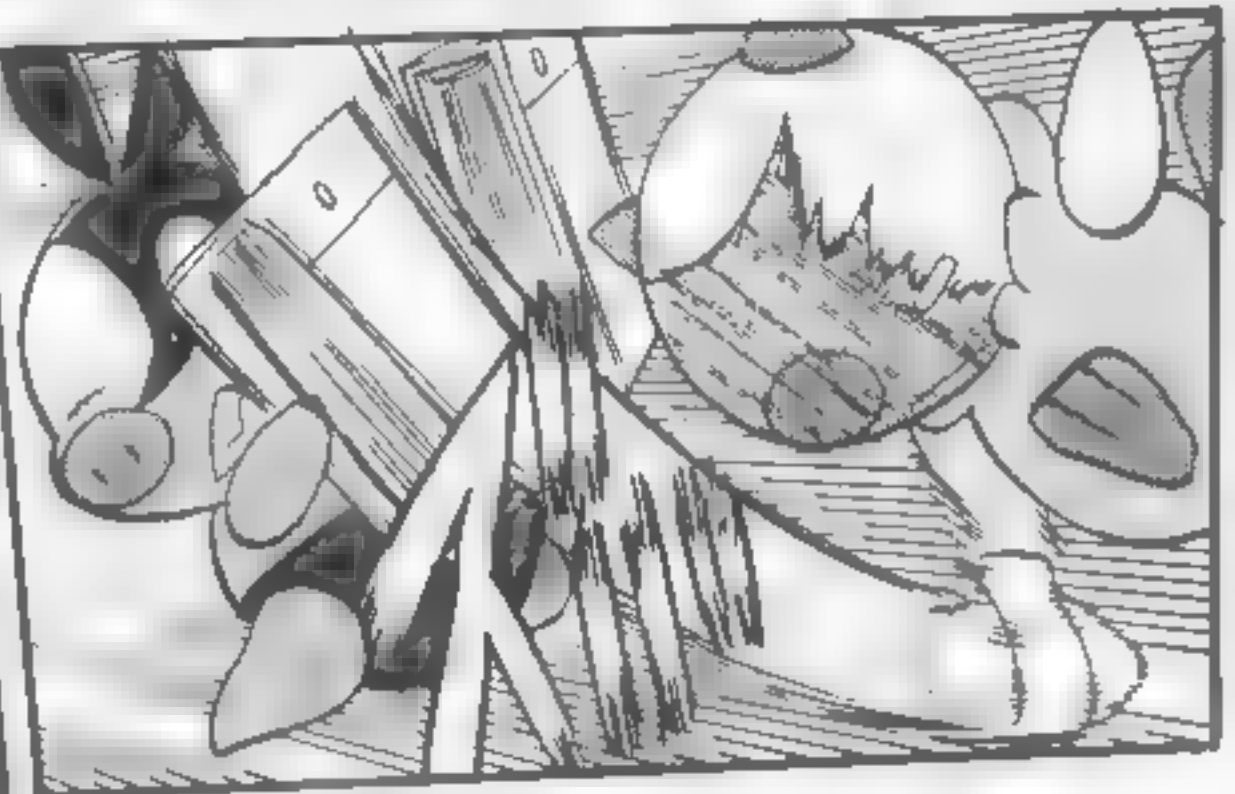
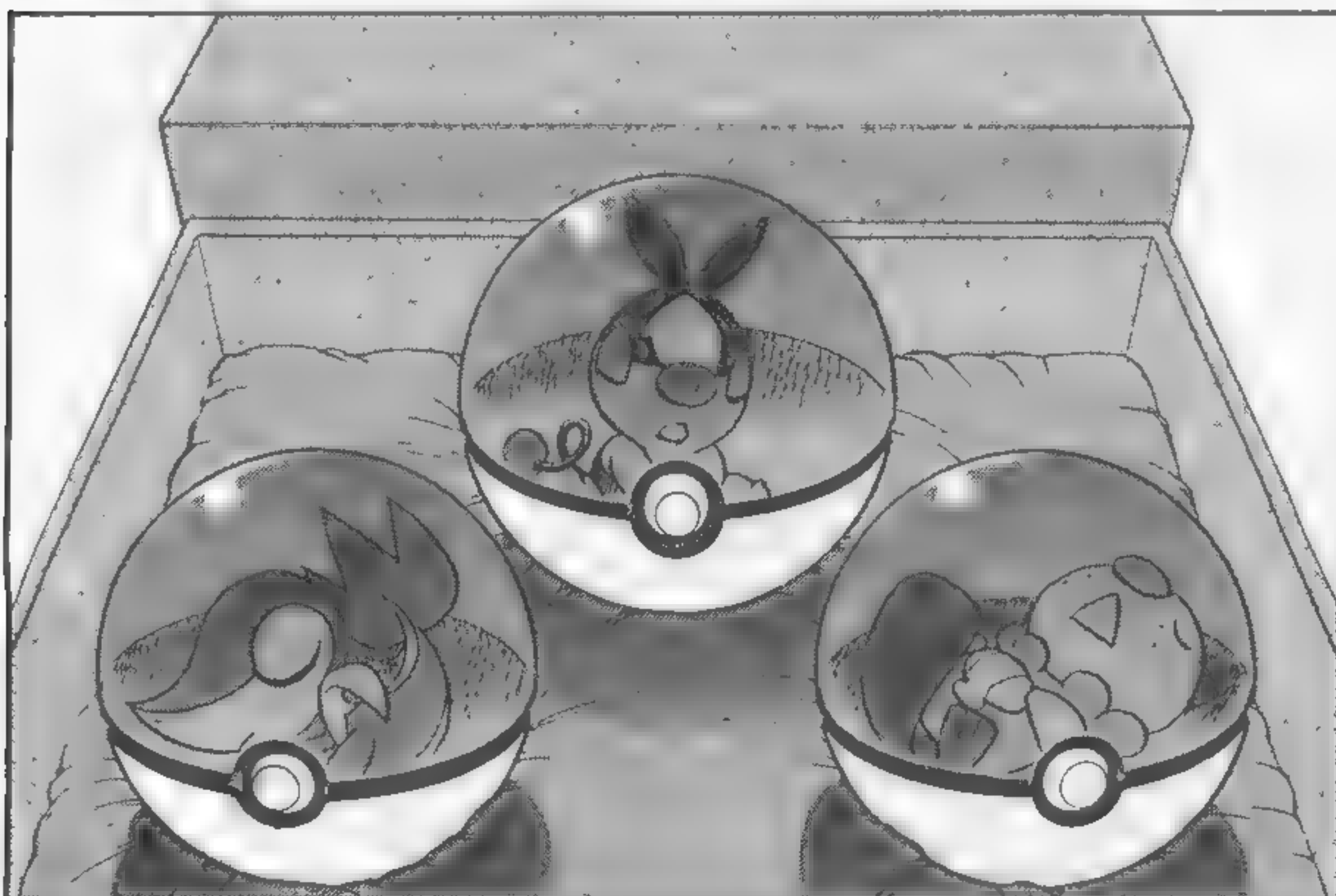
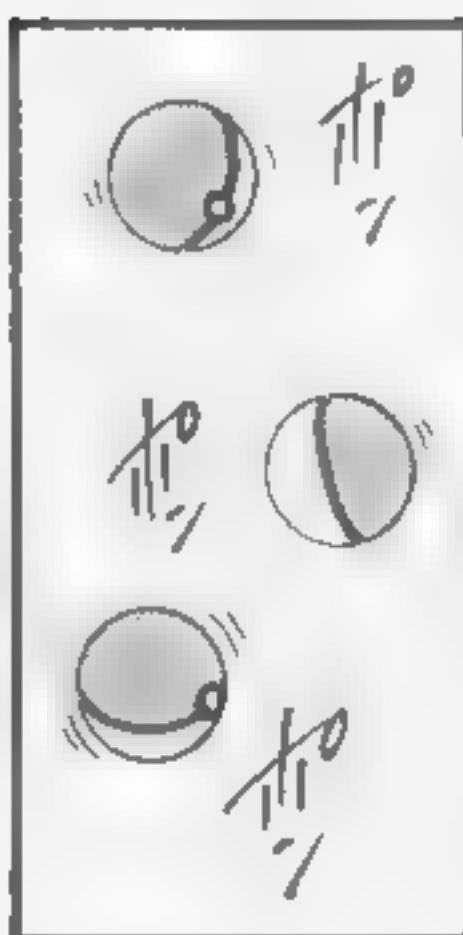
ポン

ポン

ポン

先が
思いやられるわ。

「おや」になる
トレーナーと、

うまくやって
いけるのかしら？

POCKET MONSTERS SPECIAL

The Tenth Chapter

BLACK&WHITE

#462

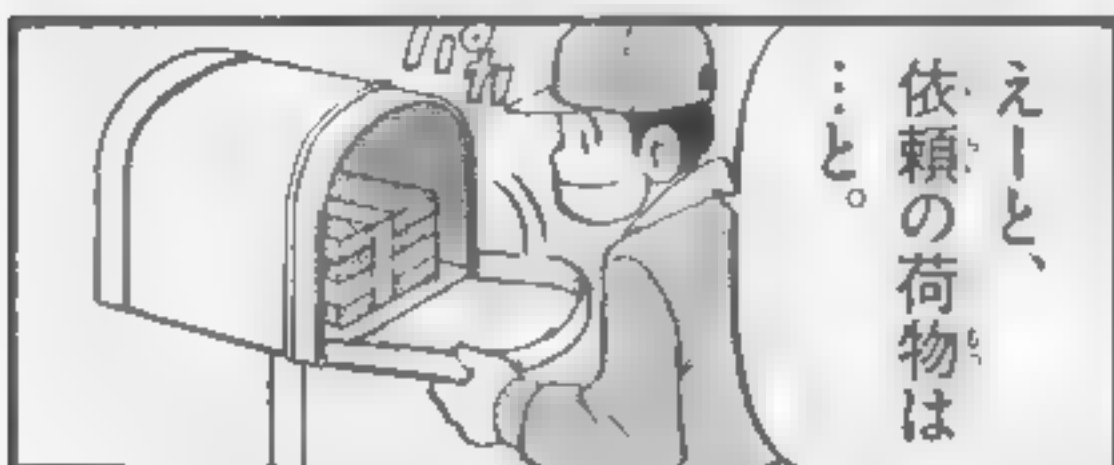
VSクルミル

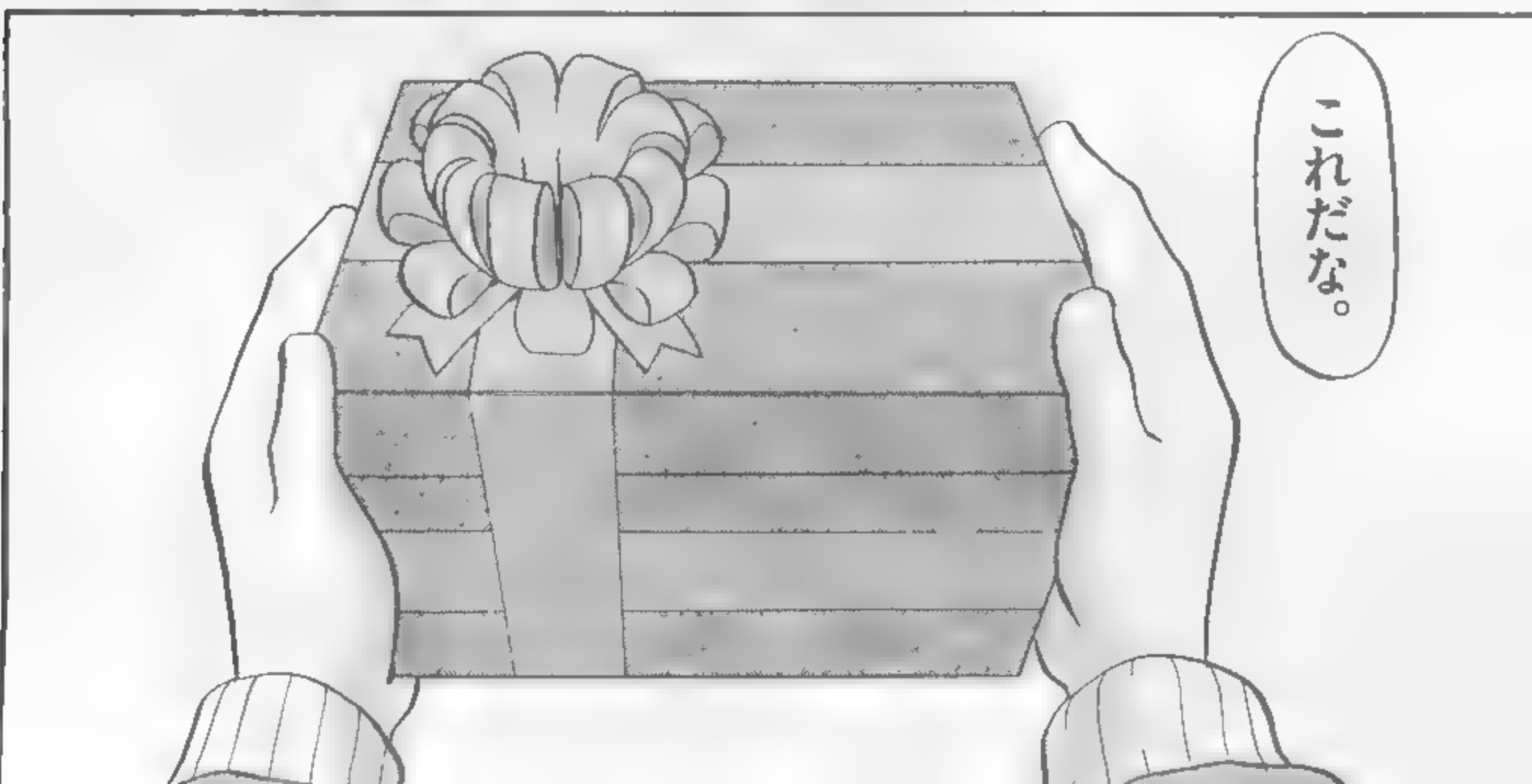
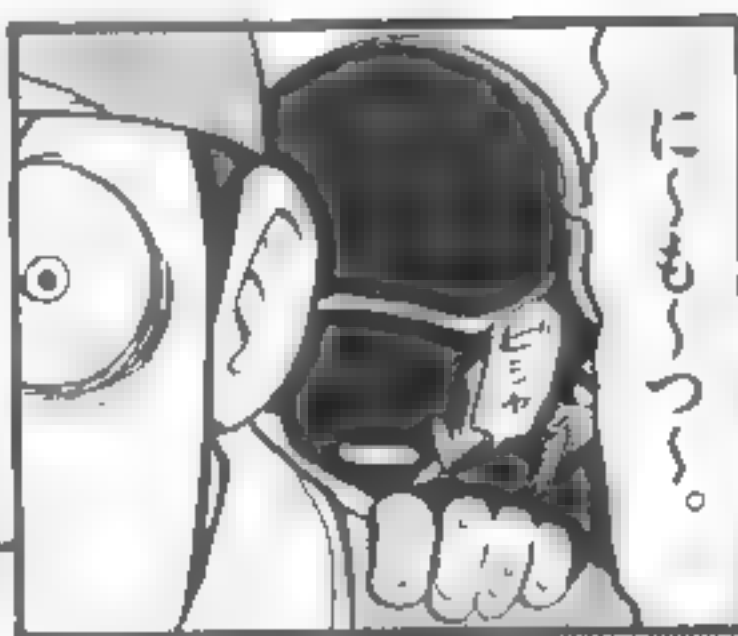
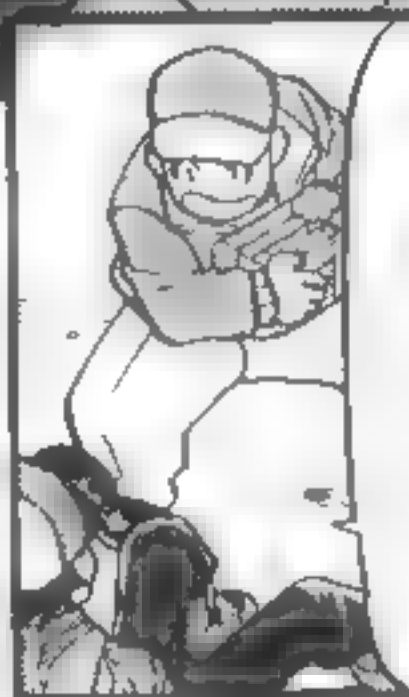
KURUMIRU

旅立（たびたち）

あくる日の朝——。

あったかくなったとはいえ、朝晩はまだまだ冷えるなあ。

ゆうべは雨もふったし。

ガラガラ

えーと、依頼の荷物は……と。

これだな。

えーと、届け先は…。
なんだ、すぐそこじゃないか。
に〜も〜つ〜。
ひいいいいいい!!
わ!!
いててて。
ひでえなあ。
子ども?
ダメだぞ、イタズラは!
これは博士からの大事な荷物。ブラックくんという子に届けるものなんだ。
だーかーらー!
オレがそのブラックなんだよ!!

なんだと～!?

来いよ!!

ここ、オレの家!

住所は…あってる。

おばさーん! ここ、オレんちだよねー!!

そうだけど、どうかしたの、ブラックくん?

な!? 戻ろう!!

だ

ハイ! じゃ、これ。受け取りにサインを。

ハイよ!!

ひゃっほー!!

やったああ!!

なんか…オレたちいらないじゃん…

パン!!

キミ、ずいぶんずぶぬれだけど、まさかゆうべからここで待ってたの? 雨ざらしで…。

ああ!! 楽しみすぎて待ち切れなくて眠れなくて!!

9年間、この日を待ち続けていたんだ!!

ヤ、ヤバいよこの子。にげよー!!

さあ、

開けるぞ。

ムシャ。

ムンナ♂
ゆめくいポケモン
ニックネーム ムシャ

ウォー。

ウォーグル♂
ゆうもうポケモン
ニックネーム ウォー

この中にいるんだ!

新しい仲間が…!!

いっしょにポケモンリーグで優勝する、

仲間が…。

ポカブ
ツタージャ
ミジュマル

うわは〜。どれもいいな〜!!

こん中から好きなの1匹選んでいいって話だったよな!!

このポケモン図鑑もオレのものか!!
く〜!! うれしすぎてゾクゾクしてきたぞ…。
……ん?

ぶえっくしょん!!!

このゾクゾク。ホントの寒気…。へ、

へ…へ…、

ボム
ボム
ボム
つーーん
?
なんだ?この険悪なムード。
ゴツ
ゴツン!

うおっ!!

べちべちべ

ケンカがはじまったぞ!!

バトルするのが、ポケモンだもんな!!

気持ちがたぎるときはたぎるし、あばれたいときはあばれるのがあたりまえ!!

やれやれー!!
もっとやれー!!

ブシャ!!

ビビビビ

あ!!

おーい!!

待てよー!!

な、何が起こったのよ、ここで!?

どういうこと!? チェレンくん! ベルちゃん!!

いや、そんなのぼくが聞きたいですよ、

アララギ博士。

今日は博士からぼくとベルとブラックに3匹のポケモンがわたされる日。

でも、いつまでたってもポケモンは届かない。

わたしは仕事があったから宅配業者に3匹の入った荷物を持っていってもらい、ブラックくんの家に届けてもらう段どりだった。

でも、ブラックはゆうべから留守で…。

荷物は、ここで開けられたようね。

大切なポケモン図鑑は2機が水びたし。

ツタージャもミジュマルも泥だらけのキズだらけ。

いったいブラックくんはどこにいるの!?

ポカブともう1機の図鑑はどこ行ったの!!?

だからぼくに言われたって…。

ハイ!チェレン!!

?

あなたのツタージャよ。

ミジュマルはあたしー!!

ベル!なんでキミがかってに決めてるんだよ!!

そのツタージャ、チェレンっぽいもの。

まったく。いつもいつもマイペースなんだからキミは…!

ポカブはきっとブラックくんといっしょよ。

もともと博士から「3人で1匹ずつ」って言われてたしね。

ぽいか?

ともかくブラックくんとポカブを探しましょう。

あーだんどりどうりいかなくてイライラする!!

チラーミィ！
おそうじ
お願い!!
ザッ！
ササ
あら？
ちょっと
待って！
これ…。
ポカブの足あとだわ！
こっちへ
続いてますね、
たどってみましょう。
ほら！
降りてこいよ。
プギ!!!!

うわー、あぶなそう！

いや、あぶないんだよ。

しっ！

2人とも静かに！

おまえ、スネてるんだろ？

2匹がかりでやられたと思って…。

それがくやしくってにげだしたんだろ？

カゼもひいてるみたいだし。

「元気な時なら絶対負けねえ」って思ってんだろ？

ぶえっくしょん!!

へへ、オレもカゼっぴきだ。同じだな。

オレ、おまえを選ぶよ!
おまえのこと、
なんか気にいった。
オレの名はブラックだ。
よろしくな。
ドッ

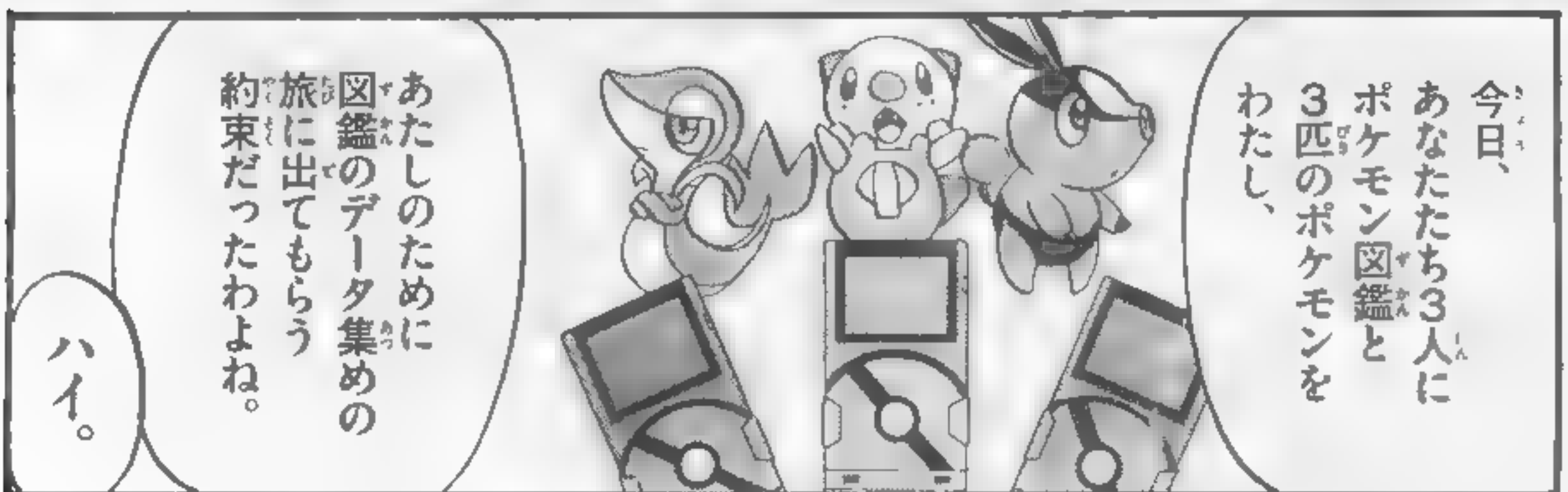
何かが攻撃してくる!!

や〜ん、たいへんそう!

いや、たいへんなんだよ!

攻撃が早すぎてどこから撃ってきてるのか見きわめられないみたいです!!

これはいいわね。

え?

今日、あなたたち3人にポケモン図鑑と3匹のポケモンをわたし、

あたしのために図鑑のデータ集めの旅に出てもらう約束だったわよね。

ハイ。

わたし、ブラックくんのことはよく知らなかった。

でも、チェレン。あなたの強力な推せんで彼を3人目に選んだ。

正直…。出発の日を台なしにした罰に、彼にはおりてもらおうと思ったわ。

でも…。

この状況を自力で切りぬけられるようなトレーナーなら、

認めてゆるすわ!

だったら…、アレが出ますよ。

?

攻撃してくるポケモンはなんだ!?

どこにいる!?

どんなわざだ!?

考えなきゃ!

考えなきゃ!!

ムシャ!!

出た。

!?

すぽんっ!!

わ〜〜〜〜!!!

ブラックの頭の中は、ポケモンリーグ優勝という「夢」であふれているんです。

ずでかくとこうです。

ようい いいなー

いつでも、その「夢」のことしか考えてない。ほかのことを考えているよゆうがないんです。

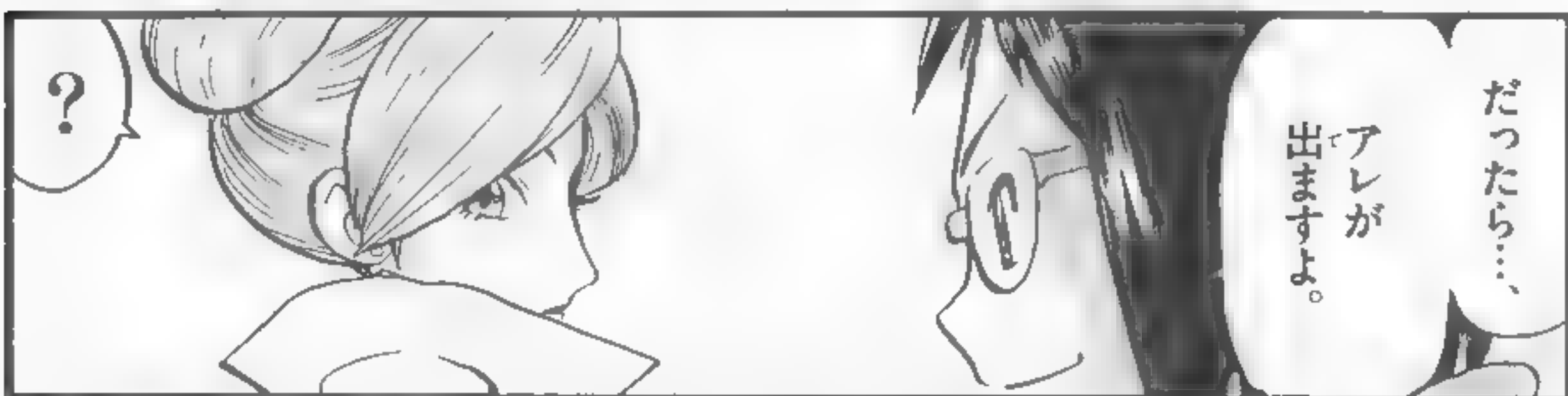
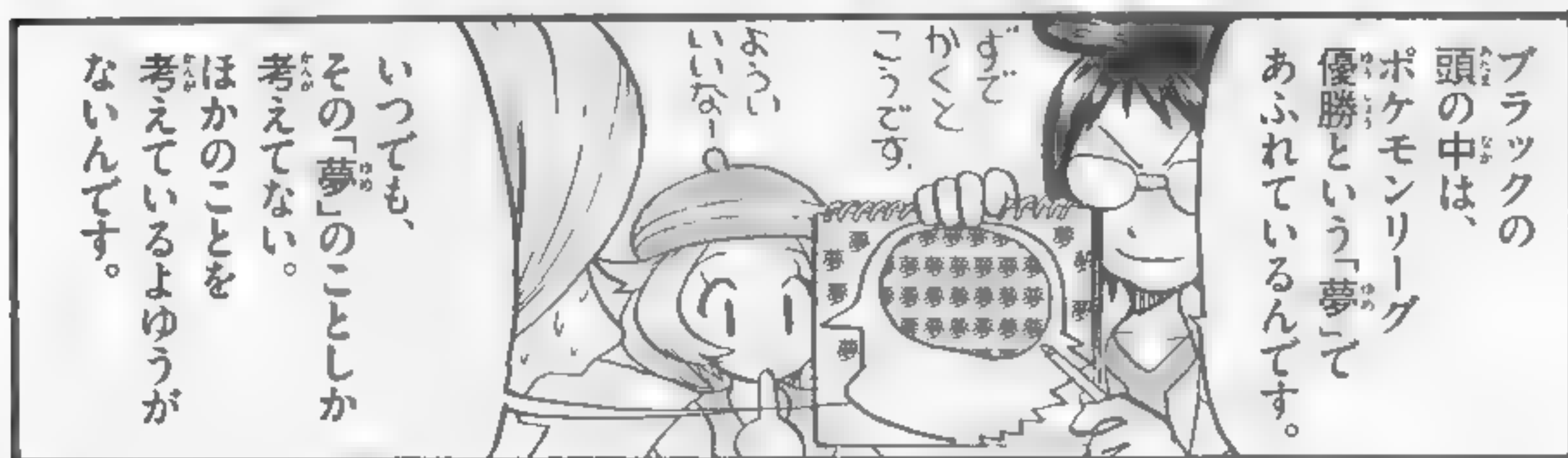
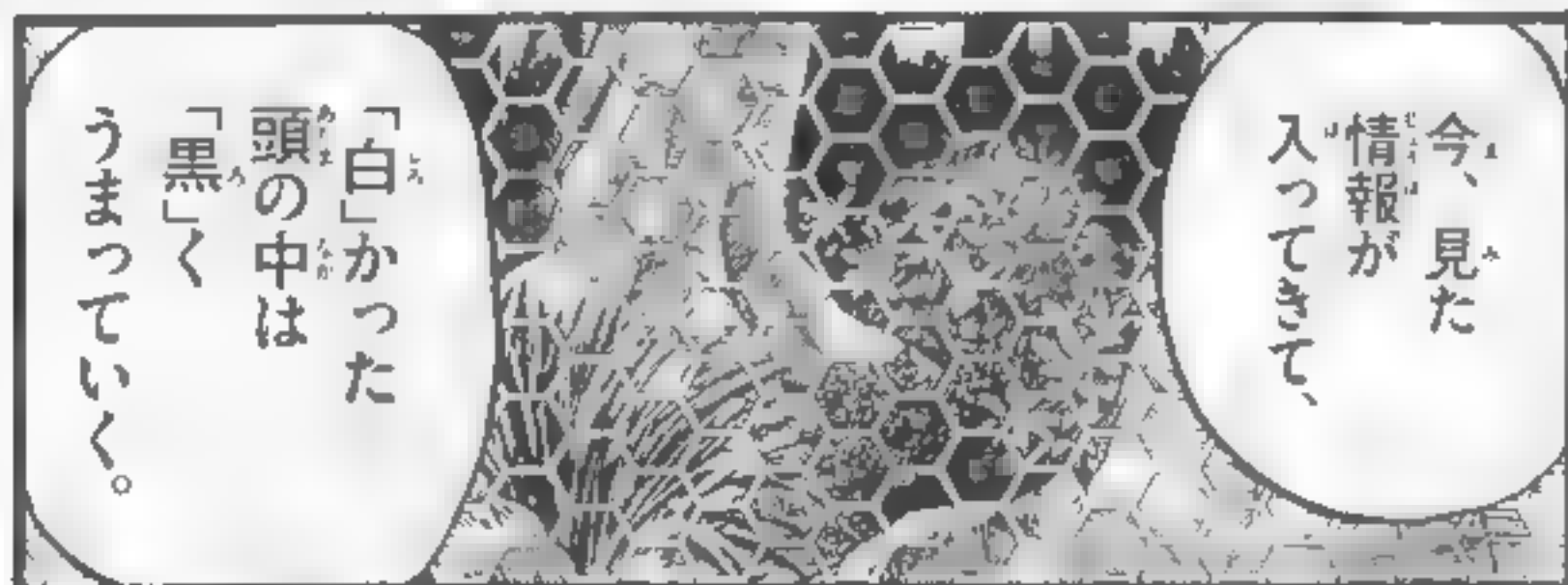
だから落ちついて考えごとをする時は、その「夢」をムンナに食べてもらって、

頭の中を一度、カラッポにするんです。

頭の中をまっ「白」に…。

まっ「白」に…。

ムシャ ムシャ

「白」

そしてまっ白になったところへ、

今、見た情報が入ってきて、

「白」かった頭の中は「黒」くうまっていく。

「白」から、

「黒」!!

ポカブを攻撃しているのは、

こいつだ!!

ここの木…。

どの木も豊かな葉をしげらせてるのに、

ポカブののぼった木だけ葉がまるでない!!

…つまり、

葉が必要なだれかが持っていったということだ!!

そして、その葉が不自然にかたまっている場所に攻撃者がいる!!

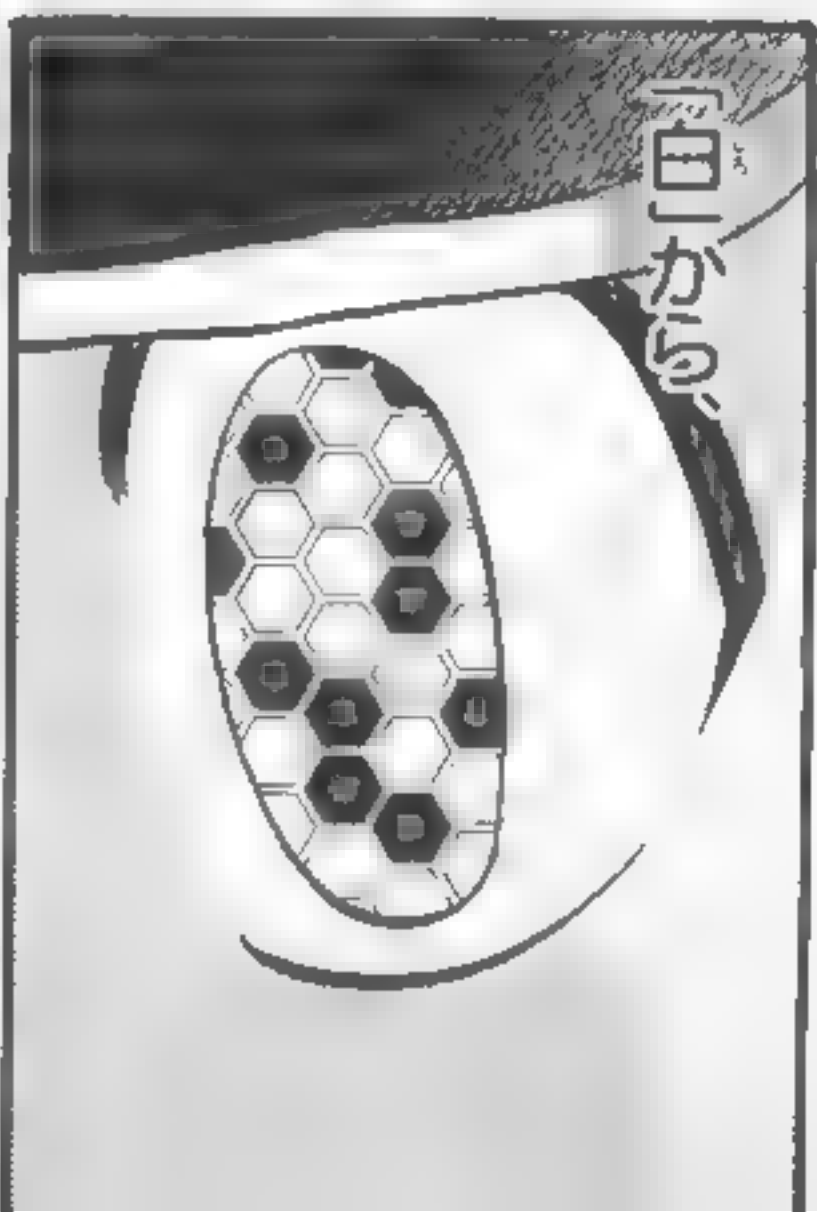
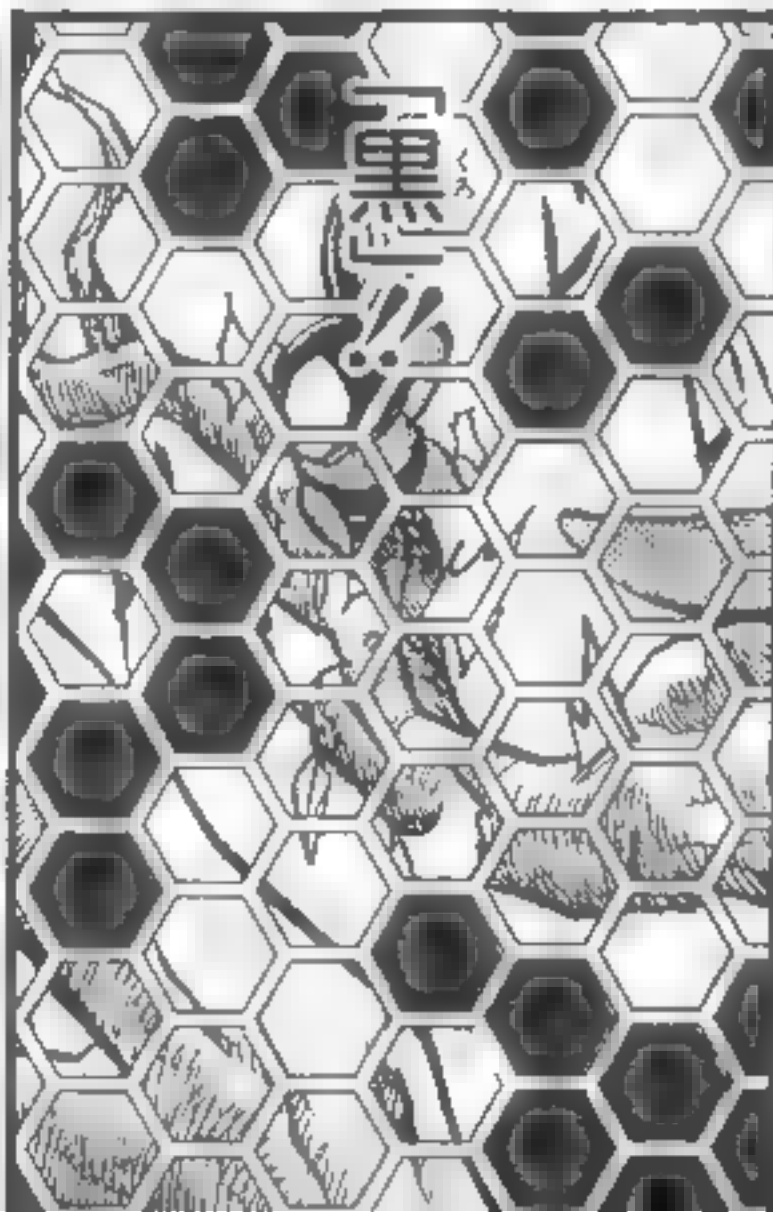
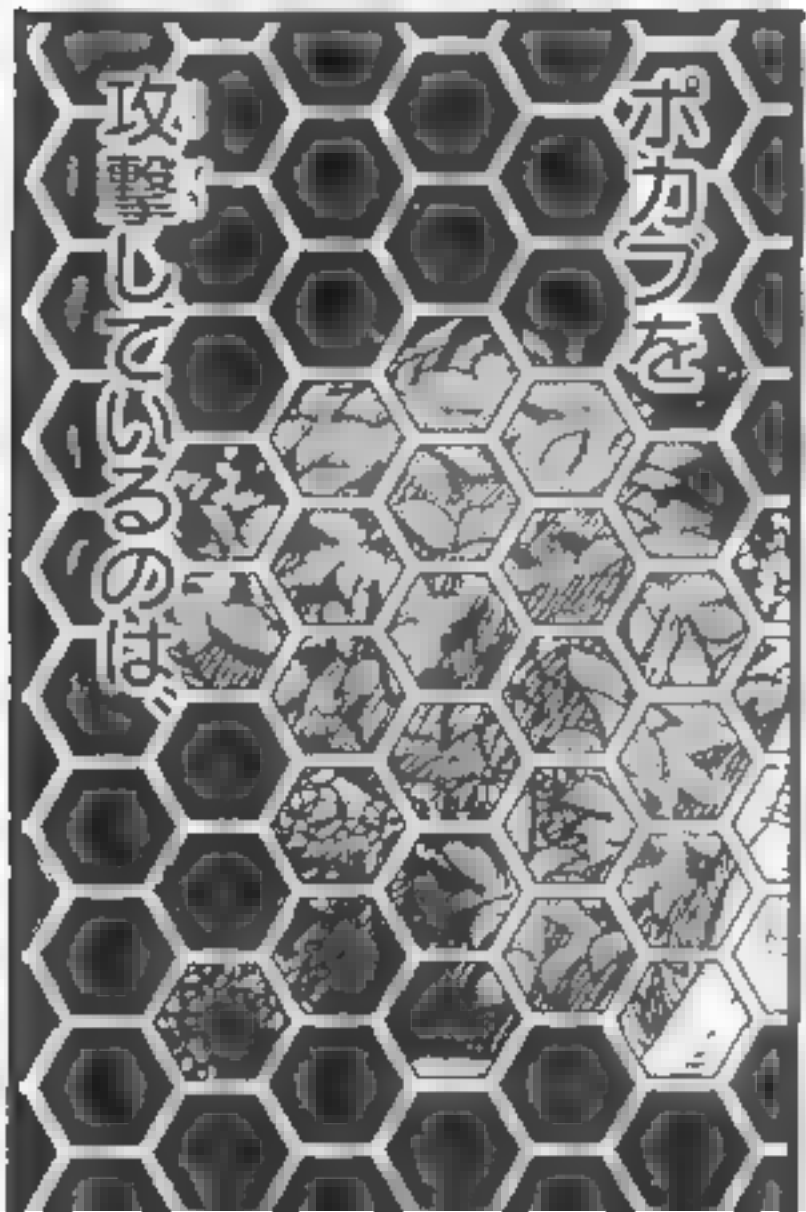
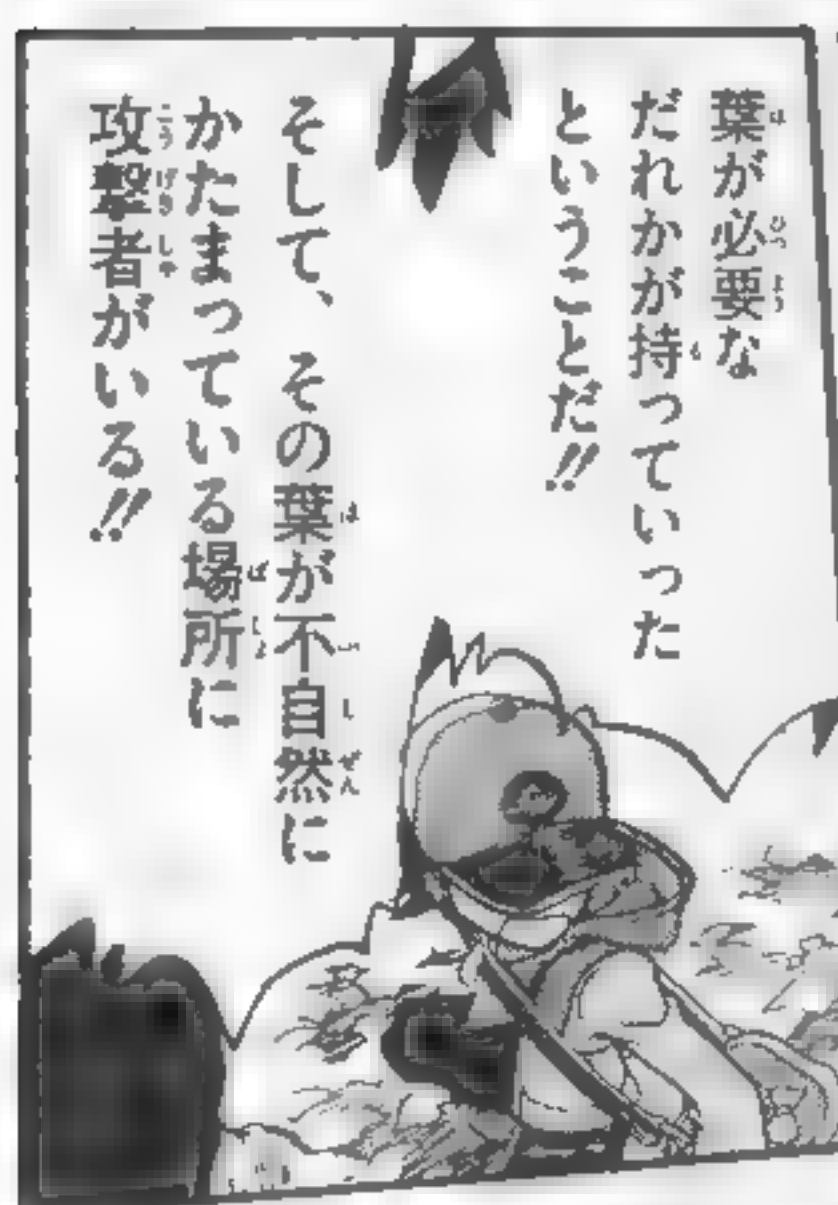
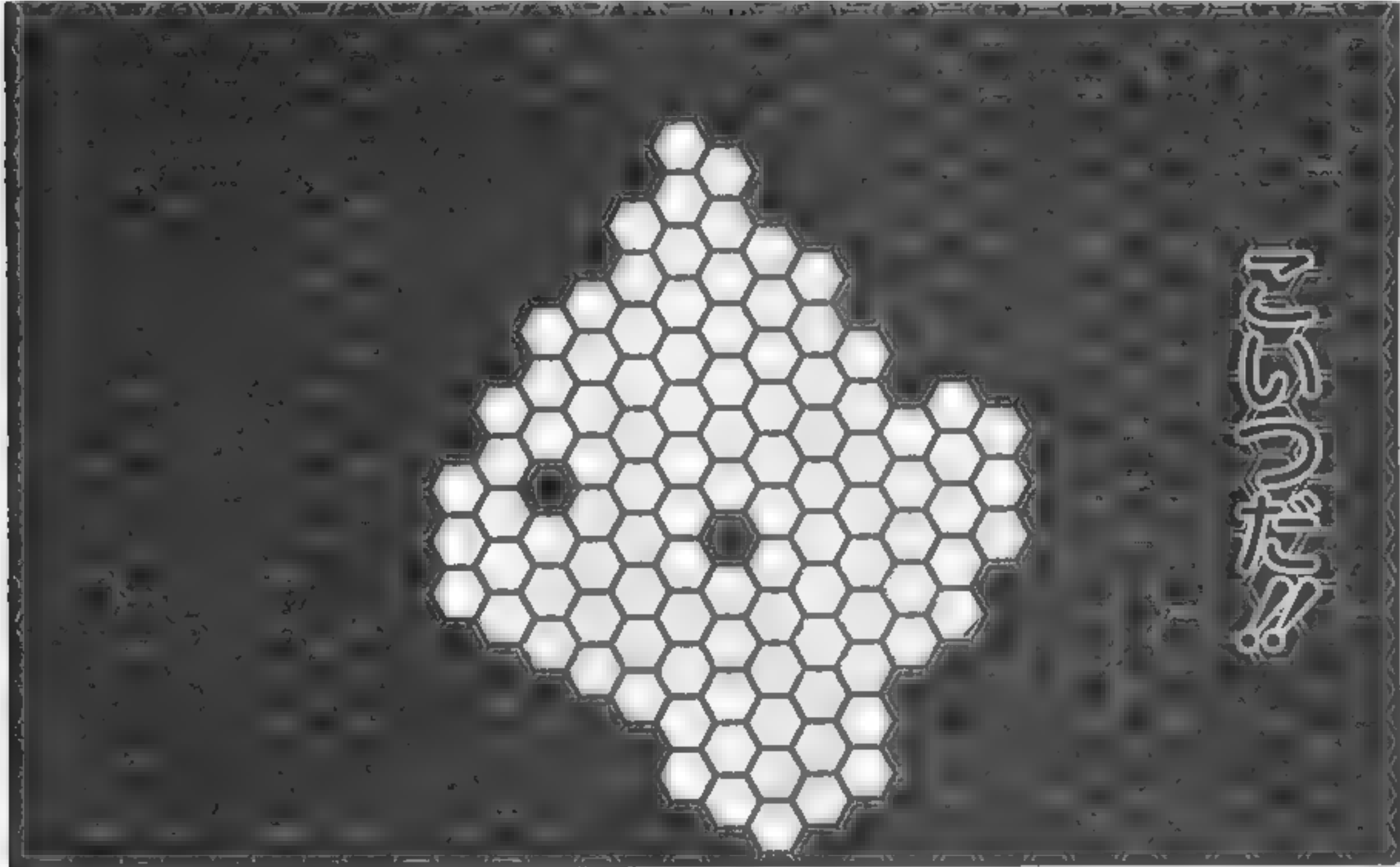
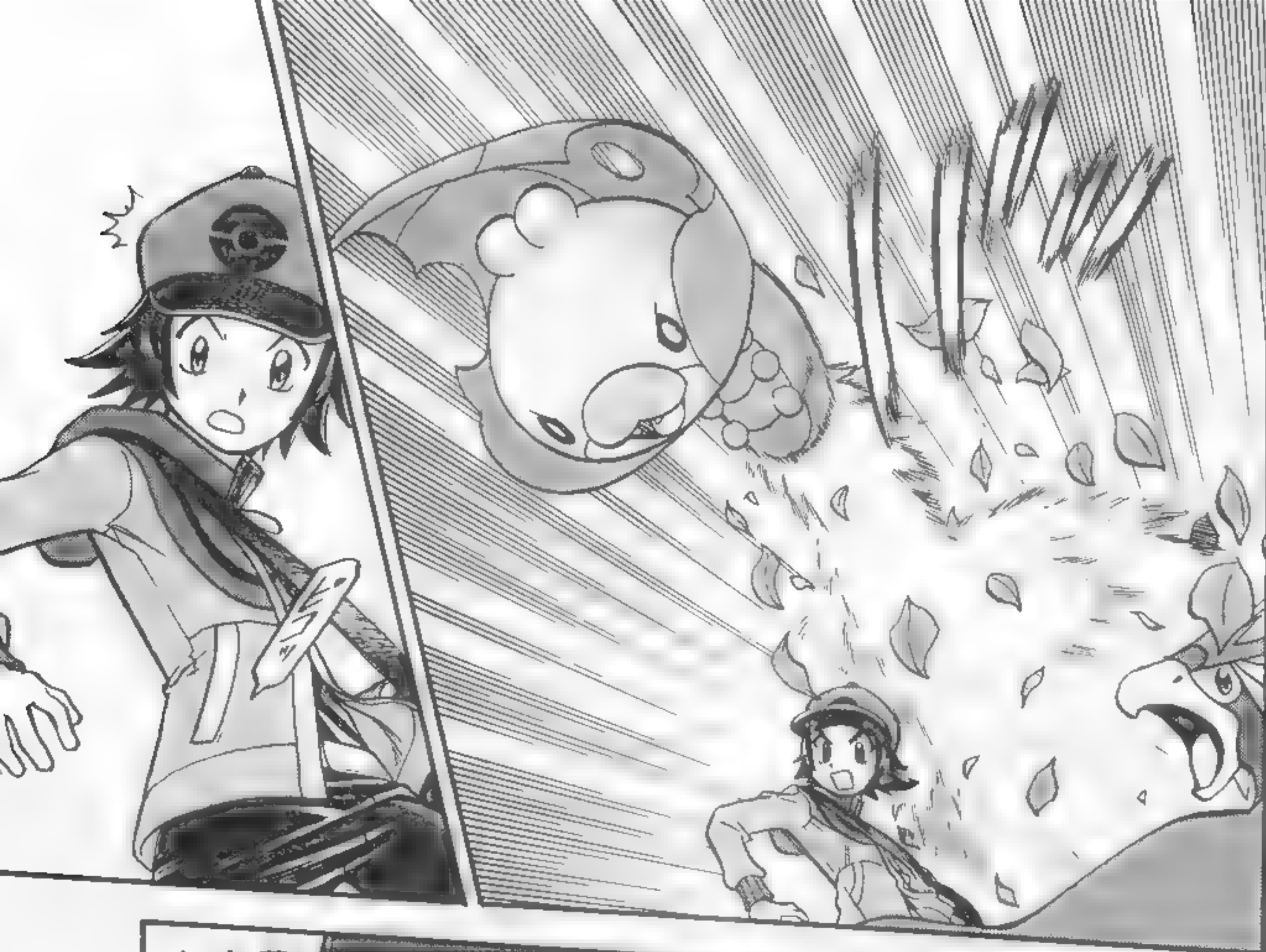
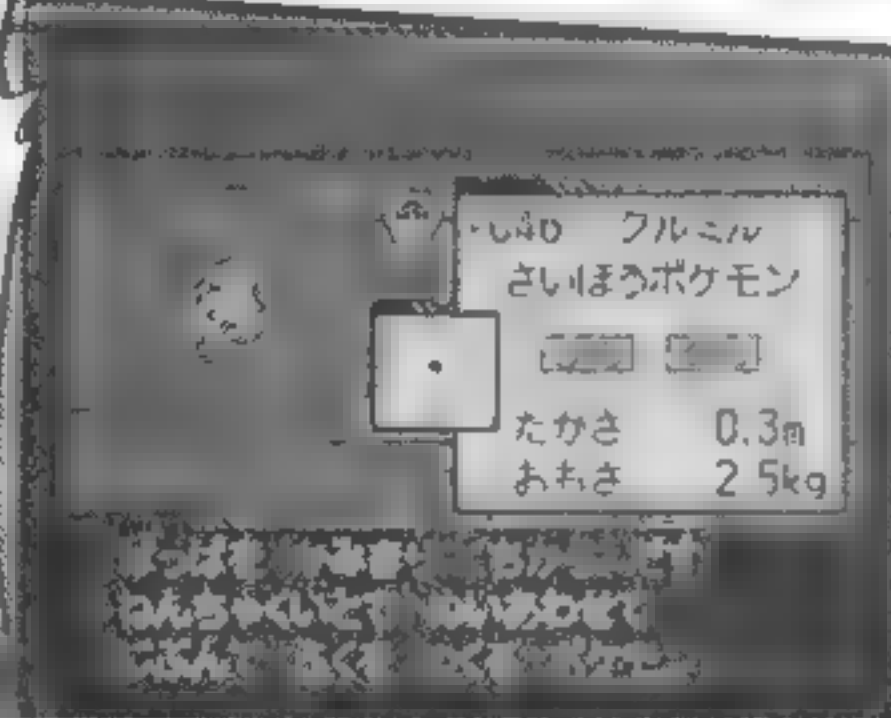
あそこだ!

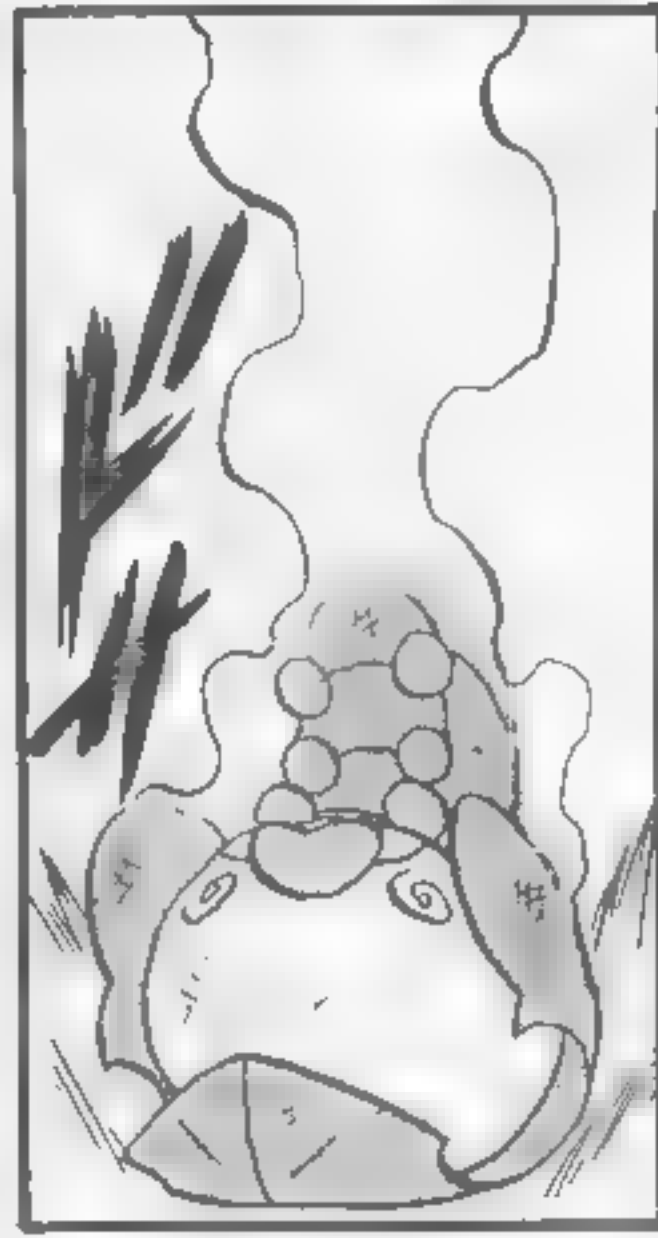
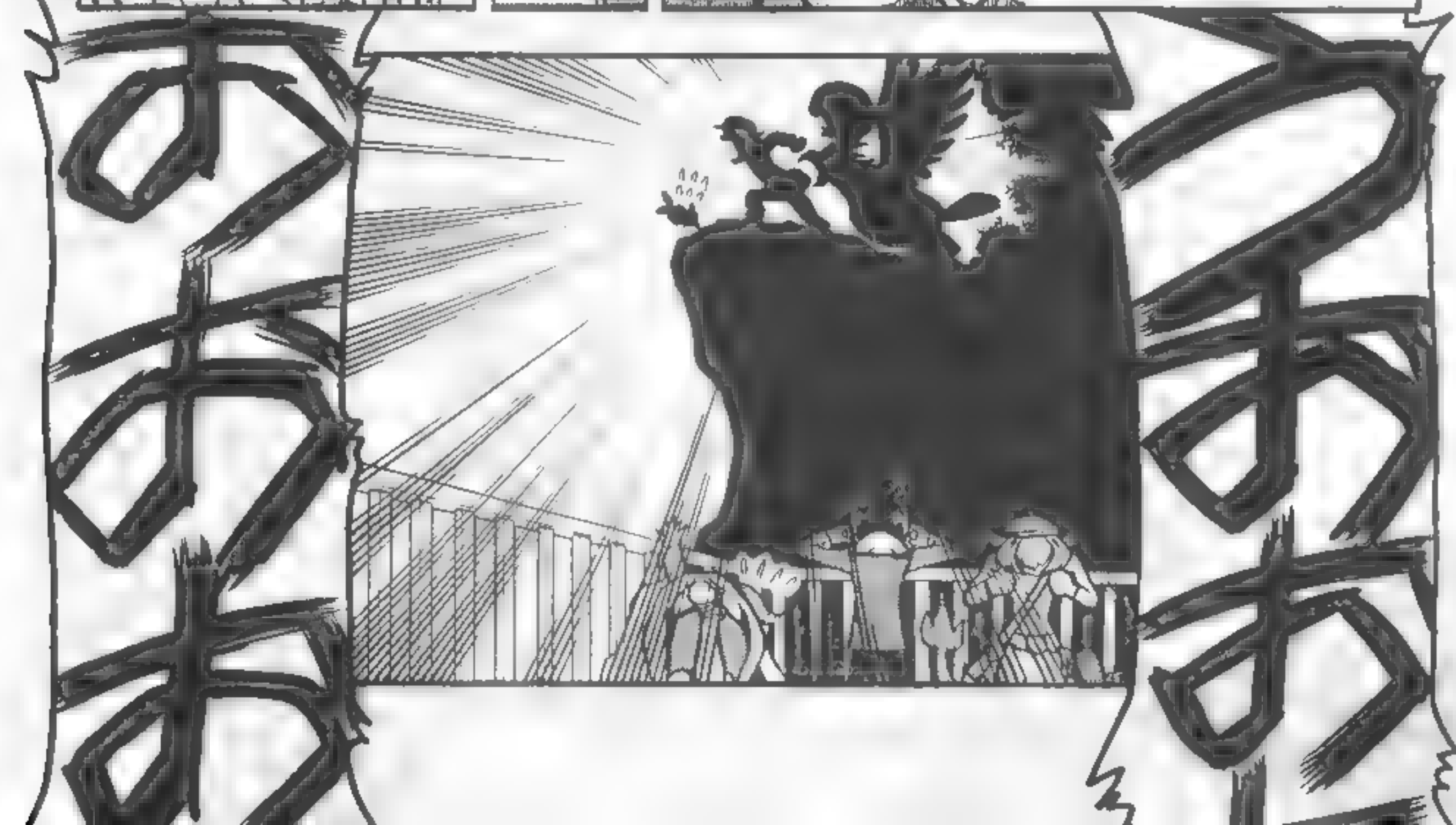
ウォー!!

図鑑が反応した!!
使い方は……、

カシャン

こうか!!

さいほうポケモン!
クルミル!!

クルミル
さいほうポケモン
たかさ 0.3m
おもさ 2.5kg

葉を材料にして、
自分の服を
お裁ほうするポケモンだ!!

あの木はクルミルが
材料をとるための
テリトリーだった!

そこをポカブに
占領されたと思って
怒ったんだ!!

あぶ……

すごーい!!

あの反射神経!
身のこなしの軽さ!
見事だ!!

どうだい？

「おや」はオレでいいかい？

フフン

よーし！オレたちの仲間になったからには、オレが毎日やってる日課にも参加しなくちゃならない。

行くぞ。

？

うおおお

おおおお

オレはポケモンリーグで優勝するぞォォォ!!!

絶対絶対絶対絶対優勝するからなァァァ!!!

チャンピオン!!
四天王!!
待ってろよォォ!!!

行くぞ!!
ウォー!!

ムシャ!!

行っちゃった。

行ったわね。

ひとことのあいさつもなく

行っちゃいましたね。

ふーっ！バタバタしたけど予定どおりといえば予定どおりね。

あなたたち2人もよろしくね。

ハイ。

ハーイ。

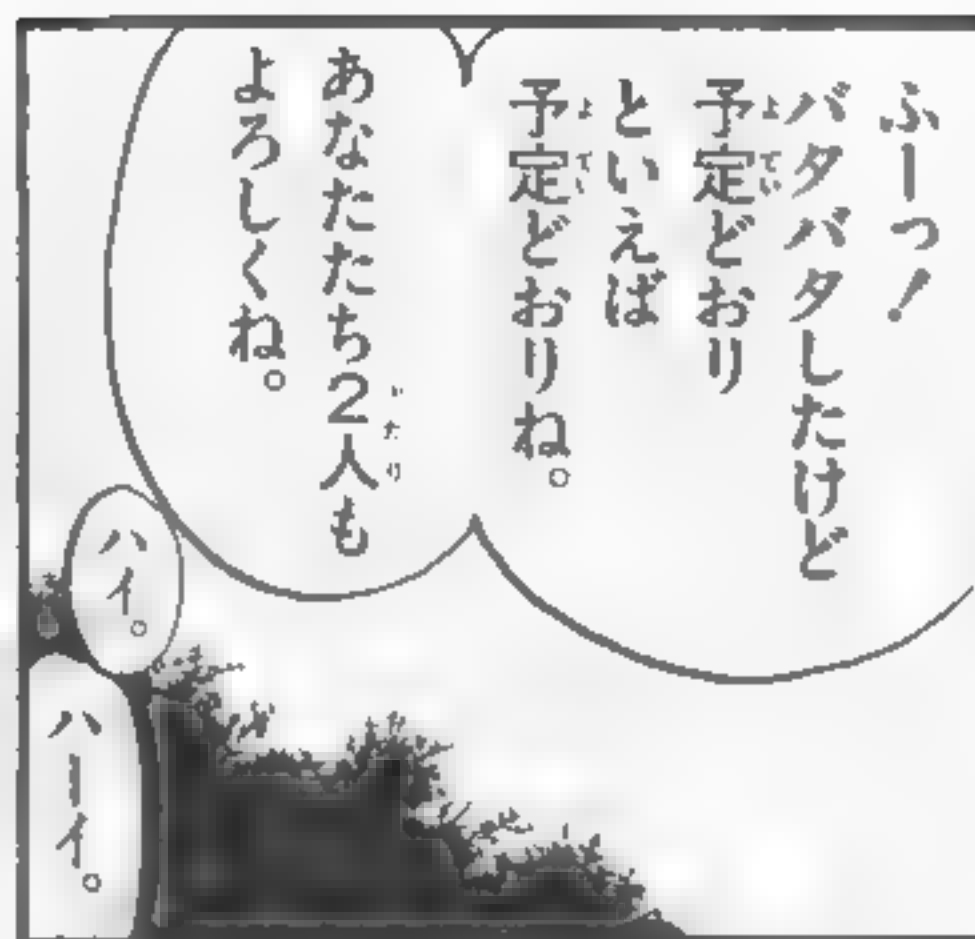
あのー、電源が入りません、図鑑。

ボクのもです。

えーーっ!!

まさか、今朝のさわぎでこわれちゃったんじゃあ…。

じゃ…。まともに機能してるのは…ブラックくんの図鑑だけ？

ちょっとちょっと〜！

ADVENTURE MAP

最終地 ポケモンリーグ

BLACK

現在地 カノコタウン

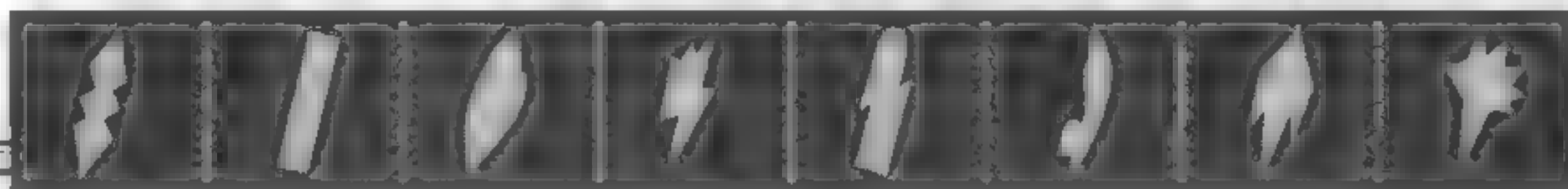
Lv.8
ポカブ
ポカブ♂
ひぶたポケモン

Lv.30
ムシャ
ムンナ♂
ゆめくいポケモン

Lv.54
ウォー
ウォーグル♂
ゆうもうポケモン

NO DATE

NO DATE

NO DATE

POCKET MONSTERS SPECIAL

The Tenth Chapter

BLACK&WHITE

#463

VSコロモリ

KOROMORI

追憶(ついおく)

ミジュマル！
〝たいあたり〟よ!!

こっちだって…！
ツタージャ、
〝たいあたり〟!!

バん!

ふぎゃ!!

バチ

バチ

バチ

バチ

だいじょうぶ？
ベル！
いった〜い。
ズ
ズ
ズ
チェレンったら、
も〜〜〜！
あ。
マズ…。
ゆるさないんだからァ〜〜〜!!!
ちょ…、ベル、
ボクを攻撃するなって!!
ポカ
ポカ
ポカ
ポカ
ポカ
うわあ〜ん!!
ワナワナ…

うるさあああああああい!!!

なんでわたしん家のリビングで、ポケモンバトルしてんのよ!?
部屋の中がぐちゃぐちゃじゃないの!!

うわーっ!!
ポケモンのパワーってすごーい!!

こんなに小さいのにね!
あたしポケモンに出会えてよかったー!!
すいません! アララギ博士!
図鑑が直るまでどうしても待てないってベルがいうんで…!
ほらっ、キミもあやまって!!
いや、もういいわ。

それで…。図鑑の修理のほうはうまくいって

ませーん！

まだまだ時間がかかりそうだわ。

ギロッ

じゃあ、チエレン！もっかい勝負し…。

ねえ、ブラックくんには連絡…、

とれないよね？

ええ。通信手段を何も持っていませんからね。

どうしてるだろうね？ブラック。

？

決まってるさ！夢のちかいを叫んでいるか、ポカブのことを調べまくってるかどっちかだよ。

うおおお!!

オレはポケモンリーグで優勝するぞオオ!!絶対絶対絶対絶対優勝するからなアァァアアア!!!

図書館

待ってろよーっ!!!
四天王・シキミ!

ギーマ!

カトレア!!

レンブ!!

チャンピオンの
アデクーッ!!!

しぃ〜〜っ!!!

タハハ、
図書館だってのに
つい…!

それにしても、
この本にも
のってないなァ、
ポカブの進化形。

えーと、じゃあ次は…。

ん？ちょっと待ってろ。

おまえがどんなポケモンに進化するのか。

それを調べた上で、ニックネームをつけるからな。

この先、強く大きく進化するんだとしたら、

進化前っぽい名前で呼ばれるのってイヤだろ？

意外と、そもそも進化しない種類だったりしてな！

あ、あれ？

ど、どうしたんだよ!?

待てよ、ポカブ!!

進化後を調べてニックネームを？

ハイ、

彼はすでにムンナとウォーグルの2匹を連れていますよね？

ムンナに「ムシャ」とつけているのは、ムシャーナという姿にかわることを調べて知ったから。

ウォーグルも進化前のワシボンの頃から「ウォー」とつけていました。

へえ！なんか意外!!

ブラックのことをひとことで言いあらわすなら…、

「夢のためによく調べ、

準備する男」です。

何せ今日この日のために、

9年間準備してきたんですから。

小さい頃から、ボクたち3人は友だちでした。

ブラックはよその街に住んでいましたが、よくこのカノコまで遊びに来てたんです。

チェレン!! オレ、すごいこと知っちゃったんだ!!

大人たちはだれがいちばんかポケモンバトルで決めるんだって。

オレたちもやってみないか!? おまえんちにいるポケモン、ちょっと借りてさ!

うん、いいよ。

おもしろそー

最初は子どもの遊び、

勝負ごっこのようなものだったんですが。

ブラックはすさまじくハマったようすで…。

よーし、決めた!!

ポケモンバトルでいちばん強くなる!!

かわいいじゃない！子どもらしくて。

うおおおお!!

すさまじいのはそのあとですよ！

そーそー。

ブラックはポケモンバトルの1番がどうやって決められるのか、

まわりの人にたよらず、自力で調べはじめたんです。…そして…、

ポケモンリーグで優勝すればいいのかあ!!

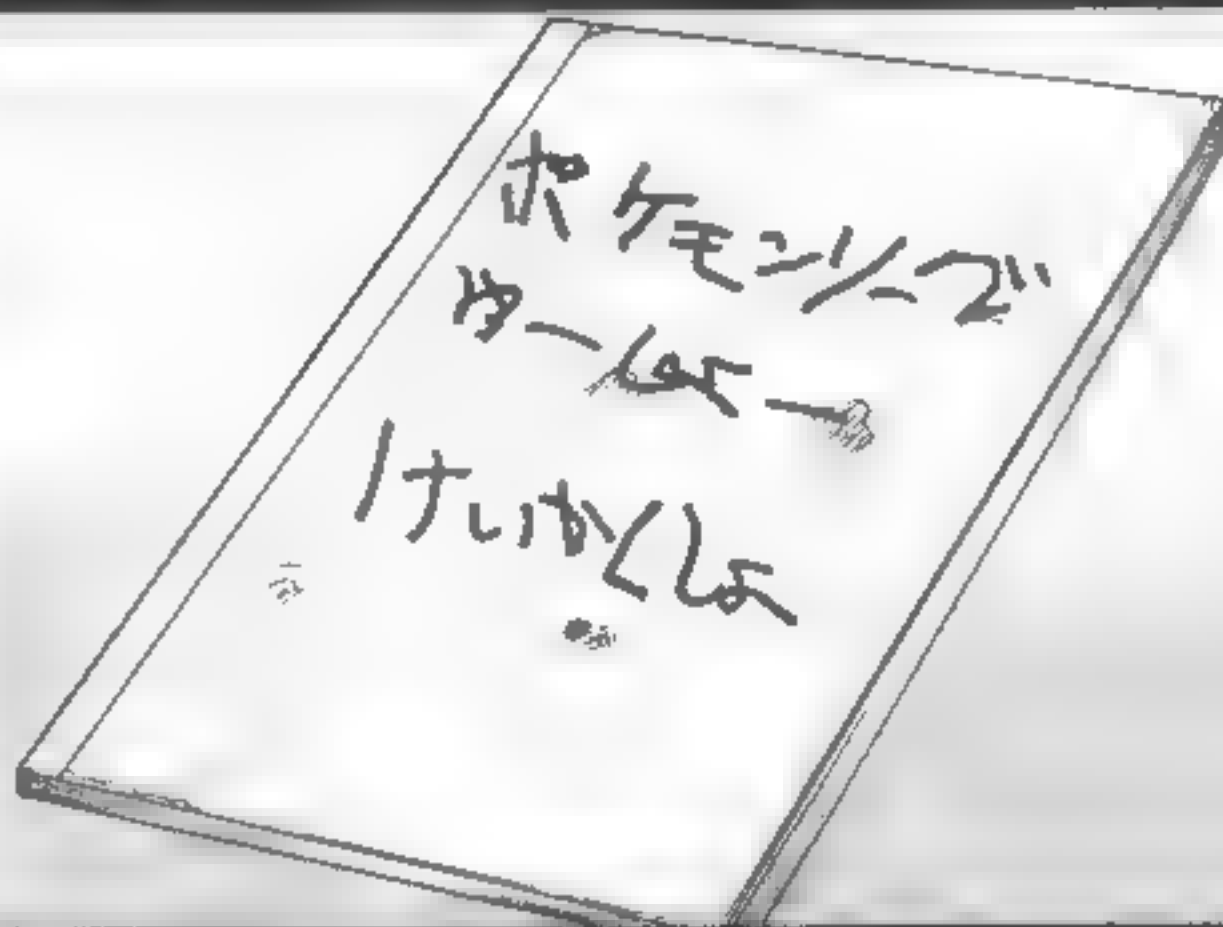
それからさらに開催時期・開催場所…、

いつやるのかな？どこでやるのかな？

出場資格まで調べ上げ…、

じむばっじ 8コあつめる

ポケモンリーグ ゆーしょー けいかくしょ

彼なりの「計画書」を書き上げてしまった!

チェレーン! ベルー! わかったぞー!!

これを見ろーっ!!

ポケモンリーグで四天王とチャンピオンをたおすんだね?

その5人と戦うためにはジムバッジというのが8コいるんだ!

ジムバッジはイッシュ地方のいろんな街にひとつひとつあるポケモンジムで、

ジムリーダーって人に勝たなきゃもらえないんだ!

じゃ、ずいぶん遠くまで行かなきゃならないね。

そう! もう旅だな! 旅!!

ブックのパパとママも行っていいっていうかな？

問題はそこなんだよなァ、幼稚園もあるし…。

でも「旅」に出なきゃ、ジムめぐりはできない。ジムめぐりができなきゃ、リーグにも出れない。

なんとか「旅に出てもいい」っていってもらえる方法を見つけなきゃな！

こーしたらどーだろ？

いやいやだったら

あー!!

テレビに近所のおじさんが出てるよー！

そうそう。この人、ポケモンのえらい博士なんだよ。

へー！

ポケモン図鑑か開発中と聞きましたか…アラフギ博士。

ええ。わたしも楽しみにしてるんです。

ポケモンに出会うごとにその生態を読みとり、データとして蓄積していくというハイテク機器だそうです。

なるほど！では、それを持ってデータ集めに旅立たなければならないわけですね？

いやあ、そのへんは…。若い少年少女にたくすのがいいんじゃないですか?

これだ!!

えらい博士の手伝いい!!

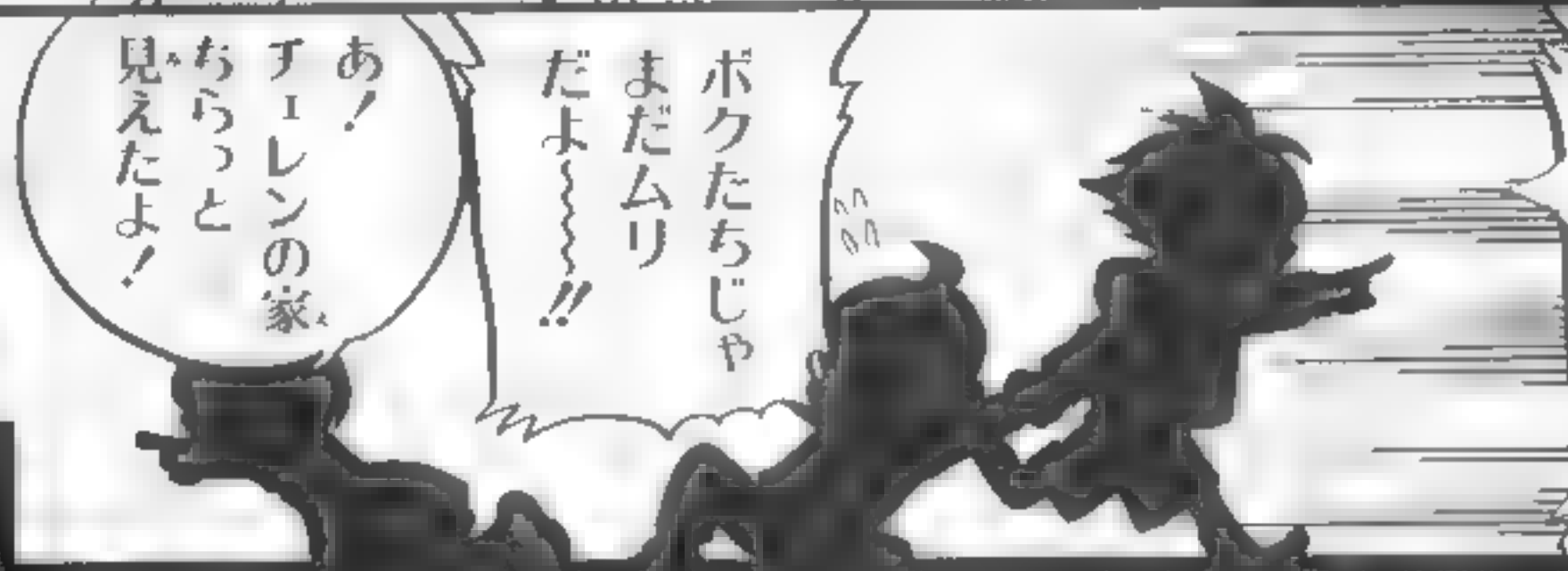
!?

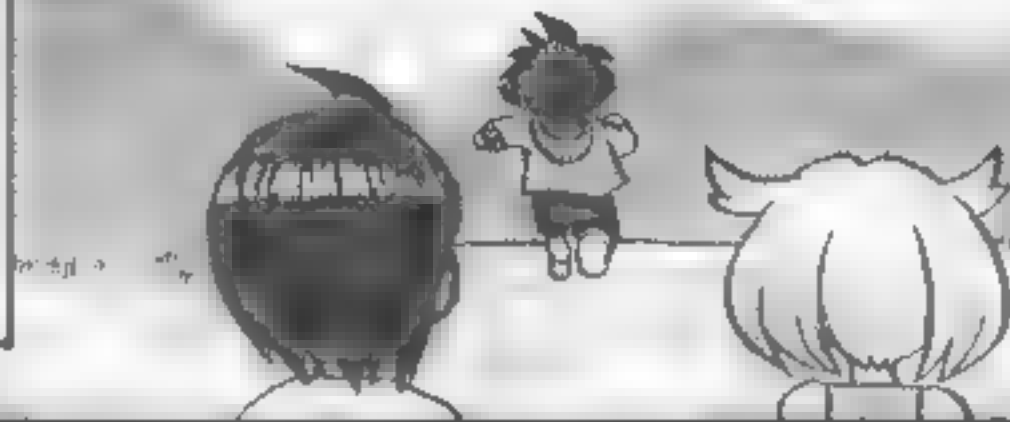
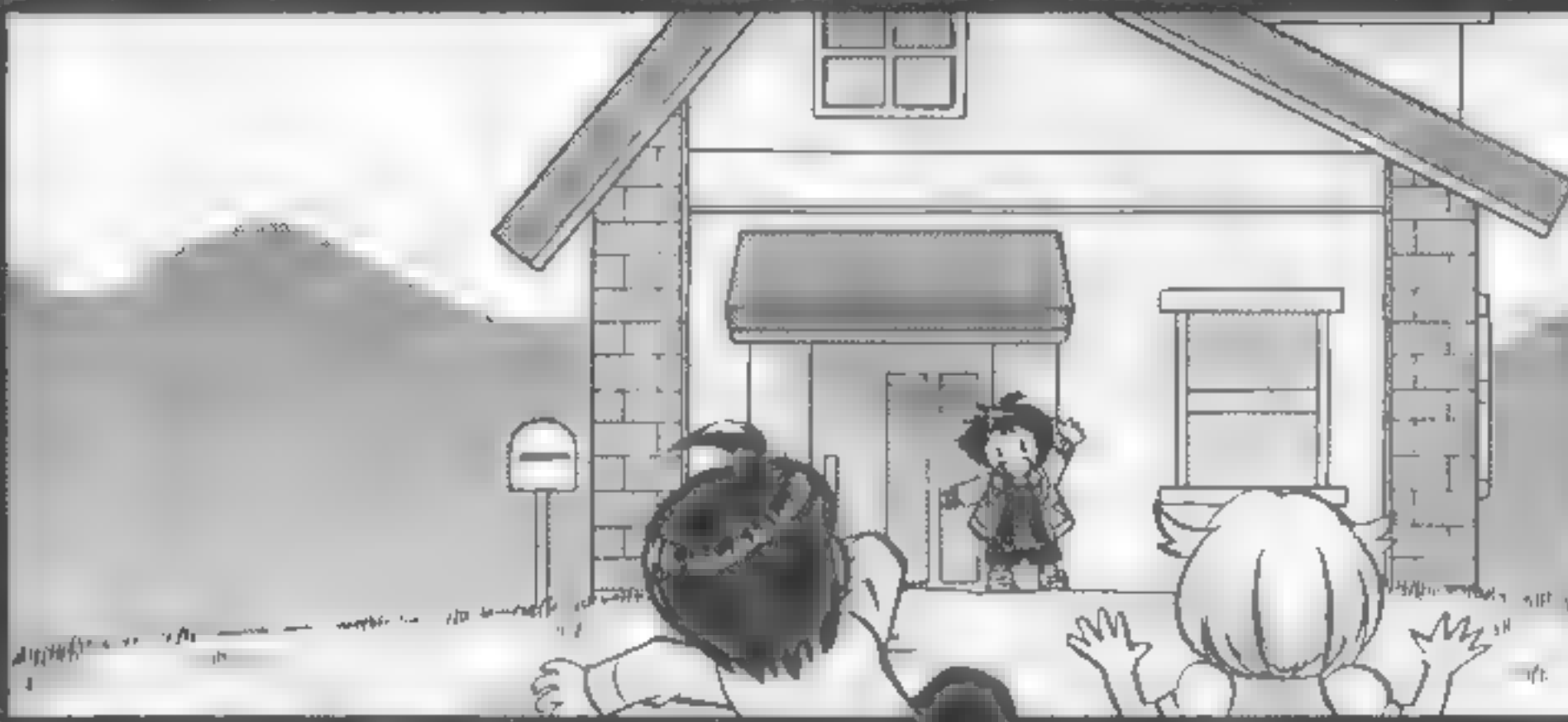
見えないよー、ノノック。

これなら、どうどうと「旅」に行けるじゃないか!!

この博士のとこへ連れてってくれ!!

ボクたちじゃまだムリだよ~~~!!

あ!チェレンの家ちらっと見えたよ!

思いついたアイディアはなんとしても実行する。

おどろくことにブラックは家に帰るとなんとか親をその気にさせて…、

家ごとこのカノコタウンに引っこしてきたんです。

そのあとはひたすら博士の目にとまろうと、

わざわざ毎日博士の家の横、窓のそばでバトルの練習してたんですよ。

うわー！ぜんっぜん気づいてなかったわ。

ブラックかわいそーだねー

いえ、まあいいんですけど…。

ともかく、ブラックくんには「現状、ただひとつの図鑑だから、大事にあつかえ」って伝えたいのよ。

ええ、追っかけて伝えます。

でも、残りの2機が直るのを待ってたら…。

もっともだわ。

ここは、あなたたち2人に今すぐブラックくんを追ってもらうのがよさそうね。

お願いするわ！

はーい！

ハイ!!

ブラックはジムを意識したルートをとるはずだから…。

じゃ、まず向かうのは…、

ベルちゃ〜ん！

いやあああ!!

一方、ブラックたちは・・・。

おーい!! ポカブー!!

そこか?

いたいた!

プイッ

ほら! 出てこいよ。

もしかしてオレが進化後の名前をニックネームにつけようとしたもんだから、今の自分を否定されたって思ったのか?

まったくすぐ、スネるヤツだなア!!

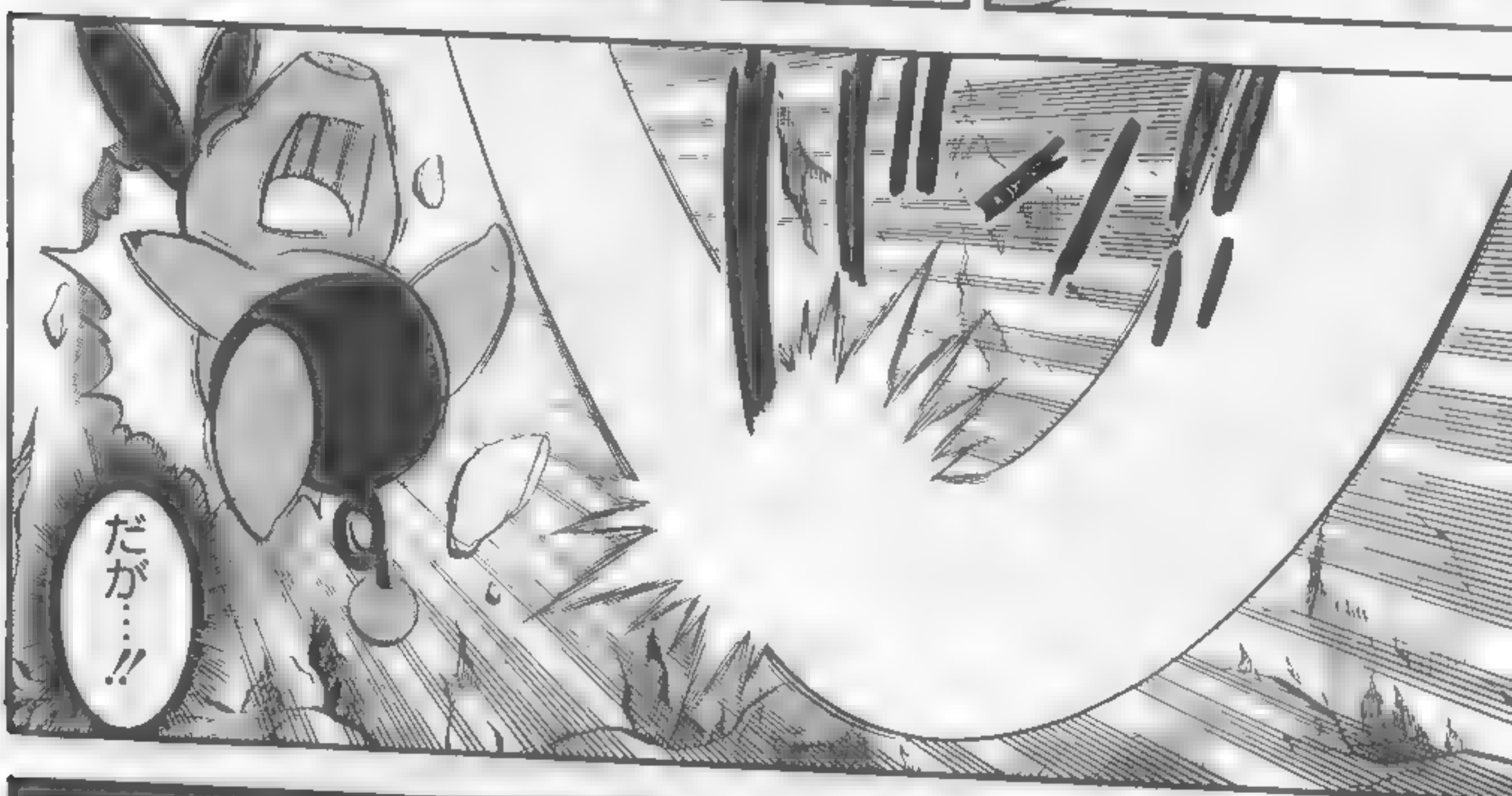
おいおい！
こんなところで
そんなデカい声
出したら、
おどろいた
野生ポケモンに
おそわれるぞ！

言わん
こっちゃねえ！

なんだ？

あえて自分からケンカふっかけてんのか？

「進化しなくたって自分は強い!!」ってアピールしてんのか!?

好きだぜ、そうゆうの!!

だが…!!

相手のほうが強すぎるみたいだぜ。

相手の正体を見きわめられなきゃ勝ち目はねえ！

ムシャ!!

闇にまぎれた相手を見きわめるために、

んぐ

んぐ

一度、頭の中をまっ「白」に…!

…「白」…。

そこへ情報が流れこみ、

「白」から「黒」へ。

ポカブの戦っている相手は…!

こいつか!!

オレは相手がわかった!

だが、ポカブはオレにいいとこ見せたくって戦ってるんだ。

アイツの男を立ててやらなきゃならねえ!!

何かヒントは!?

あれだ!!

ボボボ

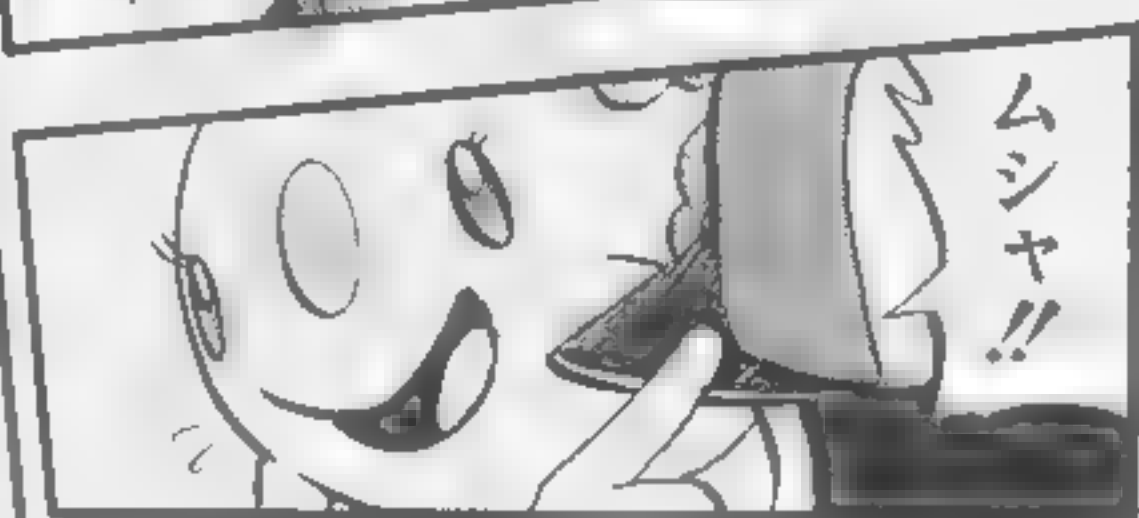
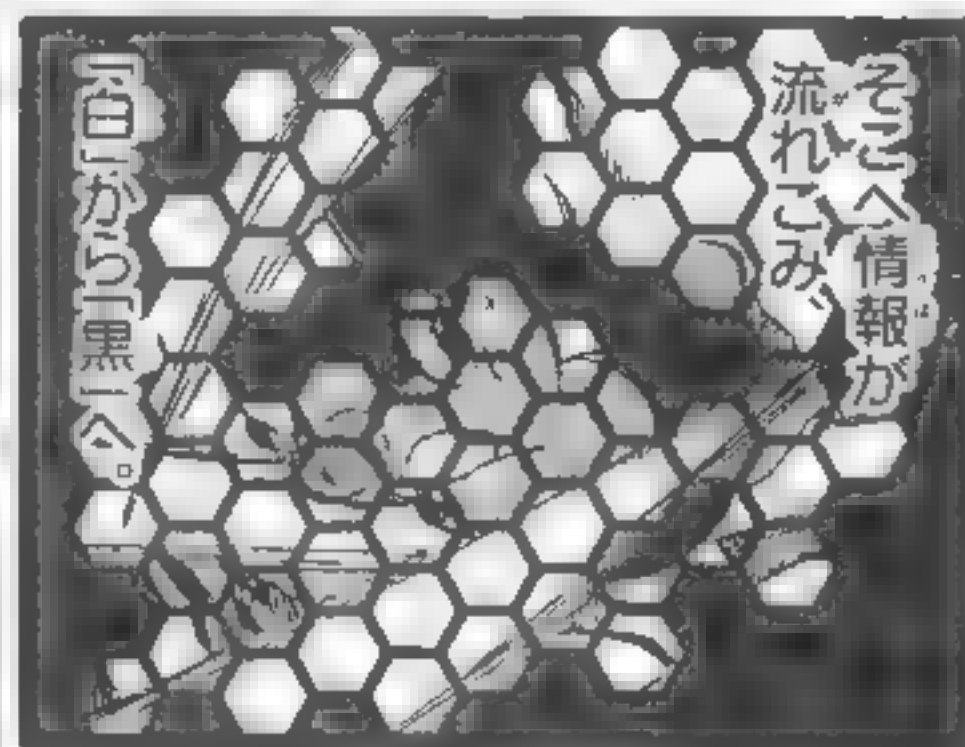
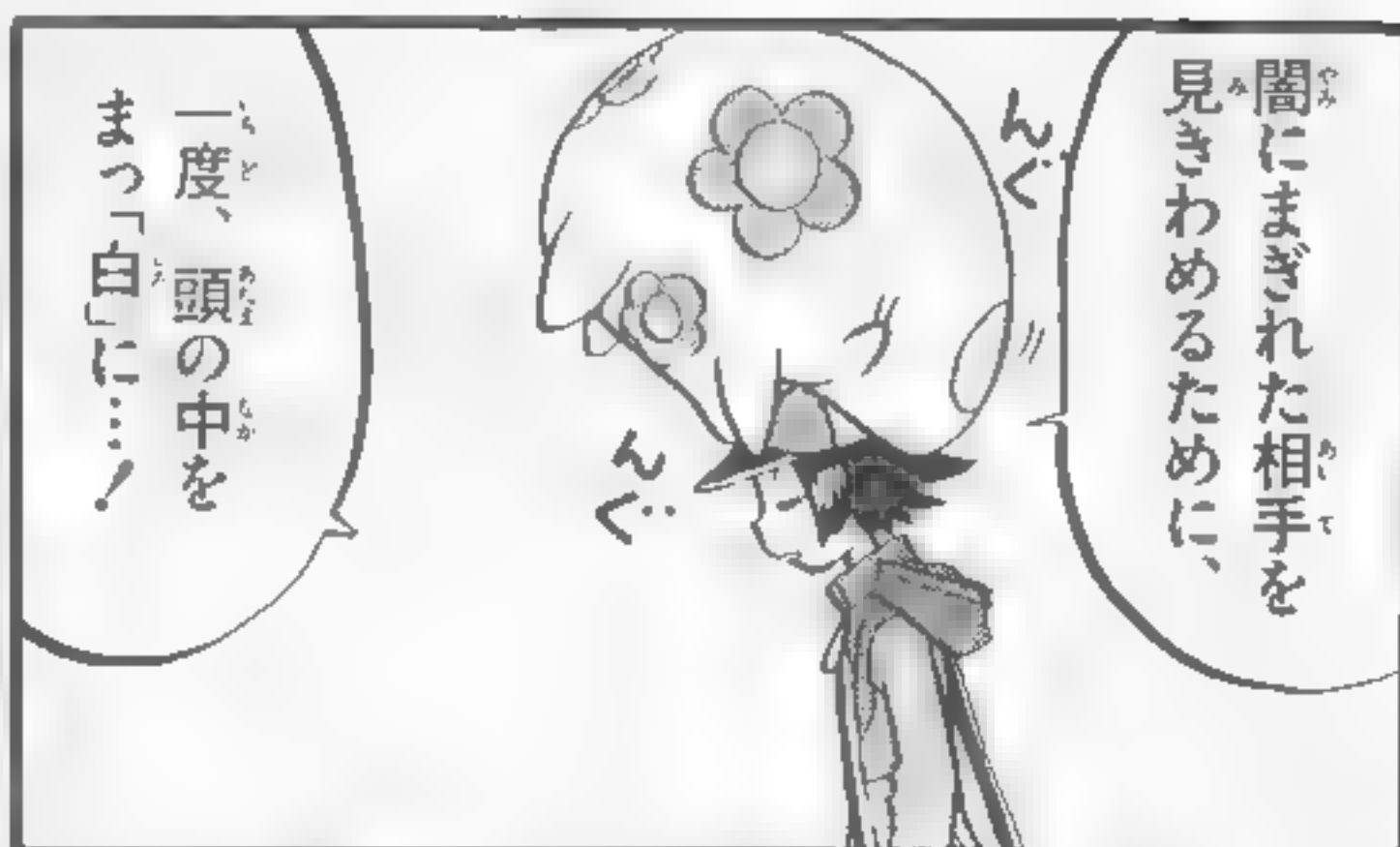
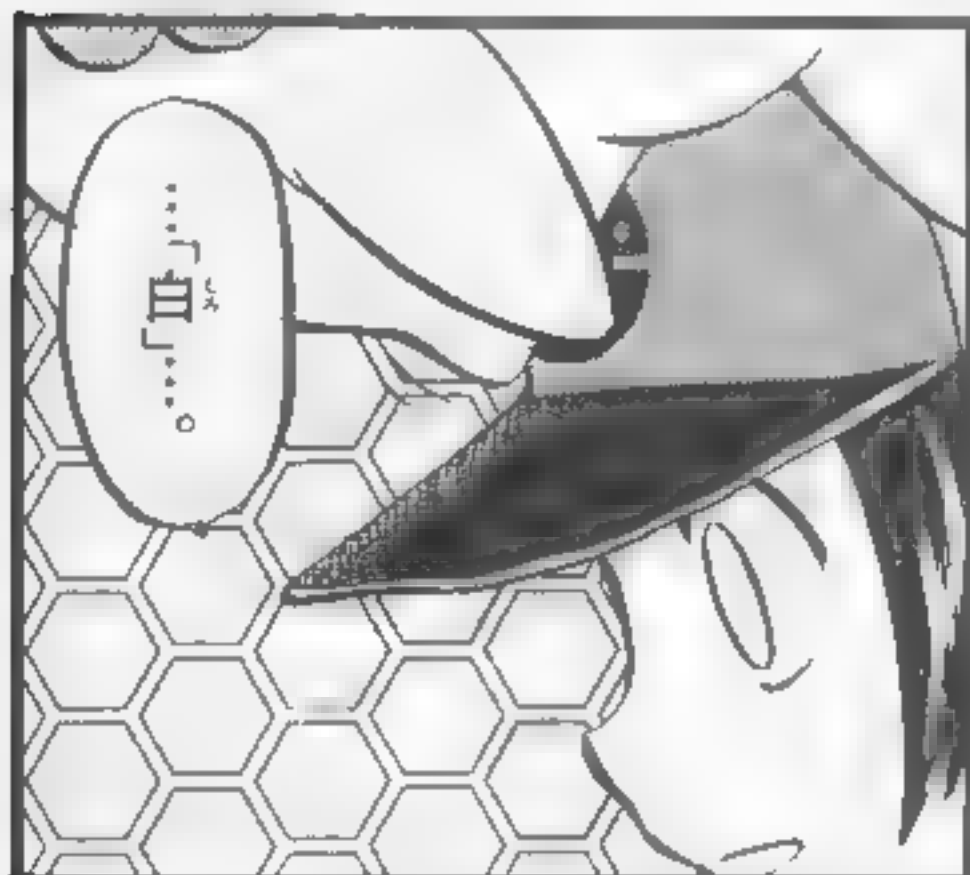
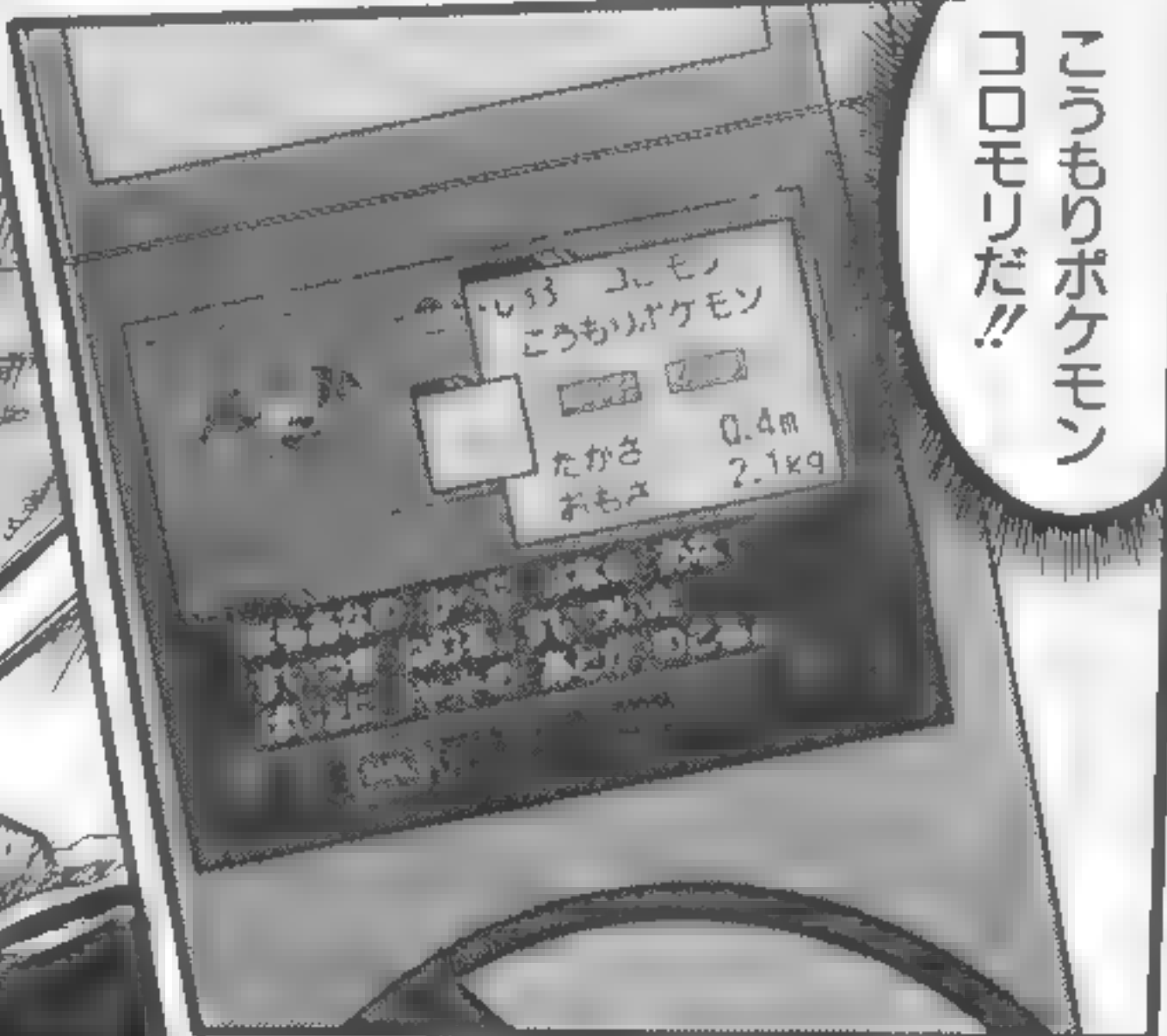
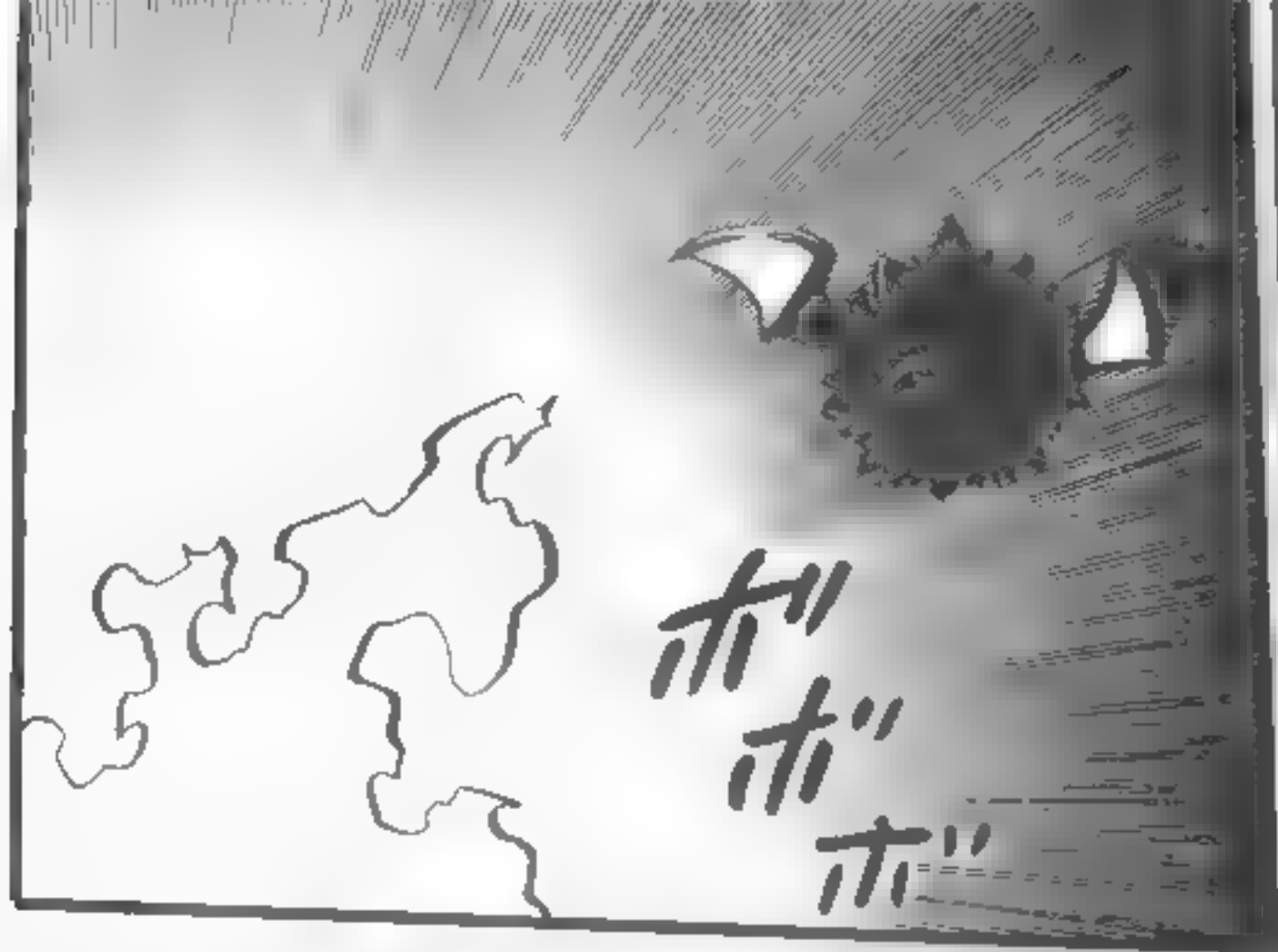
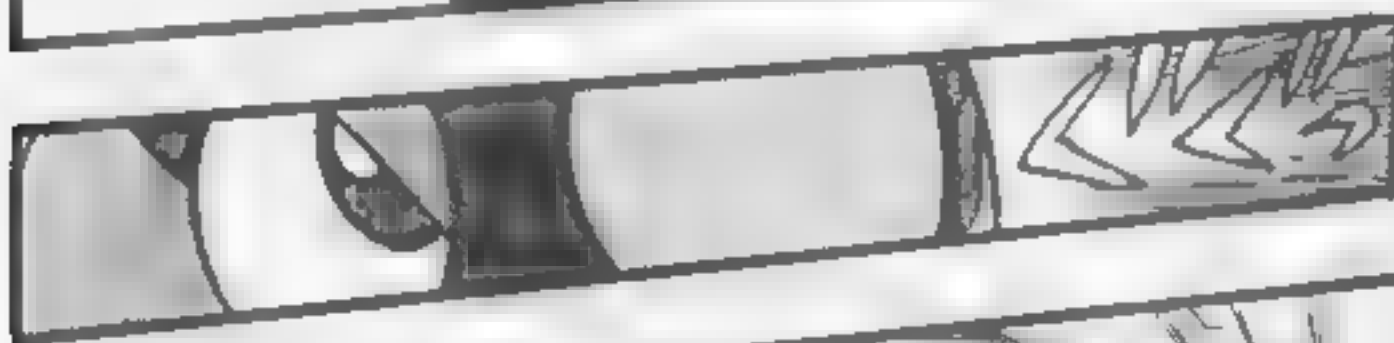
パタパタパタ

よし！ヒントに気づいたな、ポカブ!!

こうもりポケモンコロモリだ!!

こうもりポケモン
たかさ 0.4m
おもさ 2.1kg

いいぞ!!

そいつは鼻の穴をふさがれたらまともに飛べなくなるんだ!!

にっ!

得意そうな顔しやがって!

思った以上に勝ちたがり!闘争本能の強いヤツなんだな!!

わかったよ!おまえが今十分強いってな!

よし、決めた!!

おまえのニックネームは、

「ポカ」だ!!

どんな姿に進化するかはわかんねえけど、今の戦いを見てたら期待しちまうぜ!

もっともっと強くなるんだってな!!

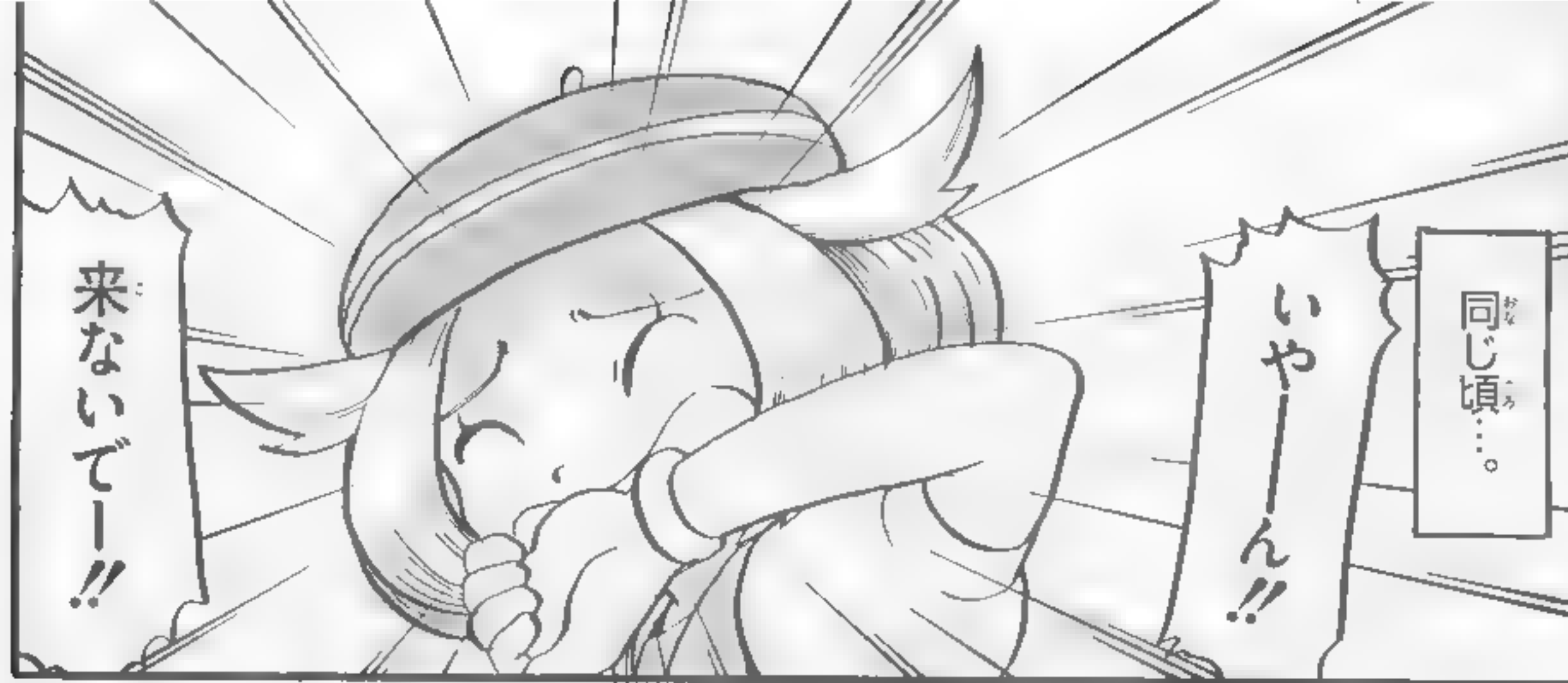
また一歩、ポケモンリーグ優勝に近づいたって実感したぜ!!

いっしょに「夢」に向かってくれよな!!

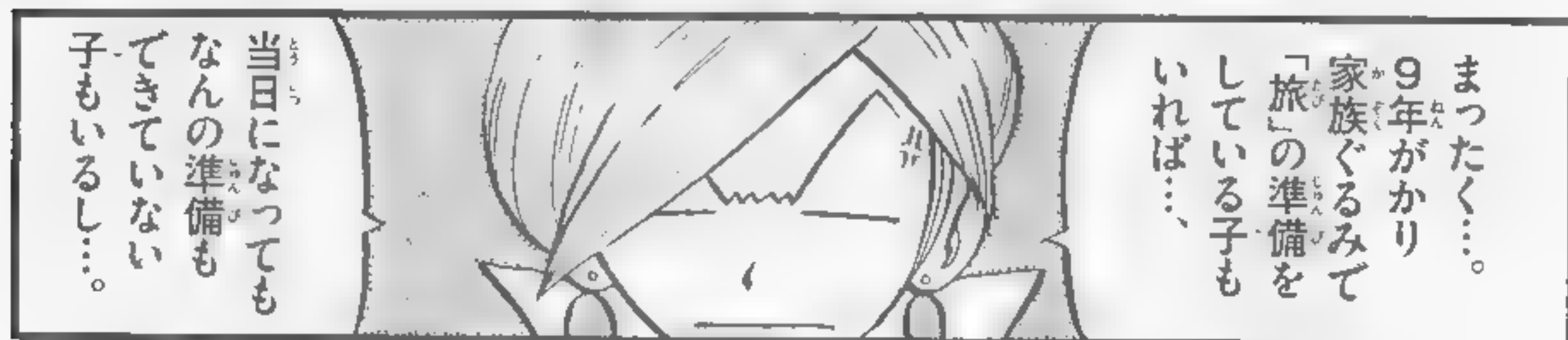
ポカ!!!

さあ、まずはジムめぐりだ!!

最初に目指すのはサンヨウシティのサンヨウジム!!

そこには3つ子のジムリーダーがいるんだぜ!!

同じ頃…。

いやーん!!

来ないでー!!

まったく…。
9年がかり
家族ぐるみで
「旅」の準備を
している子も
いれば…、

当日になっても
なんの準備も
できていない
子もいるし…。

パパは絶対ゆるさんぞ!!
ポケモンデータ集めの
旅だなんて!!
この世はキケンに
満ちあふれているんだ!!
おまえみたいな世間知らず、
行かせるわけにはいかん!!

ヤダヤダ!!
絶対
行くんだから!!

ボクたち、いつ
出発できるんでしょうか?

知らん。

ダメダメ
ダメだ!!

ADVENTURE MAP

最終地 ポケモンリーグ

BLACK

現在地 1番道路

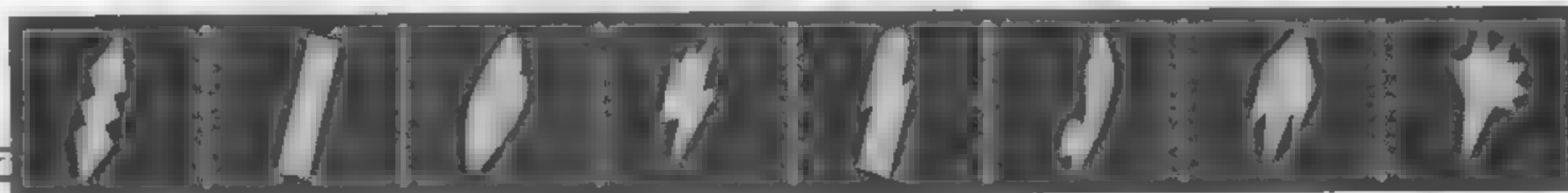
Lv.15
ポカ
ポカブ♂
ひぶたポケモン

Lv.31
ムシャ
ムンナ♂
ゆめくいポケモン

Lv.54
ウォー
ウォーグル♂
ゆうもうポケモン

NO DATE

NO DATE

NO DATE

POCKET MONSTERS SPECIAL

The Tenth Chapter

BLACK&WHITE

#464

VSモンメン

初戦（しょせん）

ポカ、聞いてくれ。

おまえが仲間になってオレの手持ちは今、3匹。

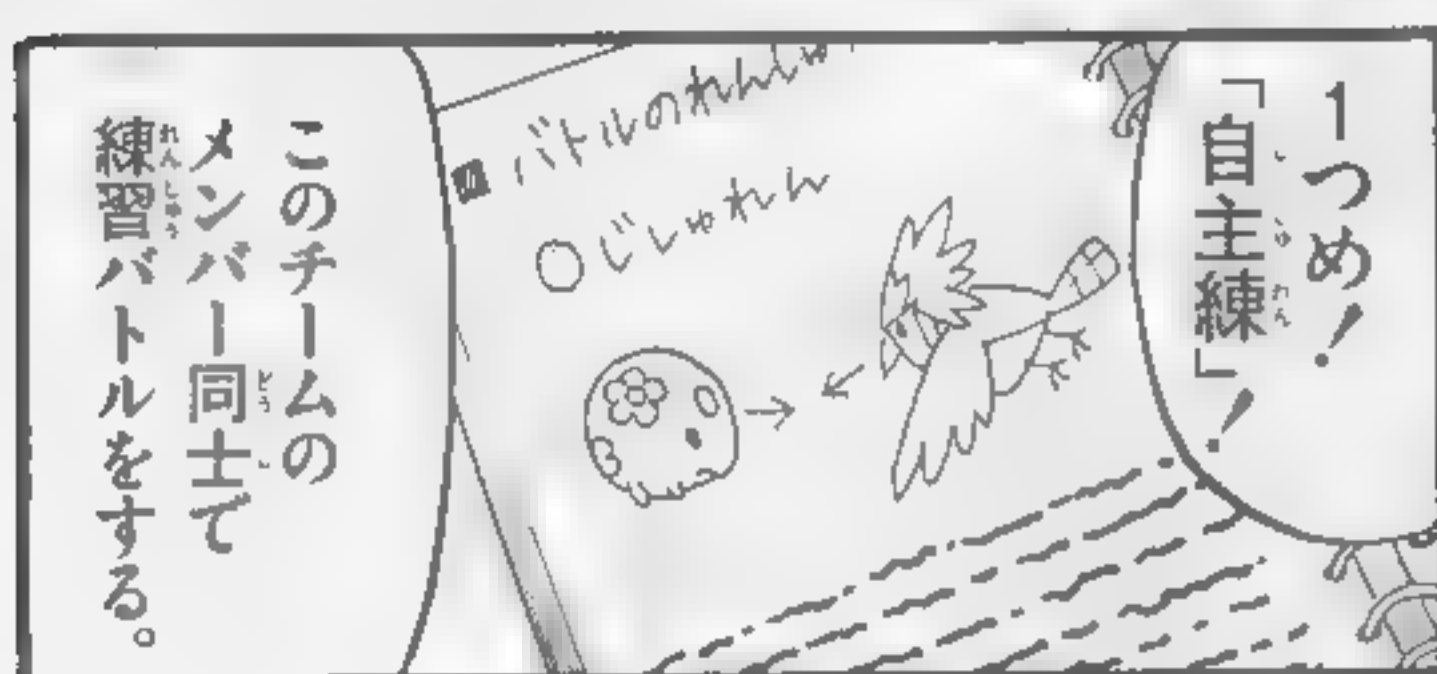
これからこのメンバーでチーム力を強化していかなくちゃならない。

わかるな?

トシ!

よし! バトルを練習する方法は3つある。

1つめ!「自主練」!

○じしゅれん

このチームのメンバー同士で練習バトルをする。

2つめ!「対野生ポケモン」!

② 対やせいポケモン

草むらなんかで野生ポケモンと出会ったら、それと戦う。

そして、3つめ。旅の途中でオレと同じような目的の人、

つまり、「自分のポケモンをきたえたい人」と出会ったらその人と戦う。

いわゆる、「トレーナー戦」だ！

ところが、問題がひとつある。

実はオレ、その「トレーナー戦」ってのを今まで一度もやったことがない。

街の中だと、けっこう場所も選ぶだろ？

バトル自体、「野蛮だ」っていう人もいる。

そんなワケで、今まではウォー対ムシャで練習したり、草むらに入って野生ポケモンとこっそり戦ったりしてたんだ。

ベルは特に親がきびしいし、チェレンは超マジメで大人に気をつかう。

だから、あの2人はポケモンを持つことすらしなかった。

けど、今はこうして晴れて旅に出たんだ！

広い世界には、オレみたいに強くなりたいトレーナーでいっぱいのはずだ!!

トレーナー[illegible]でもなんでもやってやるぞオオオ!!!

出てこオオオい!! ポケモントレーナアアア!!

1番道路

おーい!!

勝負したいトレーナー、いないのかよー!!

意外と出会わないもんだなァ。

1番道路ももう終わり、カラクサに着いちゃうぞ。

ガヘン!

い、岩が動いた!?
ポケモン!?

!!

でっかい人だなア…!!

聞いてたぞ、少年。
今の叫びに、
こたえてやろうじゃないか。

わしは山男のナツミと申す!!

もしかして、ポケモントレーナー!?

いかにも!

トレーナー戦をしたいとの言葉、しかと聞いたぞ!!

少年よ！お主の目標はなんだ!?

ハ、ハイ！ポケモンリーグ優勝です!!

でっかい目標じゃないか！いいだろう、お相手しよう!!

ホ、ホントに!?

はじめてのトレーナー戦…!!

ゴクリ

シママ！

モンメン！

ダンゴロ!!

いけ!!

わしの3匹よ!!

さ、3匹同時!!

パラパラッ

これは…、

■トリプルバトル

トリプルバトル!!

あせるなよ、ポカ！

これはポケモン協会でも最近、正式にルール化されたっていう、最新のバトル形式だ!!

そんなバトルをしかけてくるなんて、この人相当の実力者だぞ!!

位置につけ!!

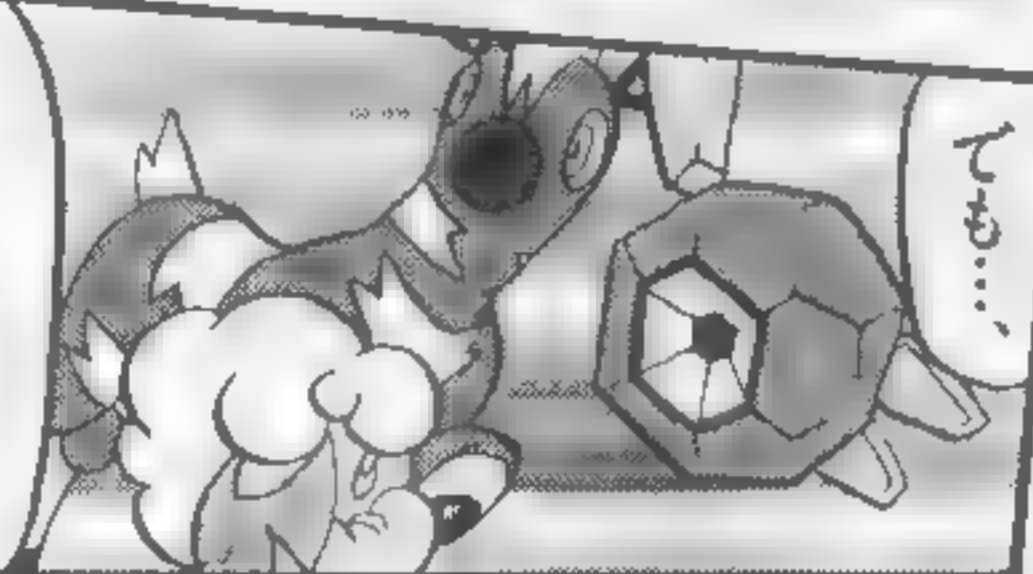
ポカ、ウォー、ムシャ!!

よく勉強してるじゃないか、少年。

ダンゴロ、"いわなだれ"!!
シママ、"しっぽをふる"!!
モンメン、"はっぱカッター"!!

だったら、こっちは…!

ポカ! "ニトロチャージ"!!
ムシャ! "サイケこうせん"!!
ウォー! "つばめがえし"!!

当たった!!

でも…、

さすがにトレーナーがいると動きがちがうな！指示どおり正確に技を出してくる!!

しかも、〝いわなだれ〟はムシャとウォー。〝はっぱカッター〟はポカとウォー。

複数の相手を同時に攻撃できるのか!!

はじめてだ、こんなバトル！

勉強になるけど…！

勝てる…、

かな？

少なくとも、
あのモンメンは
草タイプ!!
対面にはポカ!
並び方はまちがって
いないはずだ!!
まずはモンメンから
落とすぞ!!
ニトロチャージ!!
ゴォ
ォ
オ
おお!!
なかなかの
攻撃…!!
だが…!!
メラ
む。
むむ。
メラ
メラ
むむむむむむ!!
メラ

むは〜〜〜!!
たまらん!!
暑い〜〜〜〜!!

だっ

まるでサウナだ!!
ガマンできん!!

え!?
ええええ!?

ぐびぐびぐびぐびぐび

ちょ、ちょっとちょっと!!
バトルの途中だぞ!!

プッハ〜〜〜〜!!
さっぱりした〜!!

あ。

しまった!!

う、

ううう。…ま…、

負けた!!

またやってしもうたアァア!!!

もうダメだ。引退しよう。

えええ!?

ちょちょちょ！なんて!? どうして!?

少年よ。

バトル開始の時はえらそうにしかけたが、じつはな、わしはダメトレーナーなんだ。

リーグに出場したいと思い続けて…もう20年…。いまだかなわず、だ。

20年…。

リーグ出場には8つのジムバッジが必要なことは知っとるか？

もちろん！

わしも若いころから「いつかはリーグに！」とあこがれ、バッジ集めをはじめたものの、

いつも途中で決心がくじけてしまう。

開催されるリーグ。

バッジを集めきっていない自分…。

みじめな気分で出場トレーナーたちをながめるだけだった。

そんなことをくり返しているうちに、すっかりあきらめモードになってしまった。
今ではこの1番道路を通るトレーナーを待ちかまえ、勝てそうな相手なら勝負をしかけるという情けない毎日…。
1番道路
ところが今日、トレーナーバトルをしたこともない少年にすら、あっさり負けてしまった。
だって、あれはナツミさんがバトルを放り出して…。
それなんだ!!
見てのとおり、わしはおどろくほどの暑がりでな、
特に相手が炎タイプの技を出してくると、頭はボーッとしてノドはかわきもうバトルどころではなくなってしまうのだ。
バトルも満足にできんのなら引退するしかない!
ダメダメダメダメだー!!
ぐすっ

あんたがあきらめたら、
ポケモンたちは
どうすんのさ!?

ポケモンたちは、まだ
リーグにあこがれてる
かもしれないんだぜ!?

そんなことは
ないだろうよ。
ほら。

わしのモンメン、
最近はすぐに
わしからはなれていく。

ふがいない
トレーナーに
愛想をつかして
いるんだろう。

…………。

暑いな。

だらだら…

おおう!
少年、汗が
したたっておるぞ!

おかしい!
バトルはもう
終わったのに!!

ゴオオオオ

!!

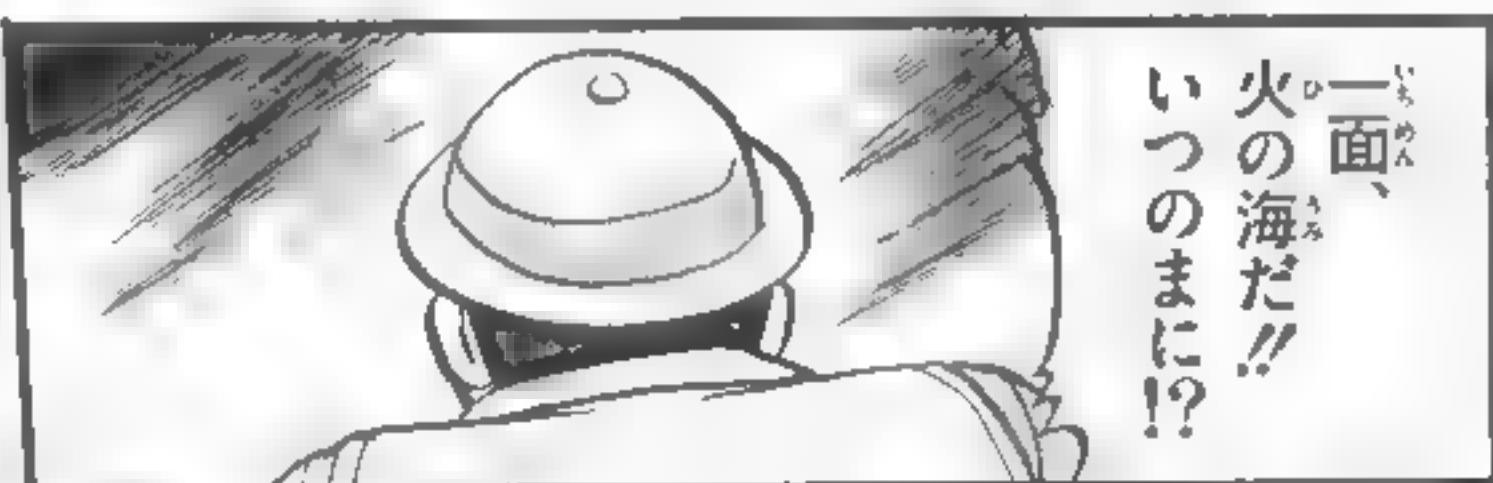
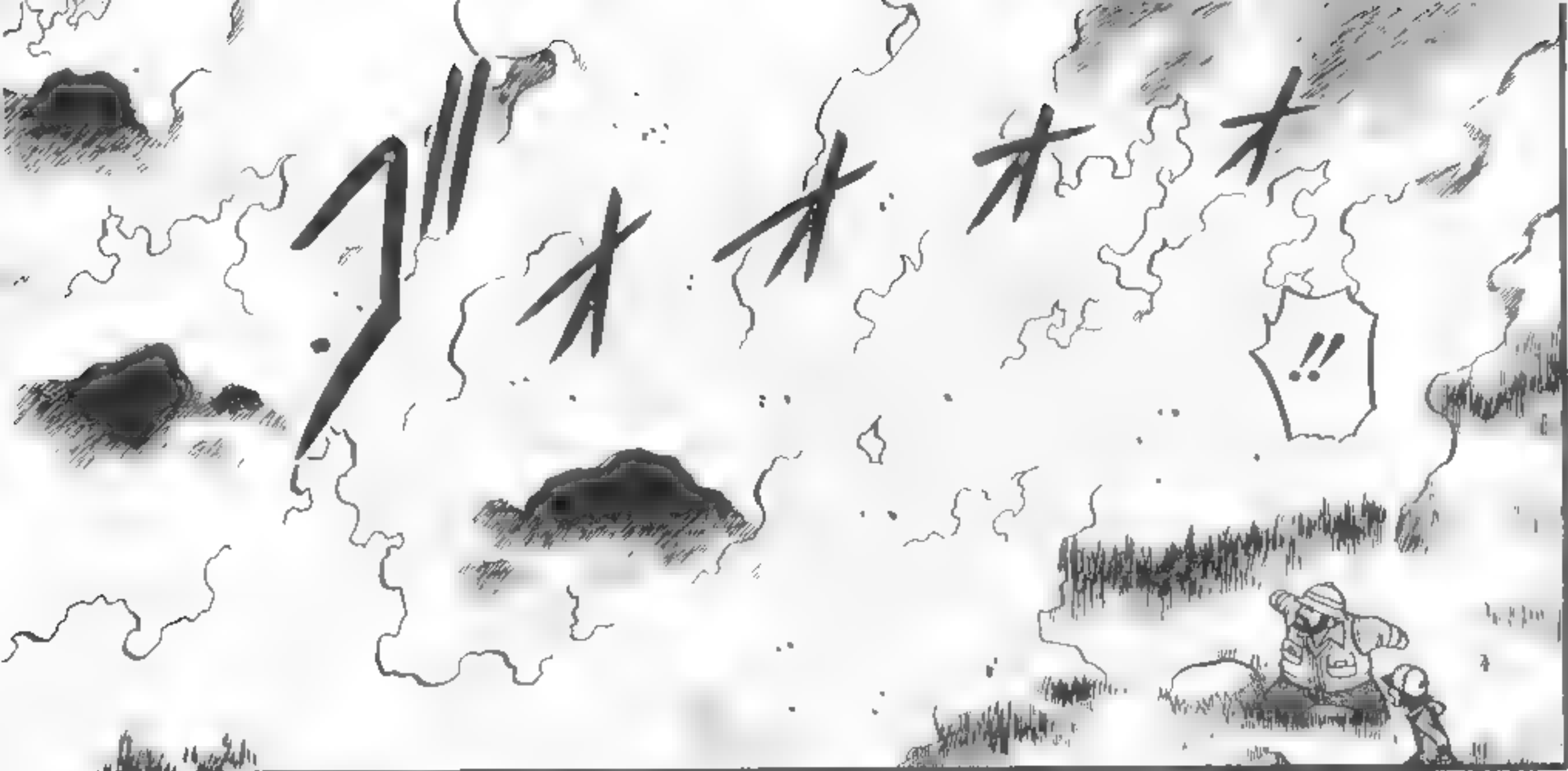
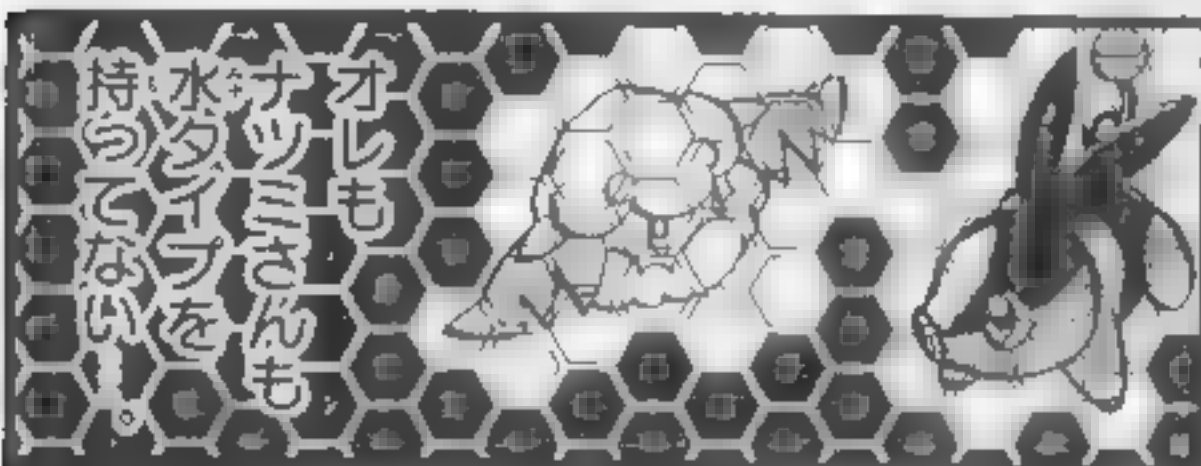
一面、火の海だ!!
いつのまに!?

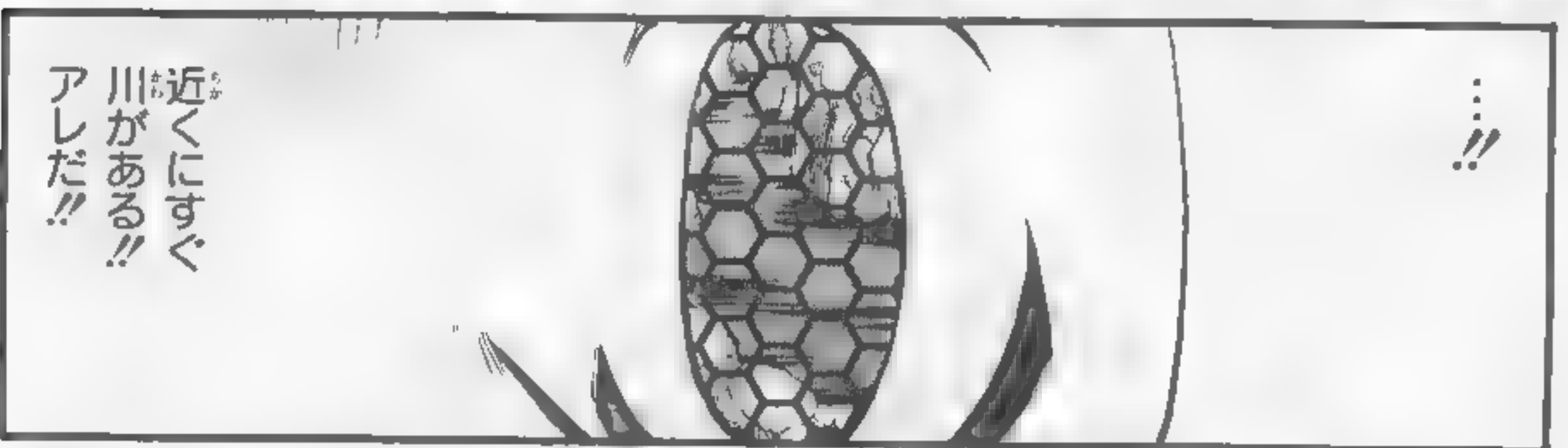
何やってる!?
少年!!

ウォー!
手伝ってくれ!

ムシャ!
いいぞ!!

火事の原因……。

いや。
それより、
消すための
何かだ。

オレも
ナツミさんも
水タイプを
持ってない…。

…!!

近くにすぐ
川がある!!
アレだ!!

ウォー!!
運べるか?
あの大岩!!

いや!
絶対に運んでくれ!!

見せろ!!

自動車だって
つかんだまま
飛べる…、

おまえのその…、

ぐぐぐぐ…

バカ力で!!

ドォ

できるだけ高くから落とすんだ!!川にめがけて!!

ナツミさん!!

ダメだ、少年…!暑くて熱くて何も考えられん!

あんたの協力が必要なんだ!しっかりしてくれ!!

ドドドドド
ザババァァ
ッ
水柱が…！
だが遠い…!!
だから
ナツミさんの力が
必要なんだ!!
モンメンに
指示をして!!
モンメンに!?
できるでしょ!?
"わたほうし"!!
水柱にむけて
出せる限り
たくさん！
早く！
モ、
モンメ〜ン!!
"わたほうし"
〜〜〜〜!!
ババ!!

ザァァアア

たっぷり水を吸ったな!!ウォー!落とせ!!

シュウウウウ

出火の原因はモンメンだよ、おじさん。

んな!?

さっき、ポカの攻撃で残った火をいじってた。

たぶん、それが飛び火したんだ!!

コラァーーッ!! なんてことを…!

ストーップ!!

モンメンは自分の弱点の「火」を克服しようと、自主練してるようにオレには見えた。

暑がりだからってあきらめてしまったおじさんに、思い直してほしかったんじゃないかなあ。

…う。

おああ…。

モンメーン!!

少年よ…。

ひとつ聞きたいのだが…。

あの、頭をパクッというのは？
ああ、あれ？
オレの「夢」をムシャ…ムンナに食わせてるんだよ。
オレの頭の中は、ポケモンリーグ優勝っていう「夢」でいっぱいでさ。
ほかのことを集中して考えなきゃならない時にやってもらうんだ。
そんなことしたら、少年の「夢」がなくなっちゃうのでは？
だいじょうぶ！
食わせても食わせてもすぐ、
オレの「夢」は限りなくあふれてくるから!!
限りなくあふれてくる「夢」…！
わしにもそんな頃があったなあ…。
リーグ優勝を目指してたのに…。それを忘れて…。
じゃあさ！いっしょにやろうよ!!
？
ほら、文面はこれ！
え？
さ、ほら。
むむお。
せーのォ！

オレはポケモンリーグで優勝するぞオォォ!!
わしもポケモンリーグで優勝するぞオォオ!!
絶対絶対絶対絶対絶対優勝するからなァァァ!!!
ワッハッハッハッ!!
はじめてやったトレーナー戦、おもしろかったな!
この人は暑がりで炎が苦手。
だから炎の技がくると、トレーナーとしての判断力がにぶってしまう。それがバトルの勝敗を決めてしまうこともあるんだ。

トレーナー自身も心身をきたえなきゃならない！

それを知ることができた！

この人、

自分をきたえてきっとリーグに来る!!

だって…。

ムシャが引きよせられるほどの「夢」を取り戻したんだから!!

よし！行くか!!

次は、

ジム戦だ!!

〈ポケットモンスタースペシャル第43巻おわり／第44巻へつづく〉

TO BE CONTINUED

次巻予告!!!

人にとっての理想

ドラマ、映画、CM、舞台から印刷物まで、

BWエージェンシーをよろしくおねがいします!!

WHITE

ポケモンリーグ!!

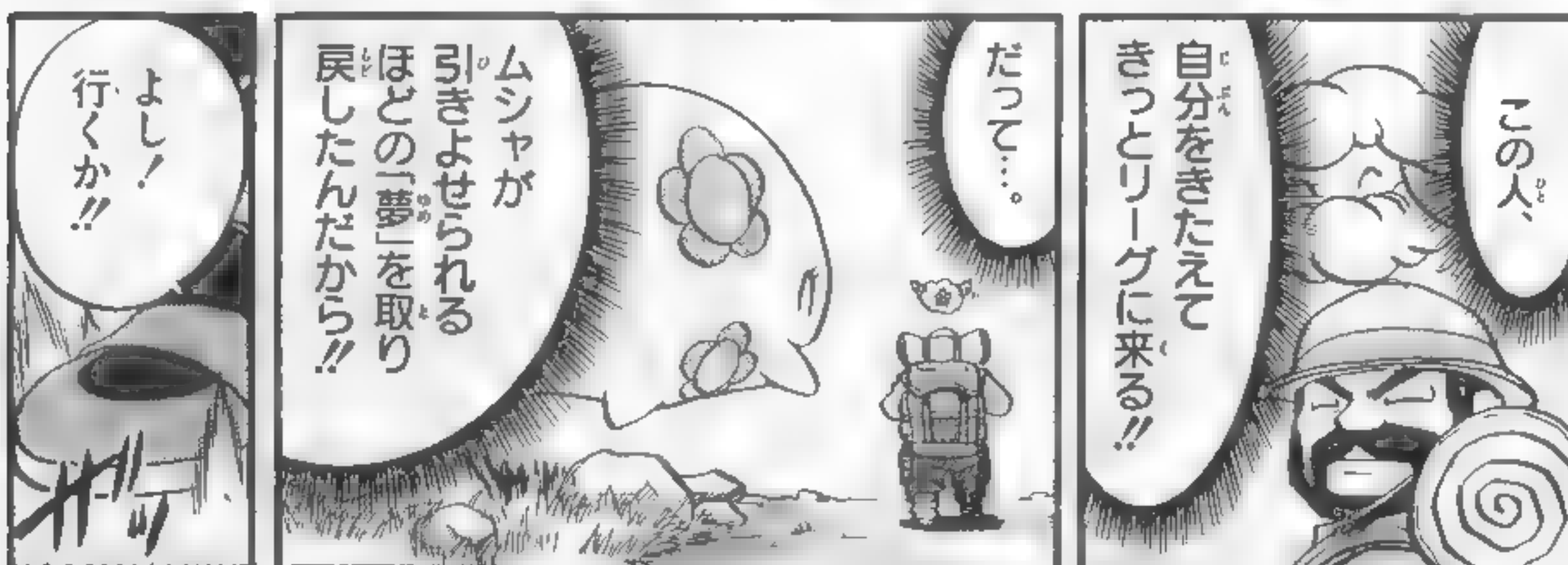
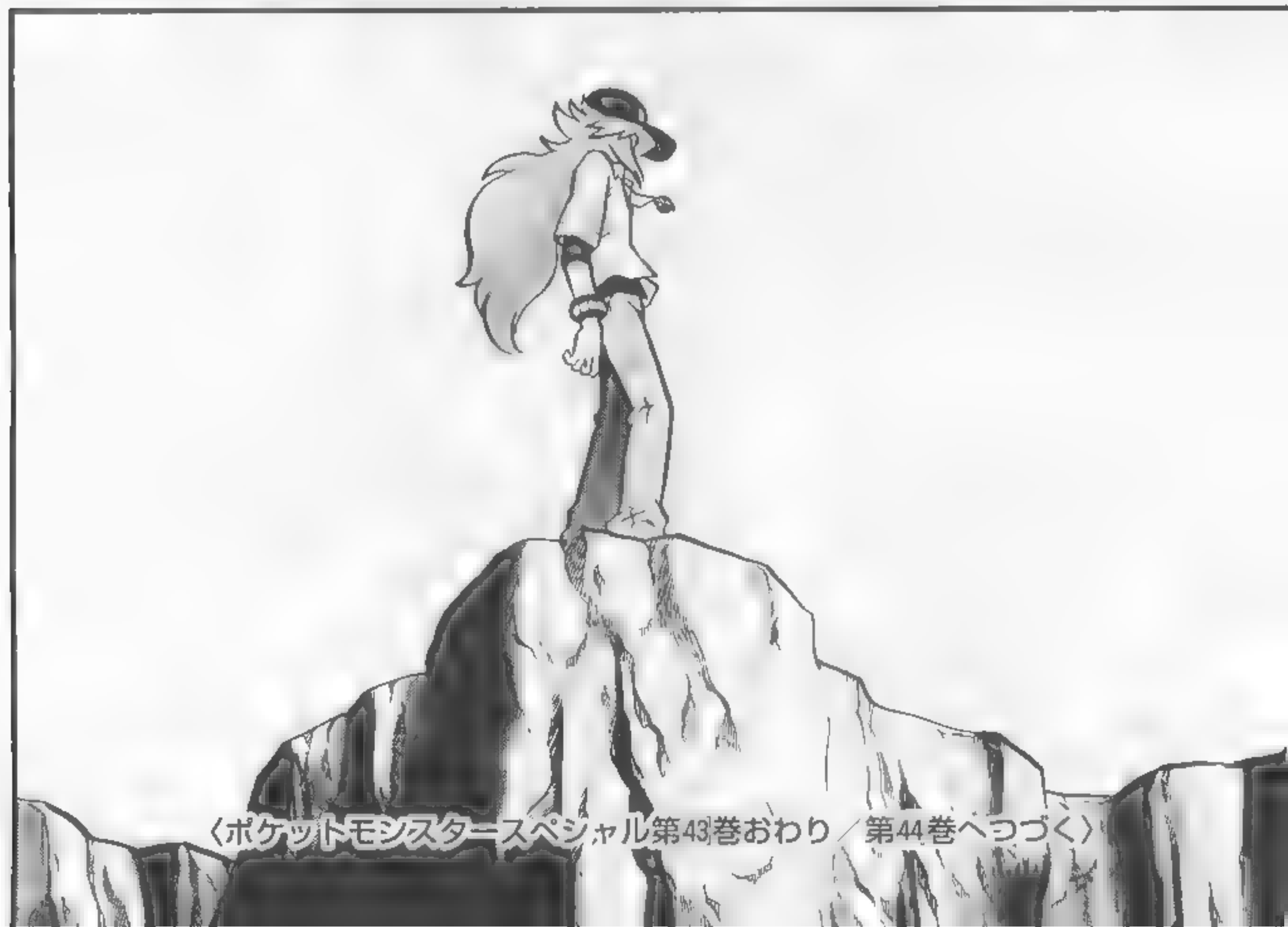
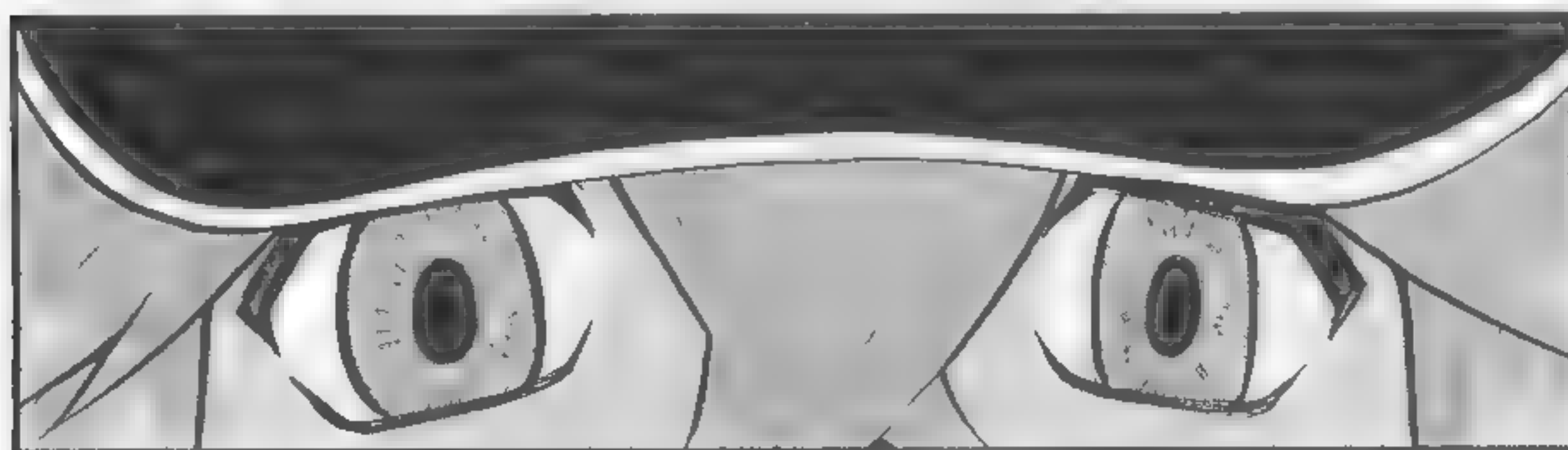
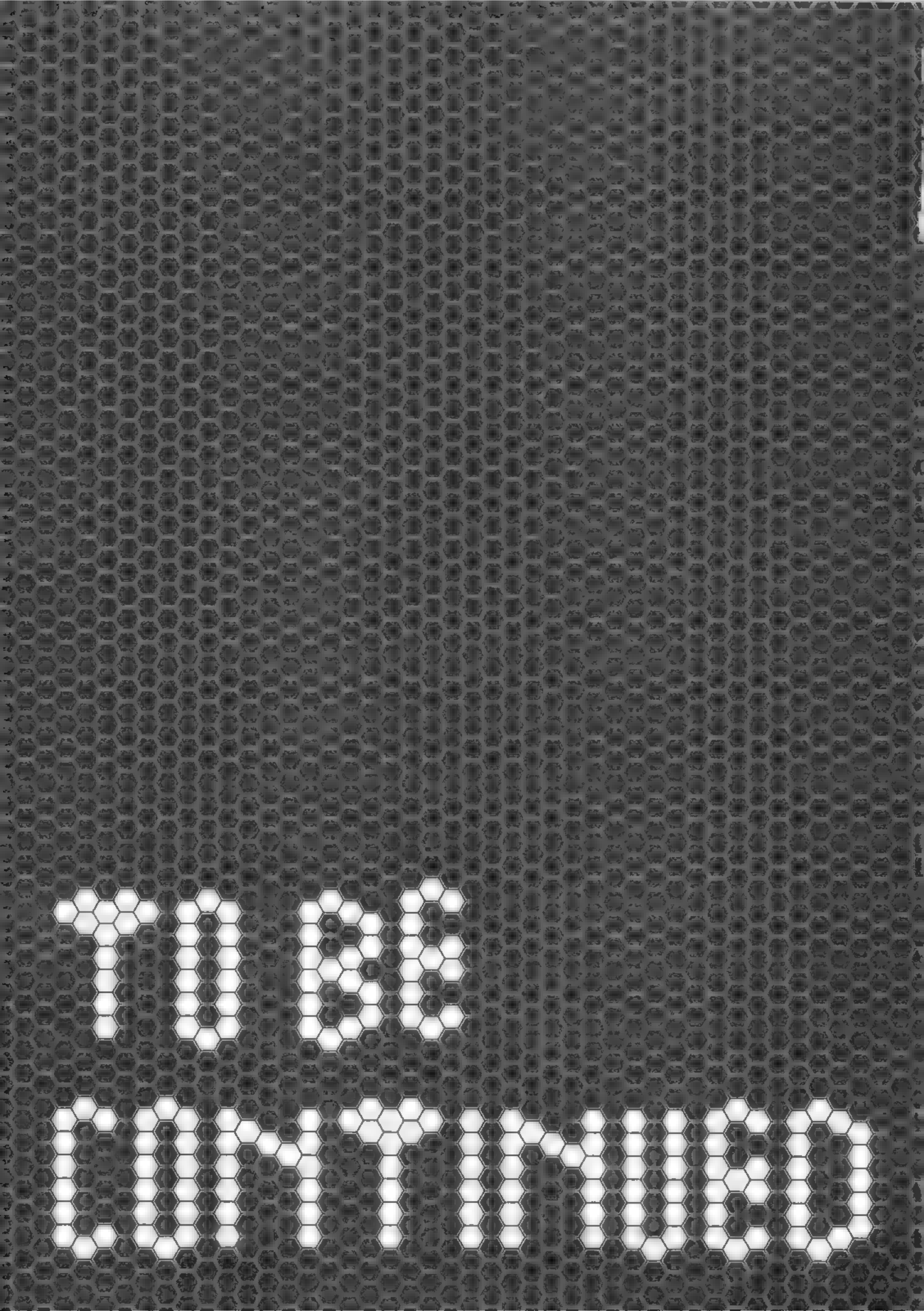
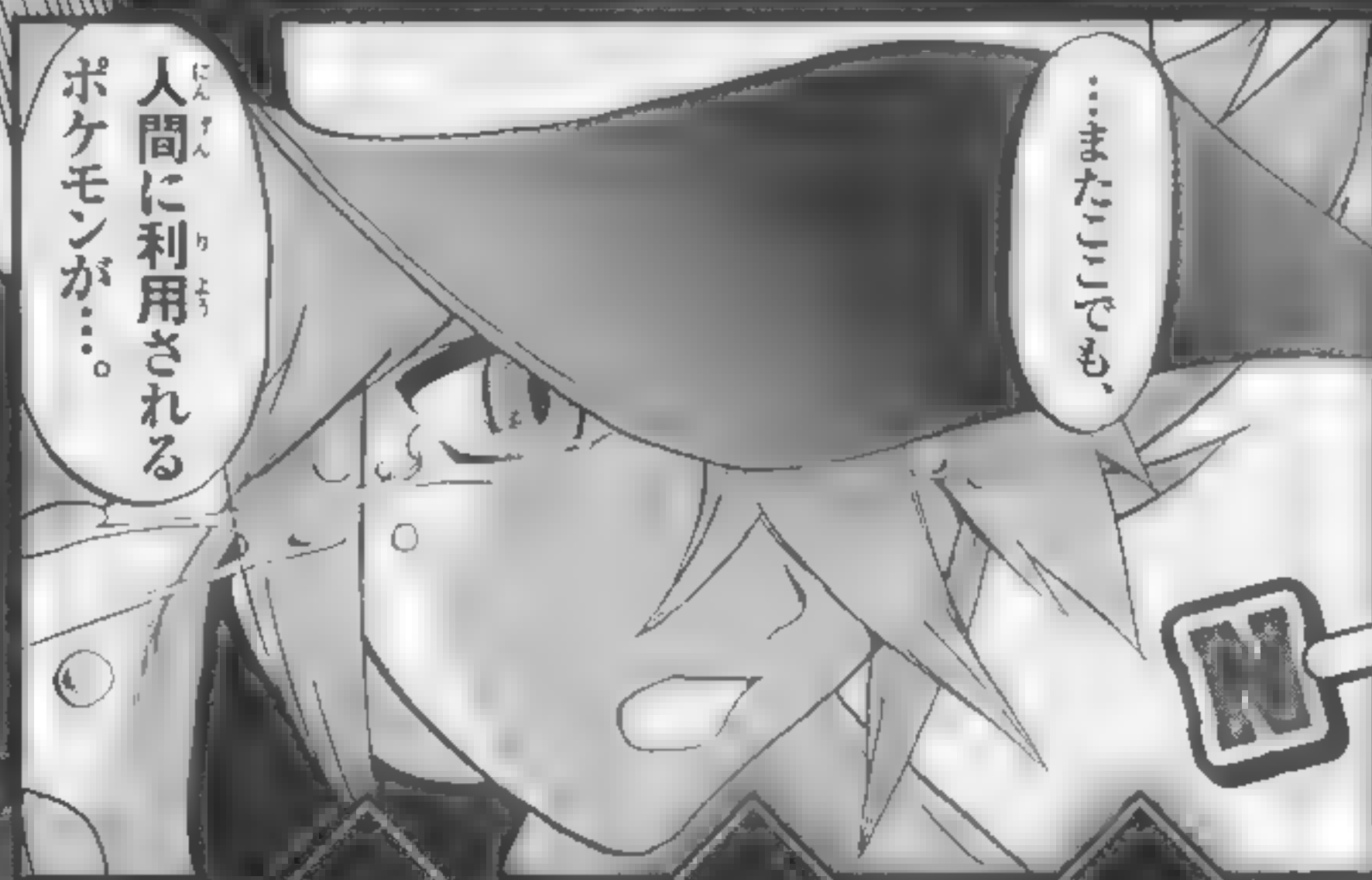
1年後、チャンピオンロードをこえた所にある会場で開催されるんだ!!

BLACK

新生ポケモンリーグ

…またここでも、

人間に利用されるポケモンが…。

N

ポケモンにとっての真実

ポケモンの解放なのです!!

これのために、

ポケモンをモンスターボールに閉じこめるんだ、

いっぱいいっぱい、

トモダチを、

閉じこめるんだ。

解放か――

――共存か

POCKET MONSTERS SP
ポケット モンスター スペシャル

第44巻

根性見せろポカ!!

勝ってオレたちの気持ちが通じ合ってるって証明してやれ!!

アイツにわからせてやれえっ!!

ブラック推理タイムの秘密

衝撃的なシーンから始まる、ブラックの推理タイム。そのメカニズムを解説する。

ムシャに夢を食べさせることで可能になるブラックの推理は、B・W編で注目の要素。推理開始から解明に至る流れを見ていこう。

1 「夢」でいっぱいの頭は、ほかのことを考えられない

2 ムシャに「夢」を食べてもらう

3 まっ白になった頭に情報が入ってくる

4 白から黒へ…そして推理完了！

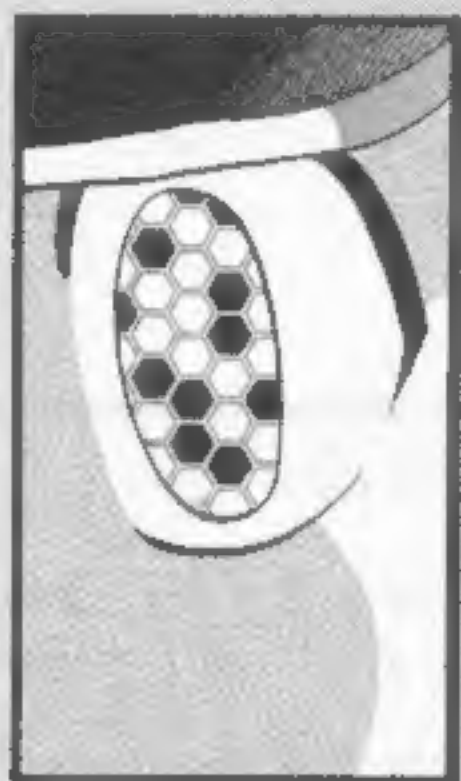
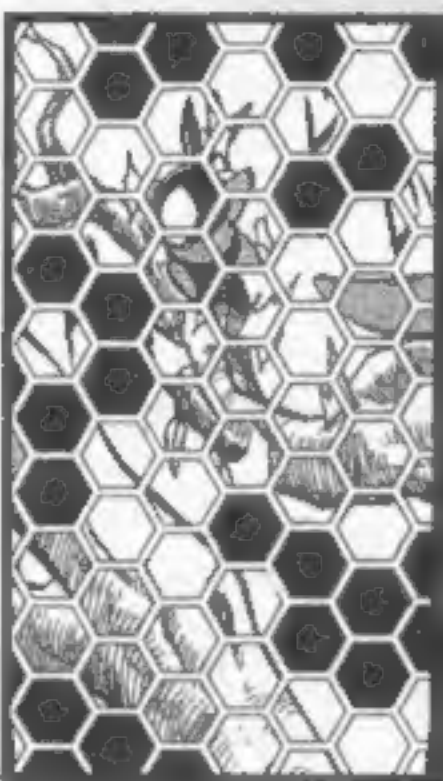
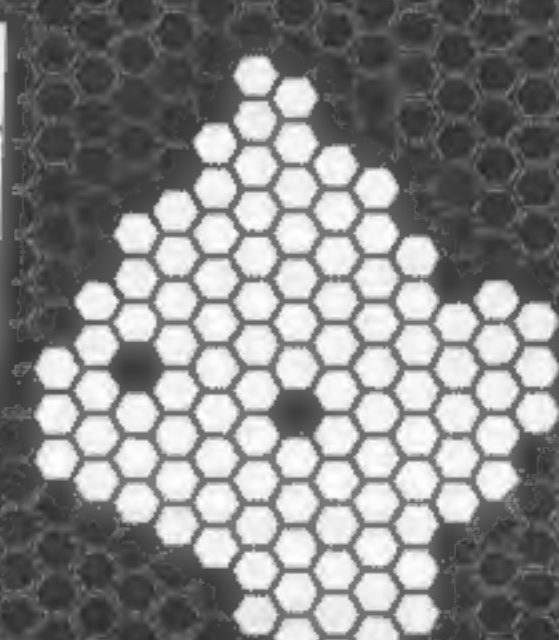
白と黒の世界で浮かび上がったきた事実。それを手がかりにして、ブラックは結論を導き出す。夢に向かって突き進む熱い思いと、推理による冷静な判断力。その2つを兼

ムンナとは?

「ゆめくいポケモン」の分類名どおり、人やポケモンの夢を食べる。ブラックの推理はこれを利用したものだが、どんなに食べられても夢があふれてくるため平気だとか。

▲ムシャは、ブラックが幼いころからの付き合い。夢が大きい人間に引き寄せられる性質を持っている。

ポケモンリーグ優勝という夢であふれているブラックの頭の中。すべての思考を集中しているため、普段はほかのことを考える余裕もないが…。

ムシャにその「夢」を食べてもらうことで、頭の中をからっぽにできる！　新たな思考が可能な「まっ白」の状態を作り出し、いざ推理開始!!

見聞きした情報により、黒くうまっていくブラックの頭の中。まるでコンピュータが演算処理するように、隠された謎を浮き彫りにしていく。

ね備えているのが、ブラックという男なのだ！

ちなみに…「夢」を食べてもらわないまま考えごとをすると?

考えごとが頭の許容量を超えてしまい、最後にはパンクするらしい!?

ダメだこりゃ〜!!

てんとう虫コミックススペシャル　「ポケモンファン」「コロコロイチバン！」連載作品

ポケットモンスタースペシャル 43

2013年1月30日　初版　第1刷発行　(検印廃止)

シナリオ　日下秀憲
まんが　山本サトシ

発行者　塚原伸郎
印刷所　三晃印刷株式会社

PRINTED IN JAPAN

発行所　(〒101-8001) 東京都千代田区一ツ橋2の3の1
TEL 編集 03(3230)5396
販売 03(5281)3556

株式会社 小学館

ISBN978-4-09-141583-7

本文デザイン／瀬川真由美・鈴木 册・設樂 満
編集協力／長澤優美子・唐木田ひろみ 編集担当／齋藤 慎